

INTENSIVKURS JAPANISCH

3. SEMESTER

AN DER

GERHARD-MERCATOR-UNIVERSITÄT-GH
DUISBURG

ÜBUNGSHEFT

日本語集中講座

第三学期用教材
練習編

copyright version 2003

by Megumi Ajima & Rafael Beermann

練習 第1課

Übung Lektion 1

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

いらっしゃる	いらっしゃる	強V・ehrw.	herkommen, hingehen, da sein
おいでになる	お出でになる	強V・ehrw.	herkommen
おっしゃる	おっしゃる	強V・ehrw.	sagen
お見えになる	おみえになる	強V・ehrw.	herkommen
お召しになる	おめしになる	強V・ehrw.	tragen (Kleidung)
ご覧になる	ごらんになる	強V・ehrw.	sehen
なさる	なさる	強V・ehrw.	tun
召し上がる	めしあがる	強V・ehrw.	essen
くださる	下さる	強V・ehrw.	(mir) geben
召す	めす	強V・ehrw.	tragen (Kleidung)
見える	みえる	弱V・ehrw.	herkommen
致す	いたす	強V・besch.	tun
いただく	頂・戴く	強V・besch.	bekommen
伺う	うかがう	強V・besch.	aufsuchen, fragen
お目にかかる	おめにかかる	強V・besch.	zu Gesicht bekommen, jd. kennenlernen
おる	居る	強V・besch.	sein (Lebewesen)
差し上げる	さしあげる	弱V・besch.	geben, schenken, überreichen
参る	まいる	強V・besch.	herkommen
申し上げる	もうしあげる	強V・besch.	sagen, mitteilen
申す	もうす	強V・besch.	sagen, nennen
お目にかける	おめにかける	弱V・besch.	zeigen
ご覧に入れる	ごらんにいれる	弱V・besch.	zeigen
お持ちする	おもちする	不V・besch.	für jd. etw. tragen
拝見する	はいけんする	不V・besch.	sehen
承知	しょうち	不V・N・ besch.	Einverständnis, einverstanden sein
ございます	御座います	hf1.	sein (Nichtlebewesen)
～ございます	ございます	hf1.	sein (vgl. Desu)
おいで	お出で	N・ehrw.	herkommen, da sein
ご存知	ごぞんじ	N・ehrw.	wissen

貴社	きしゃ	N·ehrw.	Ihre Firma, Firma d. Anderen
弊社	へいしゃ	N·besch.	eigene Firma
おまわりさん	お巡りさん	N·ehrw.	Wachtmeister, Polizist (auch: Anrede)
改まる	あらたまる	強V	erneuern, formell werden
招く	まねく	強V	einladen, herbitten, auch: hervorrufen
許す	ゆるす	強V	erlauben, verzeihen
(お)世話になる	せわになる	強V	etwa: Umstände machen, Dienstleistung erhalten
(お)世話	せわ	不V·N	Umsorgung; umsorgen
希望	きぼう	不V·N	Hoffnung, hoffen
協力	きょうりよく	不V·N	Kooperation, kooperieren
発達	はったつ	不V·N	Entwicklung; sich entwickeln, sich gut entwickeln
…とする	とする	不V·N	als...festlegen, als ...feststehen
親しい	したしい	VA	vertraut
親しさ	したしさ	N	Vertrautheit
不思議だ	ふしぎだ	NA	eigenartig, merkwürdig
敬語	けいご	N	höfliche Sprache
特色	とくしょく	N	Besonderheit, das Typische
程度	ていど	N	Grad; bis zu welchem Grad, wieviel
差	さ	N	Unterschied
思い出	思い出	N	Erinnerung (meist schöne)
性別	せいべつ	N	Geschlechtsunterschied
年齢	ねんれい	N	Alter (einer Person)
年上	としうえ	N	die ältere Person (Antonym: 年下)
目下	めした	N	die jüngere Person (Antonym: 年上)
地位	ちい	N	Position, Stellung (berufl., soziale)
上司	じょうし	N	Vorgesetzte(r)
部下	ぶか	N	Untergebener in d. Firma, Mitarbeiter(in)
部長	ぶちょう	N	Abteilungsleiter
課長	かちょう	N	Unterabteilungsleiter

孫	まご	N	Enkel
(お)ぼっちゃん	坊っちゃん	N·ehrw.	Junge, Sohn (d. Anderen)
そちら(様)	そちらさま	N	Anrede: Sie (vgl. auchこちら様, あちら様, どちら様)
なべ	鍋	N	Kochtopf
ソース	ソース	N	Soße
方	ほう	N	Richtung, Gegend (z.B. 南の方= südl. Richtung, Gegend)
~そのもの	そのもの	Suffix	(die Sache) an sich
~方	がた	Suffix	Pluralsuffix bei Personen
~酒	しゅ	Suffix	Suffix f. alkoholische Getränke
~上	じょう	Suffix	bezüglich, in puncto
いかが	いかが	FP	wie ist es, wie wärs denn
どちらの	どちらの	DEM·FP	welch (-e,-es,-er)
そのため	そのため	KONJ·N	aus diesem Grund, daher

第1課

練習1 デパートで働いていますから、次の文をもっと丁寧に言ってください。

- 1.お手洗いは4階です。
- 2.ここは3階ではありません。2階です。
- 3.バーゲン(Ausverkauf)はきのうまででした。
- 4.先週の月曜日は休みではありませんでした。

練習2 次の敬語は尊敬語ですか、謙譲語ですか。そして、普通の形は何ですか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1.おっしゃる | 2.いただく |
| 3.参る | 4.なさる |
| 5.ご覧になる | 6.申す |
| 7.拝見する | 8.おいでになる |
| 9.いらっしゃる | 10.伺う |
| 11.おる | 12.お目にかける |
| 13.ご覧に入れる | 14.存じない |
| 15.召す | 16.お持ちする |
| 17.見える | 18.致す |
| 19.申し上げる | 20.召し上がる |
| 21.お目にかかる | 22.差し上げる |
| 23.ご存じだ | 24.ございます |

25.存じております

26.働いております

27.見て参りました

28.おいでになりません

29.読んでご覧になります

30.いただいて参りませんでした

31.おっしゃってください

32.いらっしゃったようです

33.ご存じじゃないそうです

34.お召しになったことがあります

練習3 次の形容詞 (VA)、形容動詞 (NA) を尊敬語にしてください。

例 忙しい →お忙しいです

若い

美しい

好き

上手

親切

練習4 次の尊敬の文を「です・ます」の形にしてください。

例 山本さんが日本のおみやげをくださいました。
→山本さんが日本のおみやげをくれました。

- 1.部長さんはもうすぐお見えになります。
- 2.昨日山田さんが家へいらっしゃいました。
- 3.シュルテさんは、日本に留学なさいます。
- 4.先生はどちらにおいでになりますか。—お宅にいらっしゃいます。
- 5.デュースブルクという町をご存じですか。

6. ベッカーさんがきれいな絵をくださいました。
7. ヘンケル先生は明日は大学にいらっしゃいません。
8. シュミットさんはもうこの大学にはおいでになりません。
9. 先生が、試験はあさってだとおっしゃいました。
10. あの方はいつも高そうなお着物しかお召しになりません。
11. 課長さんがお見えになったら、私を呼んでください。
12. 今日見えるお客様は、とても有名な作家でいらっしゃいます。
13. さっき、ミユラーさんとおっしゃる方がいらっしゃいました。
14. 日本へいらっしゃったら、富士山をご覧になってください。
15. 先生は今何をしていらっしゃいますか。 —お昼ご飯を召し上がっていらっしゃいます。
16. 今日は雨が降るそうですが、かさを持っておいでになりましたか。
17. お酒がお好きだそうです、日本酒を召し上がったことはございますか。

練習5 次の謙譲の文を「です・ます」の形にしてください。

例 昨日田中さんにお目にかかりました。

→昨日田中さんに会いました。

1. 明日お宅へ伺います。
2. 先生に試験について伺いました。
3. 昨日山田さんのお宅で日本料理をいただきました。
4. 鈴木先生に、来週の授業は休むと申し上げました。
5. 明日は一日中家におりますので、お電話ください。

6. 今度弟のかいた絵をお目にかけます。
7. 次の授業のとき、日本旅行の写真をお持ちします。
8. とてもおもしろいおもちゃをいただきましたので、ご覧にいます。
9. 残念ですが、森さんのお宅に伺うことができません。
10. もうすぐクルツ先生のお誕生日ですが、何を差し上げましょうか。
11. 先生のお写真を拝見いたしましたが、先生はお元気そうでした。
12. 昨日母が参りました。母は「ぜひ一度お目にかかりたい」と申しておりました。
13. 毎日日本語を勉強しておりますが、なかなか上手になりません。
14. 先生のご住所をご存じですか。 ーはい、存じております。
15. 去年鈴木先生にお目にかかったときは、まだ日本語が下手でございました。

練習6 場面(Situation)に合った敬語に変えてください。

例	先生はすぐ来ると言いました。 →先生はすぐいらっしゃるとおっしゃいました。
---	--

1. (Sie stellen sich auf einer formellen Party vor.)

私はデュースブルク大学のXYといます。

教授ではありません。まだ学生です。

日本の経済について勉強しています。

私の両親はケルンの近くに住んでいます。

2. (Sie erzählen Ihrer Bekannte über Ihren Japanischlehrer.)

私の日本語の先生はドイツ人です。

でも、とても日本語が上手です。

先生は毎年日本へ行って、たくさん写真をとって来ます。

私はその写真をときどき見ます。

練習7 場面(Situation)に合った敬語に変えてください。

例 先生はすぐ来ると言いました。

→先生はすぐいらっしゃるとおっしゃいました。

1. (A & B sind zusammen in einem Restaurant. Sie kennen einander noch nicht so gut.)

Aさん：「何を食べますか。」

Bさん：「私は何かからいものが食べたいです。カレーにします。」

Aさん：「飲み物は何にしますか。」

Bさん：「水を飲みます。」

2. (A & B arbeiten in der gleichen Firma.)

社員A：「社長はもう来ましたか。」

社員B：「いいえ、まだ来ません。たぶんXY社にいます。3時ごろ来ると言いました。」

社員A：「これを社長に見せたいのですが。」

社員B：「じゃあ、来たら連絡します。多分少し遅く来るとお思いますので。」

練習 8 敬語を使って隣の人に丁寧に質問してください。

Versuchen Sie, zuerst mit eigener Kraft Fragen zu stellen. Falls Sie es nicht schaffen, bilden Sie mit Hilfe der in Klammern stehenden Ausdrücke Fragesätze.

例	年齢：	(いくつですか)
	→おいくつでいらっしゃいますか。	

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 名前： | (名前は?) |
| 2. 職業： | (仕事は?) |
| 3. 専門： | (専門は?) |
| 4. 学期： | (今何学期目ですか) |
| 5. 住んでいる所： | (どこに住んでいますか) |
| 6. 好きな食べ物： | (どんな食べ物が好きですか) |
| 7. 好きなお酒： | (どんなお酒をよく飲みますか) |
| 8. 趣味： | (趣味は何ですか) |
| 9. 兄弟： | (兄弟はいますか) |
| 10. どの外国語が得意か： | (どんな外国語が得意ですか) |
| 11. 日本へ行ったことはあるか： | (日本へ行ったことはありますか) |
| 12. 夏休みにどこへ行ったか： | (夏休みにどこへ行きましたか) |
| 13. 何日間そこにいたか： | (どのぐらいそこにいましたか) |
| 14. その町はどうだったか： | (その町はどうでしたか) |

練習 9 練習 8 の質問に敬語を使って答えてください。

例	年齢：失礼ですが、おいくつでいらっしゃいますか。
	→22 歳でございます。

第1課 敬語－1

敬語はよく日本語の特色の一つにあげられる。敬語は話し相手への尊敬を表す表現である。このような表現が日本語では特に発達しているのだ。もちろん、敬語は日本語だけではなく、ドイツ語など他の国の言葉にもある。しかし、敬語は日本語ではドイツ語等よりずっと多く使われているし、ずっと複雑なのである。そのため、日本語の特徴として敬語があげられても不思議ではない。

敬語は難しいとよく言われるが、敬語そのものはそれほど難しくない。単語や形を覚えれば良いのだ。しかし難しいのは、「いつ、だれに、どのくらい敬語を使えば良いのか」を知って、必要なときにすぐ使うことができるようになることだ。

基本的には、目下、つまり社会的地位が下の人が、目上、つまり社会的地位が上の人に敬語を使う。この社会的地位は、年齢、職業上の地位、性別等で決まる。若い人は年上の人に（日本では大学でも1歳年が違えば敬語、少なくとも「です・ます」を使う）、学生は先生に、部下は上司に敬語を使うのだ。どの程度の敬語を使うかは、社会的地位の差や、親しさで決まる。しかし、いつも目下の人が目上の人に敬語を使うのではない。目上でも、いつも丁寧でありたい^①と思う人は、相手が目下でも敬語を使うことが少ないのだ。

また、初めて会った人や、あまり親しくない人にも敬語は使われる。始めは敬語を多く使い、親しくなるとだんだん敬語を使わなくなる。敬語は相手との距離も表すのだ。だから、同じ年の人に敬語を使うと、距離ができてしまい、なかなか親しくなれないこともある。それで、敬語を使わないことで親しさを表そうとする人もいる。

もちろん、ドイツ語と同じように、改まった場面では丁寧な表現が必要だ。スピーチ等で、大勢の前で話すときは、敬語を使わなければならない。また、日本語がドイ

ツ語と違う点は、手紙を書くときに改まった言葉を使うことだ。手紙は改まって書くものとされているのだ。あまり丁寧な言葉で話していない親しい相手にも、手紙ではいつもより丁寧な表現を使って書く。

鈴木教授：「マイヤーさんはドイツからいらっしゃったんだよね。どちらからですか。」

マイヤー：「デュースブルクという町から参りました。あまり日本では知られていない町なのでご存じないと思いますが、デュースブルクはルール地方にございます。」

鈴：「ああ、ルール地方ですか。じゃあ、工業都市だね。」

マ：「はい。あまりきれいな町ではございませんが、私は好きです。先生はドイツへいらっしゃったことがありますか。」

鈴：「ええ。10年ほど前に一度行きましたよ。良い国ですよ。」

マ：「どちらにご旅行なさいましたか。」

鈴：「ハイデルベルクとローテンブルク、それからミュンヘン等です。」

マ：「そうですか。南の方をご覧になったんですね。どちらの町が一番お好きでいらっしゃいますか。」

鈴：「どこもいいですねえ。でも、私はハイデルベルクが一番だなあ。歴史のある美しい大学町だし、思い出があるんです。ハイデルベルク大学には、昔日本での会議にお見えになった教授がおいでで、その方のところへ伺ったんです。教授は日本が大変お好きで、よく家で着物をガウンのようにお召しになるとおっしゃっていました。日本酒も召し上がるんですよ。だから日本の古い花びんをおみやげに差し上げたら、立派なご本をくださいました。これがいただいたご本ですよ。」

マ：「ちょっと拝見します。」

鈴：「どうぞ。」

マ：「面白そうなお本ですね。」

鈴：「興味があれば、貸しますよ。」

マ：「ありがとうございます。じゃあ、来週またお持ちします。ところで、ローテンブルクはいかがでしたか。日本の方にはとても人気があるようで、皆様とてもきれいだとおっしゃいますが、わたくしはまだ行ったことがないんです。」

鈴：「そうだねえ。確かにきれいだけれど、日本人やアメリカ人の観光客が多くて……。人が少ないときに行けばもっと良かったらうね。」

マ：「先生はまたドイツへいらっしゃるご予定は。」

鈴：「来年行こうかと思っていますが。」

マ：「じゃあ、ぜひわたくしのところへもいらっしゃってください。わたくしも来年はドイツにおりますし、ケルンなど、先生にお目にかけていたところがたくさんございますから。」

鈴：「それは嬉しいね。じゃ、お世話になろうか。」

マ：「ご希望がございましたら、おっしゃってくださいね。準備致します。」

鈴：「ありがとう。楽しみにしていますよ。」

-
- | | | |
|-----|--------------|---|
| i | 日本語の…不思議ではない | Allerdings gibt es im Koreanischen und Javanesischen auch eine stark entwickelte Höflichkeitssprache. |
| ii | 性別 | Früher verwendeten Frauen gegenüber dem Mann die Höflichkeitssprache. Viele ältere Frauen tun das heute noch. |
| iii | 丁寧でありたい | 丁寧である＋～たい |
| iv | ご存じない | Negation von ご存じ (s. Lektion 2) |
| v | ガウン | Morgenmantel |

LEKTION 1

働	arbeiten	ドウ はたら・く	働く	arbeiten
	亻 亻 亻 信 信 働 働 働 働 働		はたら	労働
			ロウドウ	

招	einladen, winken	シヨウ まね・く	招く	einladen, winken
	一 扌 扌 扌 扌 招 招 招		まね	招待
			シヨウタイ	

探	suchen, tasten	タン さが・す さが・る	探す	suchen
	一 扌 扌 扌 扌 探 探 探 探 探		さが	

尊	hochschätzen, verehren	ソン たつと・ぶ とうと・ぶ	尊敬	Respekt, Achtung, Verehrung
	一 一 一 一 一 尊 尊 尊 尊 尊		ソんケイ	

存	existieren, denken, wissen	ソン ゾン	存じる	wissen, denken (bescheiden)
	一 ナ 存 存 存		ご存知	wissen, kennen (ehrerbietig)
			ソんジ	
			存在	Existenz, Dasein
			ソんザイ	

LEKTION 1

程	Maß, Ausmaß, Grad	テイ ほど	程度	Grad, Stufe, Ausmaß, Umfang	
	ニ 千 禾 禾 和		テイド	~程	Vergleich: (so) ... wie
	和 和 程 程 程		ほど	~課程	XY-Kursus, XY-Lehrgang
			カテイ		

卒	(be-)enden	ソツ	卒業	Schul-/Universitätsabschluß	
	、 一 六 六 六		ソツギョウ	大卒	Uni-/Hochschulabsolvent
	六 六 卒		ダイソツ	高卒	Oberschulabsolvent
			コウソツ	vent	

敬	ehren, achten	ケイ うやま・う	敬語	Höflichkeitssprache	
	一 卩 卩 卩 卩		ケイゴ	尊敬語	ehrerbietige
	卩 卩 敬 敬 敬		うやま・う	ソウケイゴ	Sprachform

第	Präfix bei Ordnungszahlen	ダイ	第一	Nr. 1, erste(-r,-s), Haupt-	
	ノ 一 々 々 々		ダイイチ		
	第 第 第 第 第				

課	Lektion, Abteilung	カ	第一課	Lektion 1	
	ニ 三 言 言 言		ダイイッカ	課長	(Unter-) Abteilungsleiter
	言 言 課 課 課		カチョウ	学生課	Stud.-Sekretariat
			ガクセイカ		

LEKTION 1

他	ein anderer, etwas anderes	タ ほか	他の タ/ほか	ein(-e)/etwas andere(-r,-s)
	ノ イ 何 何 他		その他 タ	außerdem, etc.
			他人 タニン	andere/fremde Leute

議	Debatte, Beratung	ギ	会議 カイギ	Konferenz, Sitzung
	言 言 言 言 言 言 言 議 議 議		不思議だ フシギ	verwunderlich, geheimnisvoll
			議員 ギイン	Abgeordnete/-r

位	Rang, Stellung	イ くらい	地位 チイ	Position, Rang
	ノ イ 何 何 何 位 位		～位 ぐらい	ungefähr, etwa, ca.
			一位 イチイ	erster Rang

階	Stockwerk, Etage, Ebene	カイ	～階 カイ	～ Stock
	ノ 3 階 階 階 階 階 階 階 階		階段 カイドン	Treppe, Stufe

等	Klasse, Grad, Gleichheit	トウ ひと・しい	～等 など/トウ	etc., usw.
	ノ ヌ ヌ ヌ ヌ 等 等 等 等 等		～等 トウ	～Rang, Klasse
			平等 ビョウドウ	Gleichheit

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 1

働	働								
招	招								
探	探								
尊	尊								
存	存								
程	程								
卒	卒								
敬	敬								
第	第								
課	課								
他	他								
議	議								
位	位								
階	階								
等	等								

練習 第2課

Übung Lektion 2

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

あきらめる	諦める	弱V	aufgeben, sein lassen
求める	もとめる	弱V	erwarten, verlangen, kaufen
育つ	そだつ	強V	aufwachsen
好む	このむ	強V	mögen, vorziehen
願う	ねがう	強V	wünschen
属する	ぞくする	不V	gehören (zu einer Gruppe)
承知	しょうち	不V・N	Einverständnis, Einverständnis geben
帰宅	きたく	不V・N	Heimkehr, nach Hause kommen
外出	がいしゅつ	不V・N	außer Haus sein, ausgehen
共通	きょうつう	不V・N	Gemeinsamkeit, gemeinsame Sache
活躍	かつやく	不V・N	aktiv tätig sein, verdienstvoll agieren
感謝	かんしゃ	不V・N	Dank, danken
おいで	お出で	N	Anwesenheit, anwesend sein, Herkommen
至急	しきゅう	ADV	unverzüglich
よろしく	よろしく	ADV	etwa: Bitte um Wohlgesonnenheit
最も	もつとも	ADV	am meisten (Superlativ)
早速	さっそく	ADV	umgehend, sofort
少々	しょうしょう	ADV	ein wenig, einen Augenblick
きつい	きつい	VA	eng (Kleidung etc.); bissig, herzlos
よろしい	宜しい	VA	in Ordnung sein
おしゃれた	おしゃれた	NA	modebewußt, aufs Äußere bedacht sein
完全だ	かんぜんだ	NA	vollkommen, perfekt
極端だ	きょくたんだ	NA	extrem, einseitig
特殊だ	とくしゅだ	NA	besonders
皮肉だ	ひにくだ	NA・N	ironisch
名詞	めいし	N	Nomen
動詞	どうし	N	Verb
形容詞	けいようし	N	Verbaladjektiv
形容動詞	けいようどうし	N	Nominaladjektiv

副詞	ふくし	N	Adverb
学歴	がくれき	N	Schulbindung, schulischer Bildungsgang
教養	きょうよう	N	Bildung, Allgemeinbildung
常識	じょうしき	N	Vernunft
知識	ちしき	N	Wissen, Kenntnisse
傾向	けいこう	N	Tendenz
働き	はたらき	N	Wirkung, Funktion
敬意	けいい	N	Ehrerbietung
グループ	グループ	N	Gruppe
メッセージ	メッセージ	N	Mitteilung
電報	でんぼう	N	Telegramm
貿易	ぼうえき	N	Außenhandel
商社	しょうしゃ	N	Konzern, Handelsunternehmen
製品	せいひん	N	Produkt, Ware (nicht Naturprodukt)
家庭	かてい	N	Familie, das Zuhause
大統領	だいてうりょう	N	Ministerpräsident
首相	しゅしょう	N	Kanzler
逆	ぎゃく	N	Umkehrung, umgekehrt
内	うち	N	Innenbereich, das Interne
あと	後	N	Rest, das noch übriggebliebene
新～	しん	Präfix	Präfix: Neu- (新学期 = neues Semester)
第～	だい	Präfix	Präfix: Nummer
～ほど	程	Suffix	Suffix: cirka, ungefähr
～性	せい	Suffix	Suffix: Charakter, Eigenschaft (-haftigkeit, -ität)
昨日	さくじつ	adv	gestern
一昨日	いっさくじつ	adv	vorgestern
昨夜	さくや	adv	gestern Nacht, letzte Nacht
昨年	さくねん	adv	letztes Jahr
一昨年	いっさくねん	adv	vorletztes Jahr

先日	せんじつ	adv	neulich
明日	みょうにち	adv	morgen
明後日	みょうごにち	adv	übermorgen
翌日	よくじつ	adv	nächster Tag, folgender Tag
ただいま	只今	adv	momentan, im Moment
今後	こんご	adv	zukünftig, ab jetzt
先ほど	さき程	adv	vorhin
後ほど	のち程	adv	später

ごめんなさい	御免なさい	eher ugs.: Entschuldigung!
申し訳ありません・	もうしわけありません	formell: Entschuldigung!, es tut mir leid
申し訳ございません		
失礼します・	しつれいします	formell: Auf Wiedersehen! Ich empfehle mich.
失礼いたします		
恐れ入ります	おそれ入ります	formell: Danke schön!, Entschuldigung! (Ausdruck d. starken Betroffenheit)

第2課

練習1 次の文は尊敬の文ですか。それとも受け身 (Passiv) の文ですか。

1. 社長さんのお宅に招待されました。
2. もう田中さんに会われましたか。
3. この雑誌は先生方がよく読まれています。
4. 先生の育てられたお花をいただきました。
5. 課長さんに呼ばれた人は5人でした。

練習2 次の文を、尊敬を表す文に変えてください。

例	鈴木さんはドイツ製の機械を選びました。
	→鈴木さんはドイツ製の機械をお選びになりました。
	→鈴木さんはドイツ製の機械を選ばれました。

1. ベアマン先生はいつも車ででかけます。
2. もう冬休みの予定を立てましたか。
3. 娘の旅行を田中さんは許しませんでした。
4. 自分で絹きぬのセーターを洗ったことがありますか。
5. この新製品を使ってみてから、買うかどうか決めてください。
6. 貿易会社に勤めたければ、英語ができなければなりません。

練習3 次の文を「ていらっしゃる／ておいでになる」を使って、丁寧な表現(Ausdruck)に変えてください。それから、その文を「お／ご～です」の形にしてください。

例 シュルテさんはその部屋で休んでいます。

→シュルテさんはそちらの部屋で休んでいらっしゃいます。

→シュルテさんはそちらの部屋で休んでおいでになります。

→シュルテさんはそちらの部屋でお休みです。

1. あの教授はデュースブルク大学で経済を教えています。
2. 社長は、今はもうお客さんと話していません。
3. 小学校のときの先生は、私を忘れていませんでした。
4. 山本さんはもう来ていますが、田中さんはまだ来ていません。
5. すみませんが、今お時間があるでしょうか。
6. そこで待っているお客さんをお呼びください。
7. 興味のない人は家へ帰ってもいいですよ。
8. この小さな子供を知っている人はいませんか。だれも知りませんか。

練習4 もっと丁寧な表現(Ausdruck)を使って、頼んでください。

例 時間がないので急いでください。

→時間がないのでお急ぎください／くださいますか／いただけませんか。

机の上にすわらないでください。

→机の上におすわりにならないでください／くださいますか／いただけませんか。

1. 家族の人によく伝えてください。
2. くつをはいて家の中に入らないでください。ここで脱いでください。
3. この部屋ではたばこは遠慮してください。外で吸ってください。

4. 私の家へ来てください。

5. 夜遅く、駅に一人で行かないでください。

練習5 「お/ご~する」「お/ご~いたす」を使って、謙譲の文を作ってください。

例 旅行の予定が決まりましたら、連絡します。

→旅行の予定が決まりましたら、ご連絡します/ご連絡いたします。

1. 私が荷物を持ちます。

2. まだ具合がよくないので、お見舞いは遠慮します。

3. 今度、おしゃれなレストランのある場所を教えますね。

4. 先生には来週また電話しますので、そのときメッセージを伝えます。

5. 先生の仕事を手伝っていたとき、よく日本の雑誌を借りました。

6. 先生のご活躍を祈っています。

7. 山田さんから長い間借りていた本をやっと返しました。

練習6 次の名詞などの単語をもっと丁寧な形にしてください。

1. 今日

2. あした

3. 次の日

4. あさって

5. きょう

6. おととい

7. 去年

8. おとし

9. タベ

10. ちょっと

11. 早く

12. 今

13. このあいだ

14. 後で

15. さっき

16. これから

17. すぐ

18. ~ぐらい

19. どう

20. いくら

21. 良い

22. どの

23. わたし

24. この人

25. あの人達

26. お母さん達

27. すみません

28. さようなら

29. ごめんなさい

30. すみませんでした

練習7 敬語を使って、次の会話文を丁寧な表現(Ausdruck)に変えてください。

1. Aさん：「夏休みにどこへ行きましたか。」

Bさん：「スペインに行きました。南の方のマルベリーヤという所にいました。」

Aさん：「何週間ぐらいいたんですか。」

Bさん：「4週間ぐらいです。とてもすばらしかったです。」

2. Aさん：「今日は招待ありがとうございます。」

Bさん：「どうぞ、入ってください。」

Aさん：「つまらない物ですが、どうぞ。」

Bさん：「どうもすみません。もらいます。ワインですか。」

Aさん：「はい。好きかどうか分かりませんが、飲んでみてください。」

3. A先生：「あ、先生久しぶりです。元気ですか。」

B先生：「いいえ、あまり元気じゃないんです。」

A先生：「どうしたんですか。」

B先生：「頭が痛いんです。かぜをひいたんだろうと思います。」

A先生：「熱はありますか。」

B先生：「あるかもしれません。だから、もう帰って寝ることにします。」

4. 学生：「森先生は研究室にいるかどうか、知っていますか。」

A先生：「先生は病気でもう帰りましたよ。」

学生：「じゃあ、この宿題を後で森先生に渡してください。」

A先生：「いいですよ。これを渡せば、森先生はわかるんですね。」

学生：「はい。すみませんが、よろしくお願いします。」

5. 部長：「社長は会議に出るかどうか、知っているか。」

社員：「いいえ、知りません。社長は今、客と食事をしていて、会社にはいません。」

部長：「何時ごろに戻るだろうか。」

社員：「社長はさっきでかけたので、あと1時間ぐらいで帰ってくると思います。」

部長：「社長はいつもゆっくり食べるから、もっと遅くなるだろう。また電話するよ。」

社員：「いいえ、こちらから電話しますので、待っていてください。」

6. Aさん：「もしもし、Aといますが、ホフマンさんはいますか。」

ホフマンさんの奥さん：「いいえ、いません。今でかけています。」

Aさん：「そうですか。何時ごろかえりますか。」

奥さん：「多分もう帰ってくると思いますが。」

Aさん：「そうですか。では、また電話します。」

奥さん：「あ、待ってください、主人が今ちょうど帰ってきました。」

ホフマンさん：「もしもし、ホフマンです。待たせました。」

練習8 次のドイツ語を、敬語を使って丁寧な日本語に翻訳してください。

1. Mein Name ist XY, ist der Lehrer Herr Mori zu erreichen?

2. Falls Sie die Adresse vom Lehrer, Herrn Mori, kennen sollten, würde ich sie gerne in Erfahrung bringen.

3. Ich habe Herrn Mori, dem Lehrer, Fotos dieser Stadt und der Universität gezeigt.

4. Als ich meinem Lehrer ein Mitbringsel aus Deutschland überreichte, hat er sich sehr gefreut.

5. Prof. Müller trägt immer einen schicken Anzug.

6. Als ich vorletztes Jahr nach Japan fuhr, ging es dem Präsidenten gut.

7. Ich habe gestern mehrmals angerufen, aber es war niemand da.

8. Sobald der Doktor (Arzt) zurückkommt, werde ich Sie rufen. Warten Sie bitte deshalb hier.

9. Als ich mich in Japan aufhielt, habe ich ein einziges Mal den Ministerpräsidenten zu Gesicht bekommen.

第2課 敬語一 2

第1課では敬語の基本的な使い方を見た。ここでは、もう少し複雑な使い方を見てみよう。敬語をどう使うかは「上か下か」だけではなく、「内か外か」でも決まる。「内」とは、自分の属しているグループを言う。家族や会社、学校、友人等だ。そして、「外」はそれ以外を言う。この「外」の人は「お客様」なので、丁寧な話し方をしなければならない。そのため、敬語を使うのだ。

まず「内」の会話の例として、A社の田中さんがA社の社長と話す場合を見てみよう。

社長さん：「今からちょっとB社に行ってくる。」

田中さん：「何時ごろお帰りになりますか。」

社長さん：「会議までには戻るつもりだ。」

田中さん：「2時ごろ戻られるんですね。では、至急お車をご用意いたします。」

田中さんは、目上である社長に尊敬語を、目下である自分に謙譲語を使っている。この会話は会社の中での会話なので、「上と下」の関係で敬語を使っているのだ。

しかし、「外」の人と話す場合は、「外」の人に最も敬意を表さなければならない。そのため、「外」の人と話すときは、敬語の使い方が違うのである。「外」の人との会話の例として、C社の人からの電話をあげる。

C社の人：「社長さんいらっしゃいますでしょうか。」

田中さん：「社長はただいま外出しておりますが....。」

C社の人：「ああ、そうですか。何時ごろ帰られますか。」

田中さん：「だいたい2時ごろだと申しておりました。社長が帰って参りましたら、

こちらからお電話いたしましょうか。」

C社の人：「では、お願いいたします。」

このように、自分の会社の社長に謙譲語を使うことで、C社の人を高めるのである。つまり、いつも尊敬語を使う相手にも、「外」の人と話す場合は、謙譲語を使わなければならないのだ。

敬語の働きは第一に尊敬を表すことだが、その他の働きを見てみよう。言葉は、使う人の教養を表すと考えられている。つまり、どんな言葉を話すかで、その人がどんな家庭に育ち、どんな教育を受けたかが分かるのだ。敬語を使うことで、「私は失礼な人間ではありません」「私は常識がある人間です」「私は教養があります」「私は良い家に生まれました」等のメッセージを相手に送ることができる。逆に言えば、敬語を使うことができない（または使わない）人は、失礼で、常識や教養がない人間だと思われる危険性がある。そのため、学歴が高い人や良い家庭に生まれた人は、特に敬語を多く使いたがるのだ。そして、この理由で、社会的地位が上の方が下の人に敬語を使うことも少くない。

教授：「『日本の歴史』という本がないんだけど、どこにあるかご存じ？」

学生：「すみません、私がお借りしておりました。持って参りましたのでお返しいたします。」

教授：「その本を図書館に返しておいてくださいますか。」

学生：「はい、承知しました。」

また、女性は男性より丁寧な表現を好むので、女性のほうが敬語をよく使う傾向がある。この傾向は日本だけではないらしい。女性のほうが男性より「他人から良く見られ

たい」と願うのは世界共通なのかもしれない。それに、丁寧な言葉を使う女性は「女らしい」と見られるのも理由の一つにあげることができるだろう。

次に敬語の特殊な働きを見てみよう。「皮肉」である。デパートでの場合を考えてみよう。客が呼んでもなかなか来ない店員に、何と言うだろうか。

客：「すみません、ちょっと来てください。」

これは普通の言い方だ。しかし、次のように言った場合はどうだろうか。

客：「恐れ入りますが、もうそろそろおいでになっていただけませんか。」

これは非常に丁寧なお願いではなく、とてもきつい皮肉である。極端に丁寧な表現は、皮肉にもなるのだ。このような使い方は、ドイツ語にもあるので、よく分かるだろう。

くりかえして言うが、敬語を覚えることはあまり難しくない。集中して勉強すれば、形はすぐ覚えることができる。あとは必要なときに、すぐ使うことができるまで練習するだけだ。これがなかなか難しいのだが、使っているうちに、だんだん上手になる。日本人でも、敬語が完全にできるようになるのは、30才ぐらいだという研究もある。だから、なかなかできないと言ってあきらめる必要はないのである。

-
- i 上か下か “ob oben oder unten”
Das “oben” bezieht sich auf die höhere soziale Stellung. Entsprechend bedeutet “unten” eine niedrigere soziale Stellung.
- ii 内か外か “ob innen oder außen”
“Innen” heißt hier der eigene Bereich und deutet auf die Zugehörigkeit zur Gruppe des Sprechers. “Außen” steht für den fremden Bereich.

LEKTION 2

決	entscheiden	ケツ き・める き・まる	決める	entscheiden, festlegen
	丶 丶 丶 丶 丶 丶 決 決		決まる	entschieden werden
	決 決		決定	Entscheidung, Beschuß
			ケツタイ	

育	aufwachsen, aufziehen	イク そだ・つ そだ・てる	育つ	(auf-)wachsen
	丶 一 一 一 一 一 育 育 育		育てる	aufziehen
	育 育 育		教育	Erziehung, (Aus-) Bildung
			キョウイク	

閉	schließen	ヘイ し・める し・まる と・じる	閉める	(zu-)schließen
	丨 丨 丨 丨 丨 門 門 門 門 閉 閉		閉まる	sich schließen
	門 門 門 閉 閉		閉じる	(zu-)schließen
			と	

暗	dunkel	アン くら・い	暗い	dunkel
	丨 丨 日 日 日 暗 暗 暗 暗 暗			
	暗 暗 暗 暗 暗			
			くら	

軽	leicht	ケイ かる・い	軽い	leicht (an Gewicht)
	一 一 一 一 車 軽 軽 軽 軽 軽			
	軽 軽 軽 軽 軽			
			かる	

LEKTION 2

若	jung	ジャク わか・い	若い	jung
	一 一 一 一 一 一		わか	
	若若若		若者	Jugendliche-/r, Jugend, junger Mann
			わかもの	

速	schnell	ソク はや・い	速い	schnell
	一 一 一 一 一 一		はや	
	速速速速速		早速	sofort
			サツソク	
			速達	Eilsendung
			ソクタツ	

短	kurz	タン みじか・い	短い	kurz
	ノ 一 一 一 一 一		みじか	
	短短短短短		短期	kurzfristig
			タンキ	
			短時間	kurze Zeit
			タンジカン	

庭	Garten	テイ にわ	庭	Garten
	ノ 一 一 一 一 一		にわ	
	庭庭庭庭庭		家庭	Familie, das (eigene) Haus
			カテイ	

失	verlieren	シツ うしな・う	失礼	Unhöflichkeit
	ノ 一 一 一 一 一		シツレイ	
			失業	Arbeitslosigkeit
			シツギョウ	
			失敗	Mißerfolg, Mißlingen
			シツパイ	

LEKTION 2

礼	Höflichkeit, Begrüßung, Dank	レイ ライ	お礼 Dank レイ
	レ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ 礼		礼儀 Höflichkeit, An- レイギ stand

常	normal, gewöhnlich, wiederholt	ジョウ つね	常識 gesunder Men- ジョウシキ schenverstand
	レ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ 常		非常 Ausnahmefall, ヒジョウ Notfall
	常 常 常 常 常		常に immer つね

識	wissen, unterscheiden	シキ	常識 gesunder Men- ジョウシキ schenverstand
	ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ 識		知識 Wissen, Kenntnis チシキ
	識 識 識 識 識		

窓	Fenster	ソウ まど	窓 Fenster まど
	レ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ 窓		
	窓 窓 窓 窓 窓		

歴	Verlauf der Zeit, Fortdauer	レキ	歴史 Geschichte レキシ
	一 厂 尸 厶 厶 厶		學歷 Bildungsgang ガクレキ
	厶 厶 厶 厶 厶		履歴書 Lebenslauf リレキシヨ

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 2

決	決								
育	育								
閉	閉								
暗	暗								
輕	輕								
若	若								
速	速								
短	短								
庭	庭								
失	失								
礼	礼								
常	常								
識	識								
窓	窓								
歴	歴								

練習 第3課

Übung Lektion 3

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

おや	おや	INT	nanu?
追いかける	おい掛ける	弱V	verfolgen
話しかける	はなし掛ける	弱V	ansprechen
声をかける	こえを掛ける	弱V	ansprechen
引き受ける	ひきうける	弱V	sich bereit erklären, e. Auftrag übernehmen
目が覚める	めがさめる	弱V	aufwachen
生き返る	いきかえる	強V	wieder zum Leben erwachen
疑う	うたがう	強V	verdächtigen, Mißtrauen schenken
拝む	おがむ	強V	beten, anbeten
かくす	隠す	強V	verstecken (trans.)
気付く	きづく	強V	bemerkten
転ぶ	ころぶ	強V	hinfallen (intr.)
しばる	縛る	強V	fesseln
助かる	たすかる	強V	gerettet werden, hier: e. große Hilfe darstellen
立ち上がる	たちあがる	強V	aufstehen, s. aufrichten
経つ	たつ	強V	vergehen, verstreichen
近づく	ちかづく	強V	s. nähern
つかむ	掴む	強V	ergreifen, greifen, fassen
払う	はらう	強V	abschütteln
結ぶ	むすぶ	強V	verknoten, anbinden
やる	やる	強V	geben (von "oben" nach "unten")
ついてくる	ついて来る	不V	mitkommen, begleiten
大騒ぎ	おおさわぎ	不V・N	zeteren, Riesenlärm machen, Gezeter, Riesenlärm
大喜び	おおよろこび	不V・N	s. sehr freuen, große Freude
研修	けんしゅう	不V・N	Praktikum machen, Praktikum
交換	こうかん	不V・N	tauschen, Tausch
始末	しまつ	不V・N	entsorgen, in Ordnung bringen, Entsorgung
出張	しゅつちょう	不V・N	Dienstreise machen, Dienstreise
ホームステイ	ホームステイ	不V・N	bei einer Gastfamilie wohnen, Wohnen bei einer Gastfamilie

あまりに (も)	あまりにも	ADV	zu sehr, äußerst
うっかり	うっかり	ADV	versehentlich, ungewollt, geistesabwesend
先に	さきに	ADV	(im) voraus, vor- (temporal und lokal)
どこまでも	どこまでも	ADV	bis zum Äußersten, bis in alle Ewigkeit
かわいそうだ	可哀相・可哀想だ	NA	mitleidenswert, mitleiderregend
すてきだ	素敵だ	NA	hübsch, nett, ansehnlich
見事だ	みごとだ	NA	prächtig, wunderbar
あるN	或る	Attr	(irgend)ein
ただのN	ただ	Attr	gewöhnlich
あっという間	あっというま	N	im Nu, augenblicklich
夕暮れ	ゆうぐれ	N	Abenddämmerung
いとこ	従兄弟・従姉妹	N	Cousin, Cousine
おい	甥	N	Neffe
めい	姪	N	Nichte
ホストファミリー		N	Gastfamilie
昔話	むかしばなし	N	Erzählung aus alter Zeit, alte Geschichte
記事	きじ	N	Zeitungsartikel
企業	きぎょう	N	Unternehmen
免税店	めんぜいてん	N	zollfreier Laden, Duty-free Shop
旅	たび	N	Reise (etw. poetischer als 旅行)
留守番	るすばん	N	das Haus hüten, Haushüter
留守番電話	るすばんでんわ	N	Anrufbeantworter
布	ぬの	N	Stoff (gewebtes Material)
ひも	紐	N	Faden
ほこり	ほこり	N	Staub
馬	うま	N	Pferd
えさ	餌	N	Futter
故郷	ふるさと・ こきょう	N	Heimat
関東	かんとう	N	Kanto-Gebiet (Gebiet um Tokyo)

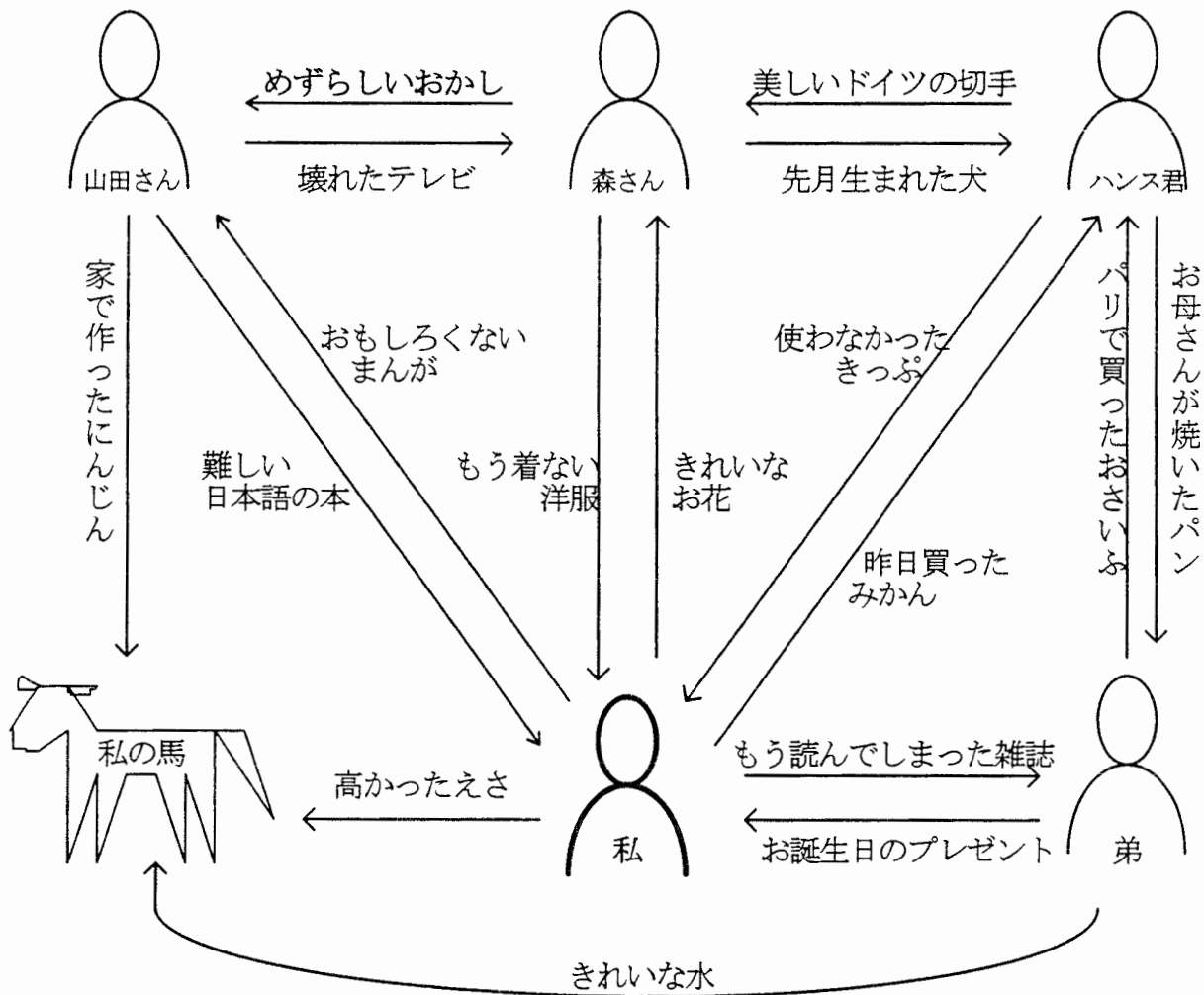
関西	かんさい	N	Kansai-Gebiet (Gebiet um Osaka u. Kyoto)
田 (んぼ)	た	N	Reisfeld
大～	おお	Präfix	Präfix: sehr, extrem, groß
～先	さき	Suffix	Aufenthaltsort
～分	ぶん	Suffix	Suffix: Portion, Anteil
…着	ちやく	ZW	Zählwort für westl. Oberteile
…頭	とう	ZW	Zählwort für größere Tiere (Pferd, Rind etc.)
Nのところへ	ところへ	Zus	zum Ort / zur Zeit des Geschehens

わら	藁	N	Reisstroh
さむらい	侍	N	Samurai, Ritter, Krieger
家来	けらい	N	Gefolgsmann, Untergebener
観音	かんのん	N	buddh. Göttin der Barmherzigkeit, Kannon
馬具	ばぐ	N	Pferdegeschirr

第3課

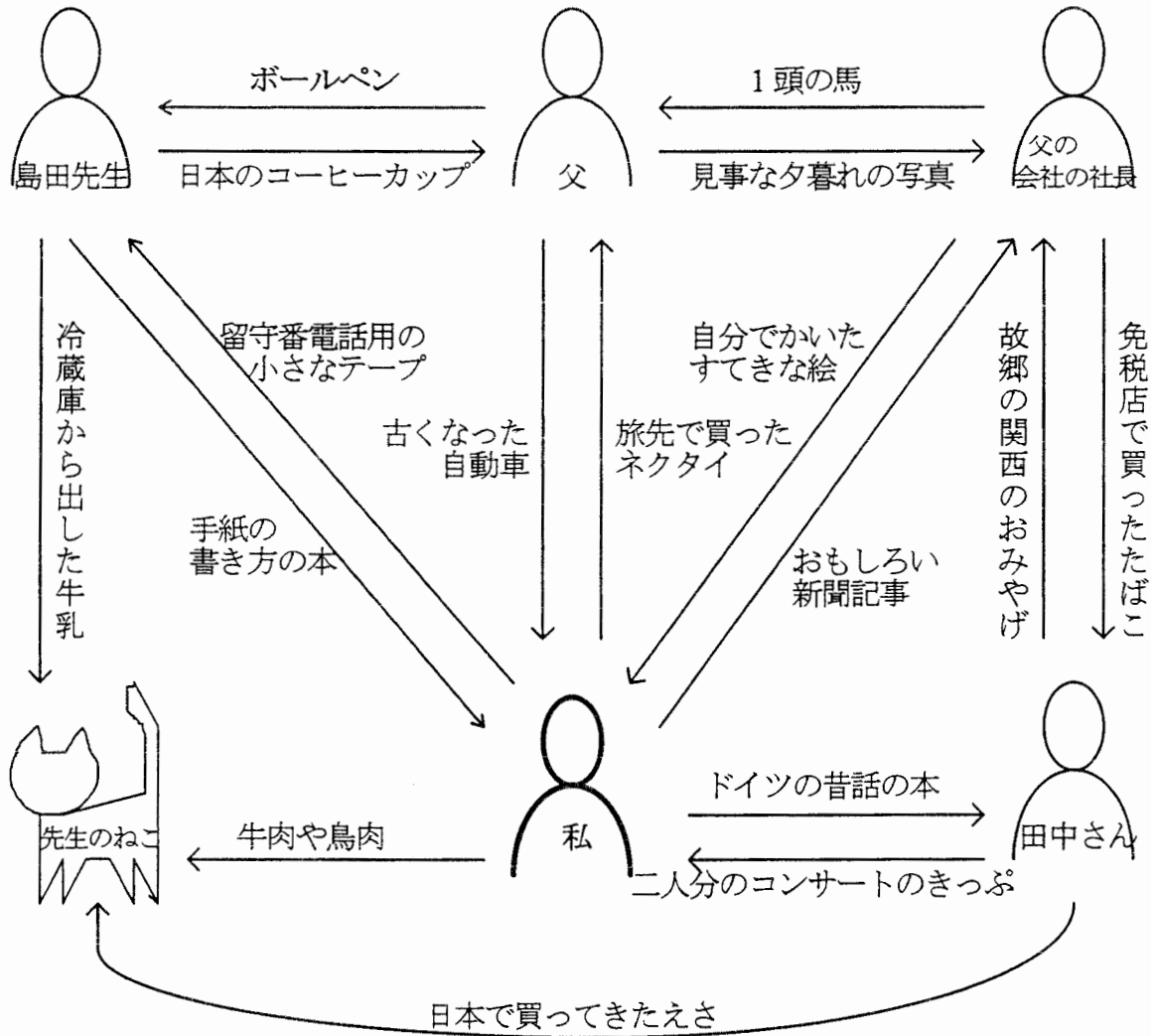
練習1 「あげる」「もらう」「くれる」「やる」を使って、文を作ってください。

例 山田さんは森さんに (から) めずらしいおかしをもらいました。
 森さんは山田さんにめずらしいおかしをあげました。



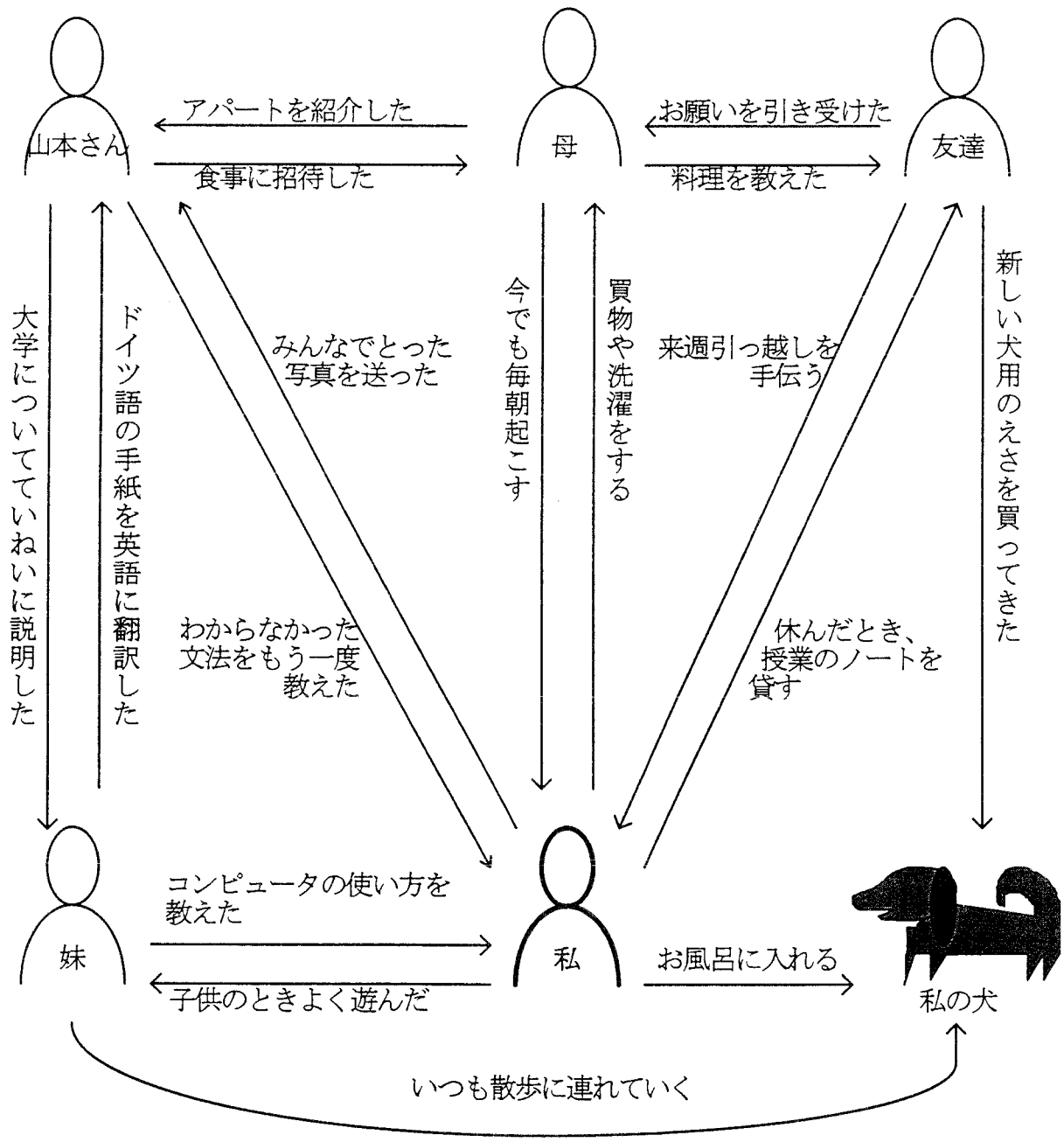
練習2 敬語を使って、文を作ってください。

例 父は島田先生にボールペンを差し上げました。
島田先生は父に（から）ボールペンをお受け取りになりました。



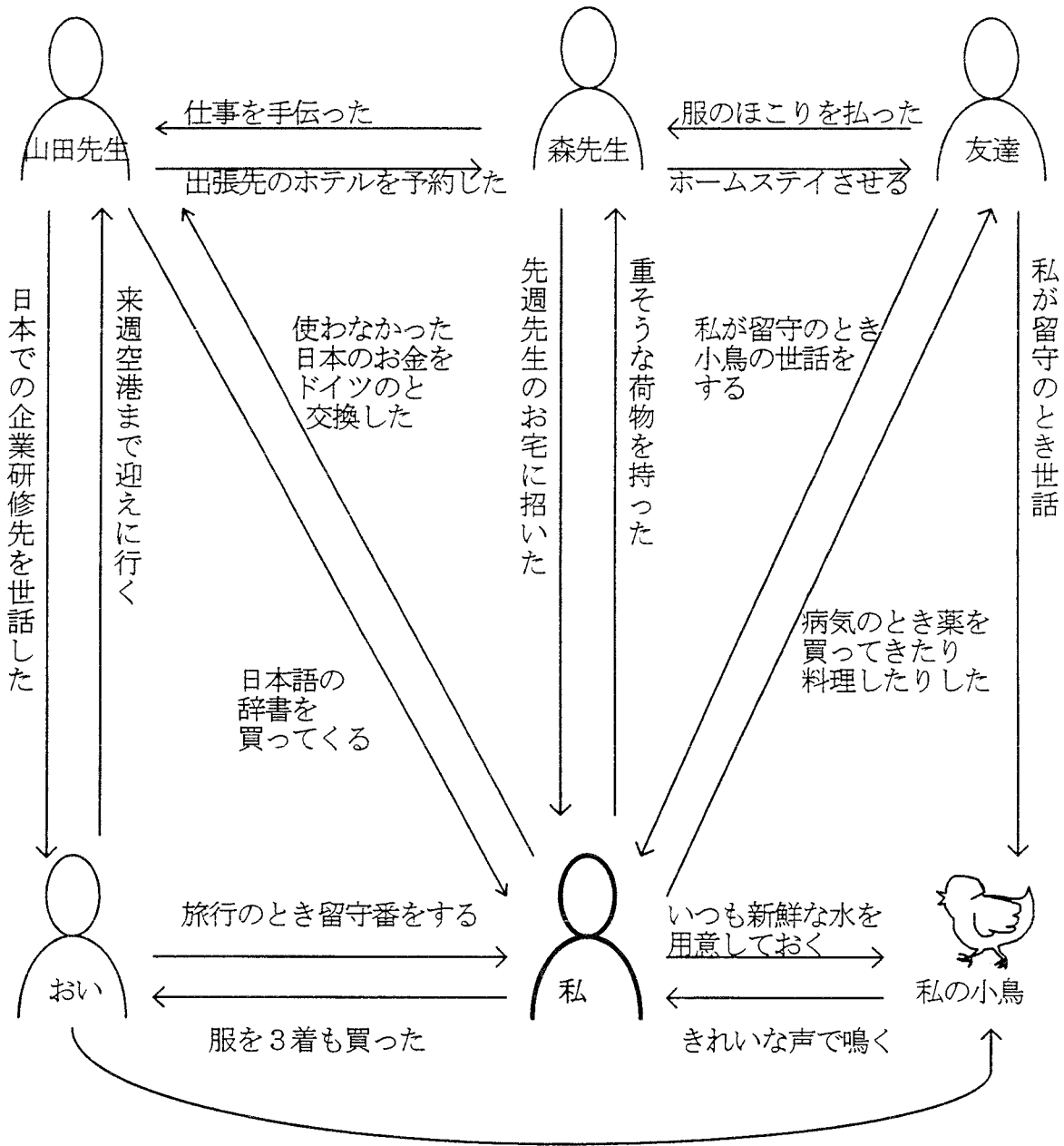
練習3 「てあげる」「てくれる」「てもら」「てやる」を使って、例のように文を作ってください。

例 山本さんは母にアパートを紹介してもらいました。
母は山本さんにアパートを紹介してあげました。



練習4 例のように、敬語を使って文を作ってください。

例 森先生は山田先生の仕事を手伝っておあげになりました。
山田先生は森先生に仕事を手伝っておもらいになりました。



練習5 次のとき、何をしてあげますか。必要なときは敬語を使ってください。

例 友達がうっかりおさいふを忘れて困っています。
→お金を貸してあげます。

1. おばあさんが重そうな荷物を持っています。
2. 先生が最後のバスに乗ることができませんでした。
3. 友達が宿題ができなくて困っています。
4. 課長さんが出張しますが、車の運転ができません。
5. 小さいところは、くつのひもを結ぶことができません。

練習6 「てもらいたい」「ていただきたい」「てほしい」を使って希望を言ってください。

例 私の希望：だれかが私の仕事を手伝う
→だれかに仕事を手伝ってもらいたいです／手伝ってほしいです。

1. 私の希望：友達が難しい日本語を翻訳する
2. 子供の希望：親がおもちゃを買う
3. 私の希望：私を疑わない
4. 学生の希望：あまりたくさん宿題を出さない
5. 私の両親の希望：私が将来両親の世話をする

練習7 「てもらいたいんですが」「ていただきたいんですが」「てほしいんですが」「ないでもらいたいんですが」「ないでいただきたいんですが」「ないでほしいんですが」を使って、丁寧に頼んでください。

例 作文を書きました。でも間違いがあるかもしれません。
→作文を直してもらいたいんですが。

1. 荷物が多くてドアを開けることができません。
2. 夜遅く電話があつて、目が覚めてしまいました。
3. 事故で入院しました。家族はまだ知りません。
4. 腕を強くつかまれて痛い^{うで}です。
5. 病院へ行きますが、一人では不安です。

練習8 次の文を読んで、「ということです」を使って質問に答えてください。

町のお祭でアルバイトすることにしました。明日トーマス君とクラウディアさんは来るそうですが、マティアス君はあさっただけ来ると言いました。仕事はソーセージなどを売ることです。小さいソーセージは3ユーロ、大きいソーセージは5ユーロだそうです。1時間働くと、10ユーロくれると聞きました。お祭は朝10時から夜8時までだそうです。「もしたくさんソーセージを売ったら、特別にお金をあげる」とお店のご主人は言いました。天気予報では明日は良い天気らしいです。

例 明日はだれが来ますか。
→トーマス君とクラウディアさんが来るということです。

1. マティアス君はいつ来ますか。
2. ソーセージはいくらですか。
3. お金はいくらもらうことができますか。
4. お祭は何時から何時までですか。
5. もしソーセージをたくさん売ったら、どうですか。
6. 天気予報では明日の天気はどうだと言っていましたか。

第3課 日本の昔話－わらしべ長者ⁱ

昔、京都にとっても貧乏^{びんぼう}な男がいました。その男はあまりに困っていたので、観音様を拝みに奈良ⁱⁱへ行きました。そして、「どうかお助け下さい、お助け下さい」と何日も拝んでいると、ある晩不思議な夢を見ました。観音様がおいでになって、こうおっしゃったのです。「かわいそうだが、助けることはできない。しかし、ほんの少しの物をやる。だから、家へ帰りなさいⁱⁱⁱ。」

男は目が覚めると、家へ帰ることにしました。しかし、お寺の門を出ようとしたとき、うっかり転んでしまいました。「おや。」男はそのとき、手に一本のわらをつかんでいることに気づきました。「ここでこれをつかんだということは、これが観音様のくださった物だということだ。」男はそのわらをいただいて、歩いて行きました。

京都へ向かって歩いていると、虫が顔の前に飛んできました。男は木の枝をひろって、たたいたり払ったりしました。しかし、虫は逃げないで、どこまでもついてきました。うるささにがまんできなくなった男は、虫をつかまえて、わらでしばり、そのわらを枝に結んでしまいました。虫は枝のまわりを飛んでいました。

そこへお金持ちのお母さんと子供が、家来を連れてやってきました。子供は男の持っている虫を見て、とてもほしがりました。そこで、家来が男のところへ来て言いました。「おぼっちゃんはその虫がほしいとおっしゃっている。それを差し上げてくれないか。」男は、「このわらは、観音様からいただいた大切な物なのですが、差し上げましょう。」と答えて、家来に虫を渡してあげました。お母さんはとても喜んで、お礼に見事なみかんを三つくれました。男は、「一本のわらが、あっという間にこんな見事なみかんになった。ということは、これも観音様のお力だ。」と感謝しました。

みかんをもらって歩いて行くと、水をほしがっている女の人がありました。しかし、水

が近くになかったので、男はこう言ってあげました。「このみかんを差し上げましょう。」女の人はとても喜んで、みかんをもらって食べました。「本当にありがとうございました。もしみかんをくださらなかったら、私は死んでいたかもしれません。旅の途中^{とちゅう}なので、何もありませんが、これをどうぞ。」と女の人は言って、お弁当とすばらしい布を三着分くれました。「ただのわらが、こんなすばらしい布になった。観音様、ありがとうございます。」男は観音様のお寺の方を向いて、拝みました。

夕暮れが近づいたころでした。さむらいが家来を連れて、りっぱな馬に乗って来ました。その馬が急にたおれて死んでしまったのです。さむらいはとても急いでいたので、家来に馬の始末を頼んで、先に行ってしまいました。困ったのは家来達です。遠いところから来たので、どうしたらいいのかわからなかったのです。貧乏な男はかわいそうだと思って話しかけました。「私とその馬をいただいて、始末して差し上げましょうか。馬のかわりにこの布を差し上げますよ。」男がそう言いながら、一着分の布を出すと、家来達は大変喜びました。そして、布と馬を交換してもらうと、その馬の馬具を持って、すぐにさむらいを追いかけて行きました。男は「わらが馬一頭と布二着分になりました。馬が生きていたら、もっと良かったのですが。」と観音様を拝みました。すると、突然、馬が目を開けて立ち上がりました。観音様が馬を生き返らせてくれたのです。男は観音様の力に驚いて、感謝しました。そして、馬具のない馬を連れてしていると疑われるかもしれないので、馬をかくしておいて町へ行きました。そこで残った布を売って、馬具とえさを買ってきました。

京都に着いたのは、次の朝でした。町の入り口に大きな家がありました。人が大騒ぎして、忙しそうに働いていました。どこか遠くへ引っ越すようでした。「引っ越しのときには、馬が要^いることが多い。もしかしたら、買うかもしれない。」と男は考えて、「馬はいかがですか。お求めになりませんか。」と声をかけてみました。家の中から主人が

出てきて、馬を見て言いました。「とても良い馬だ。ぜひ売ってもらいたい。しかし、これから旅に出るので、物や金は必要なのだ。実は近くに田があるのだが、それと取り替えてくれないだろうか。ぜひそうしてほしい。」男が「結構でございます。」と言うと、主人は大喜びでこう言った。「そうしてくれると助かる。それから、もうひとつやってもらいたいことがある。実はこれから関東へ行かなければならないのだが、もし良ければ留守の間、この家に住んで留守番をしてほしいのだ。」貧乏で、住む家もない男は大喜びで承知しました。

男はその家に住んで、家の人帰ってくるのを待ちました。一年、二年、三年……。十年経っても、二十年経っても、帰ってきませんでした。それで、とうとうその家も男の物になってしまいました。一本のわらが、大きな家と田んぼになったのです。そして、男もその子孫もずっと観音様に感謝して、幸せに暮らしたそうです。

-
- i わらしべ長者 etwa: “Der Strohalm Millionär”
(わらしべ = fadendünne Innenfaser des Reisstrohs)
- ii 奈良 (なら) von 710B784 Hauptstadt Japans
- iii 帰りなさい Imperativ “geht zurück (nach Hause)” von 帰る, siehe Lekt. 12
- iv 何もありませんが im Sinne von: ich habe zwar nichts Besonderes;
ich habe nichts, was Ihnen gefallen könnte.
- v どうしたらいいのかわからない nicht wissen, was sie tun sollten

LEKTION 3

引	ziehen, schließen	イン ひ・く	引く ziehen ひ
	㇀ ㇁ ㇂ 引		引き受ける übernehmen, ひ う entgegennehmen
			引っ越す umziehen ひ こ (Wohnungswechsel)

払	bezahlen	フツ はら・う	払う bezahlen はら
	一 寸 才 払 払		

要	Hauptsache, Notwendigkeit	ヨウ い・る	要る brauchen, い benötigen
	一 一 一 一 一 西 要 要 要		必要だ notwendig, erfor- ヒツヨウ derlich
			重要だ wichtig, bedeutsam ジュウヨウ

願	bitten, wünschen	ガン ねが・う	願う bitten, wünschen ねが
	一 一 一 一 一 原 原 願 願 願		お願い Bitte ねが
			願書 Antragsformular ガンショ

結	binden, verknüpfen	ケツ むす・ぶ	結ぶ binden, verknüpfen むす
	く 纟 纟 纟 纟 糸 糸 糸 糸 結		結婚 Hochzeit, Heirat ケツコン
			結構だ wunderbar, ケツコウ höfl. Ablehnung

LEKTION 3

渡	überschreiten, übergeben	ト わた・る わた・す	渡す わた	übergeben, überreichen
	シ シ 汙 汙 汙 汙 汙 汙 渡 渡		渡る わた	überqueren

忙	beschäftigt	ボウ いそが・しい	忙しい いそが	beschäftigt
	忙 忙 忙 忙 忙 忙			

変	(sich) (ver-)ändern	ヘン か・わる か・える	大変 たいへん	schrecklich, schlimm
	変 変 変 変 変 変 変 変 変		変だ へん	merkwürdig, komisch
			変わる か	sich (ver-)ändern

彼	er, jener	ヒ かれ	彼 かれ	er, jener
	彼 彼 彼 彼 彼 彼 彼 彼		彼女 かのじょ	sie

声	Stimme	セイ こえ	声 こえ	Stimme
	声 声 声 声 声 声 声		大声 おおこえ	laute Stimme
			声をかける こえ	anreden

LEKTION 3

昔	Vorzeit, Altertum	むかし	昔	alte Zeit, früher
	一 十 廿 卅 卅 昔 昔 昔		昔話	alte Geschichte, むかしばなし Erzählung
			大昔	uralte Zeit, Urzeit おおむかし

晩	Abend, Nacht	バン	晩	Abend, Nacht
	𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎		今晚	heute Abend コンバン
			晩御飯	Abendessen バンゴハン

門	Tor	モン かど	門	Tor
	𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 門 門 門 門		専門	Fach, Gebiet センモン

馬	Pferd	バ うま	馬	Pferd
	𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 馬 馬 馬 馬 馬		乗馬	das Reiten ジョウバ

関	Barriere	カン せき	関東	Kantô-Gebiet, カントウ Ebene um Tôkyô
	𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 門 門 門 関 関 関		関西	Kansai-Gebiet, Gebiet カンサイ um Kyôto u. Ôsaka
			関係	Beziehung, Ver- カンケイ hältnis

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 3

引	引								
払	払								
要	要								
願	願								
結	結								
渡	渡								
忙	忙								
変	変								
彼	彼								
声	声								
昔	昔								
晚	晚								
門	門								
馬	馬								
関	関								

練習 第4課

Übung Lektion 4

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

延びる	のびる	弱V	s. verlängern
受け入れる	うけいれる	弱V	übernehmen, annehmen
聞こえる	きこえる	弱V	N hören können, N ist hörbar
切れる	きれる	弱V	s. schneiden, s. loslösen
越える	こえる	弱V	überqueren (eine Hürde)
乗せる	のせる	弱V	aufladen, aufstapeln 乗り物に～: einsteigen lassen, mitnehmen
見える	みえる	弱V	sehen können, sichtbar sein
認める	みとめる	弱V	anerkennen, bestätigen
動かす	うごかす	強V	bewegen (trans.), etw. in Bewegung bringen
かかる	かかる	強V	hier: (Druck) ausgeübt werden
暮らす	くらす	強V	tägliches Leben führen, wohnen, leben
異なる	ことなる	強V	abweichen, s. unterscheiden
就く	つく	強V	antreten [eine Stelle]
出会う	であう	強V	begegnen, antreffen
雇う	やとう	強V	jmd. einstellen, beschäftigen
気にする	きにする	不V	s. zu Herzen nehmen, über etw. Sorgen machen
増加	ぞうか	不V・N	zunehmen (z.B. Bevölkerung), Zunahme
減少	げんしょう	不V・N	abnehmen (z.B. Bevölkerung), Abnahme, Minderung
肯定	こうてい	不V・N	bejahen, Bejahung ～的だ: positiv eingestellt sein
否定	ひてい	不V・N	verneinen, ablehnen, Verneinung ～的だ: negativ, ablehnend eingestellt sein
批判	ひはん	不V・N	kritisieren, Kritik ～的だ: kritisch
変化	へんか	不V・N	s. wandeln, Veränderung, Wandlung
想像	そうぞう	不V・N	s. vorstellen, Vorstellung
離婚	りこん	不V・N	s. scheiden lassen, Scheidung
手続き	てつづき	不V・N	Verfahren einleiten, Formalitäten erledigen, Verfahren, Formalität
成人	せいじん	不V・N	mündig werden, Mündigkeit
同居	どうきょ	不V・N	mit e. Partner,-in / d. Eltern zusammenleben, Zusammenleben
保障	ほしょう	不V・N	garantieren, gewährleisten, Garantie
きちんと	きちんと	adv	ordentlich, korrekt, ordnungsgemäß

どんどん	どんどん	adv	immer weiter, immer mehr, ohne Unterbrechung
ほぼ	ほぼ	adv	nahezu, beinahe, ungefähr
わずか	わずか	adv・NA・N	geringfügig, wenig
当たり前	あたりまえ	N・NA	selbstverständlich, normal (eher gespr. Spr.)
当然	とうぜん	N	Selbstverständlichkeit, selbstverständlich (eher formelle Spr.)
当時	とうじ	N	damalige Zeit, zu jener Zeit, damals
日程	にってい	N	Tagesplan, Tagesordnung
一生	いっしょう	N	das ganze Leben, (meist: Menschenleben)
生涯	しょうがい	N	das ganze Leben lang, (meist: Menschenleben)
寿命	じゅみょう	N	Lebenserwartung, Lebensdauer
適齡期	てきれいき	N	gesellsch. erwartetes Heiratsalter, "ehereife" Phase
夫婦	ふうふ	N	Ehepaar
夫	おっと	N	Ehemann, Gatte
妻	つま	N	Ehefrau, Gattin
カップル	カップル	N	Paar, Pärchen
異性	いせい	N	das andere Geschlecht
独身	どくしん	N	Single
世代	せだい	N	Generation
世帯	せたい	N	Haushalt
一人っ子	ひとりっこ	N	Einzelkind
平均	へいきん	N	Durchschnitt, durchschnittlich
率	りつ	N	Quote
理想	りそう	N	Ideal
偏見	へんけん	N	Vorurteil
条件	じょうけん	N	Bedingung
圧力	あつりょく	N	Druck
共同	きょうどう	N	Gemeinschaft, Partnerschaft, Kooperation
職	しょく	N	Arbeit, Anstellung
主義	しゅぎ	N	Prinzip, "-ismus" (z.B. 独身主義: bewußt gewähltes Single-Dasein)

環境	かんきょう	N	Umwelt, Lebensraum, Milieu
先進国	せんしんこく	N	führende (Wirtschafts-)Nation, die Industrieländer
～室	しつ	Suffix	Raum, Zimmer
～者	しゃ	Suffix	Person
～割	わり	Suffix	Deziprozent (z.B. 2割 = 20%)
そのような	そのような	DEM	so ein + N (=そんな; vgl. auchこのような, あのような, どのような)
一方	いっぽう	KONJ・N	einerseits (auch: andererseits)
それでは	それでは	KONJ	wenn es so ist; nun denn
いわゆる	いわゆる	Atr	sogenannt
...と並んで	とならんで	Zus	gleichzeitig mit N, gleichrangig mit N
問題ない	もんだいない	Zus	problemlos, fraglos

第4課

練習1 次の動詞を可能形にしてください。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1.着る | 2.もらう | 3.通る |
| 4.入る | 5.降りる | 6.する |
| 7.開ける | 8.帰る | 9.来る |
| 10.見える | 11.聞く | 12.聞こえる |
| 13.歌う | 14.切れる | 15.乗せる |
| 16.行く | 17.認める | 18.想像する |
| 19.近づかない | 20.招待しない | 21.出ない |
| 22.答えた | 23.洗った | 24.会った |
| 25.乗らなかった | 26.泊まらなかった | 27.起きなかった |
| 28.おっしゃる | 29.ご覧になる | 30.いらっしゃる |
| 31.拝見する | 32.いただく | 33.うかがう |
| 34.持って来る | 35.置いておく | 36.かたづけてしまう |
| 37.読まなければならない | 38.書いたほうがいい | 39.乗るようだ |

練習2 可能形を使って、次の質問に答えてください。

例 日本の歌を歌うことができますか。
→はい、歌えます。/いいえ、歌えません。

- 1.きちんと漢字を書くことができますか。
- 2.馬に乗ることができますか。
- 3.何語を話すことができますか。
- 4.たくさんお酒を飲むことができますか。

5. 明日は何時に大学へ来ることができますか。
6. 夏学期に試験でいい点をもらうことができましたか。
7. 子供のとき、クラスで一番速く走ることができましたか。
8. あなたはもう理想の男性／女性と出会うことができましたか。
9. ドイツでは何マルクぐらいで1ヵ月暮らすことができますか。
10. ここから駅まで歩いて行くことができますか。
11. ベアマン先生はコンピュータをお使いになることができますか。(はい)
12. 先生は来週のパーティーにおいでになることができますか。(いいえ)
13. ホームステイしたい人を受け入れることはできますか。
14. この学期の間に、漢字を全て覚えてしまうことはできますか。
15. 先生に日本のホストファミリーを紹介してもらうことはできますか。

練習3 次の文の意味は、肯定、否定のどちらですか。

例 日本車はあまり壊れないはずです。＝日本車は壊れる・壊れない

1. 明日テストがないはずはありません。＝テストがある・ない
2. 留学の手続きは難しくないはずです。＝手続きは難しい・難しくない
3. 昔は車が高くなかったはずはありません。＝車が高かった・高くなかった
4. たくさん子供がいる家庭は減少しているはずです。＝減少している・していない
5. 私が全部の漢字が読めるはずはありません。＝全部の漢字が読める・読めない
6. 今日は大学に来るはずじゃありませんでした。＝大学に来た・来なかった
7. アンナさんは日本語が話せるはずがありません。＝アンナさんは話せる・話せない

8. 山本さんは車の運転ができないはずはありません。＝山本さんはできる・できない
9. 今日の新聞を捨てるはずじゃありませんでした。＝新聞を捨てた・捨てなかった

練習4 理由を考えて、「はずだ」と「はずはない」の文を続けてください。

例	毎週木曜日にテストがあります。来週も… →来週もあるはずです。 →来週もないはずはありません。
---	---

1. 先生は金曜日には大学へいらっしゃいません。今週の金曜日も…
2. 森さんは甘いものが嫌いです。だから、ケーキを…
3. 彼はスポーツが大変得意です。スキーも…
4. 先生が入院なさいました。試験の日程が…
5. あのご夫婦は二人ともとても頭がいいです。子供も…
6. メラニーさんは今年大学に入学しました。去年は…
7. 私の友達の手紙がとても好きです。クリスマスにも…
8. 日本では毎年平均寿命が延びています。100歳を超える人が…
9. 彼女はコンピュータが得意です。わからないことがあったら、彼女に聞けば…

練習5 「に違いない」を使った文を作ってください。

例 あの人の服にはいつもねこの毛がついています。あの人は…
→あの人はねこを飼っているに違いありません。

- 1.明日はお祭です。町は…
- 2.あの建物からはいつも子供が大勢出てきます。あの建物は…
- 3.昨日も今日も雨が降りました。明日も…
- 4.隣のテレビの音がよく聞こえます。この部屋の声も…
- 5.昔は寿命が短かったです。だから、お年寄りの数が…
- 6.友達は遊んでばかりいます。卒業まで時間が…
- 7.あの教授はいつも早く帰られます。だから、もう研究室には…
- 8.いろいろな意見があります。肯定的な意見だけではなく…
- 9.世代が違っていると、考え方も違います。だから、話をするのは…
- 10.昔は車がありませんでした。だから、昔の旅は…

練習6 次の文に「でも」を入れてください。

例 お茶を飲みませんか。
→お茶でも飲みませんか。

- 1.食事をいっしょにしませんか。
- 2.散歩に行きませんか。
- 3.コーヒーを入れましょうか。
- 4.森を散歩しましょう。

5.美術館へ行きましょう。

6. デュッセルドルフで買い物しましょうか。

練習7 下の単語と「でも」を（ ）に入れてください。

例 この問題は（ ）わかります。

→この問題は小学生でもわかります。

1.彼の趣味は（ ）理解できません。

2.（ ）知らない古いことばを使う外国人がいます。

3.この肉は古くて、（ ）食べません。

4.このスーツケースはとても軽いので、（ ）持てます。

5.エルンスト君はお金持ちの女性と結婚したいそうです。（ ）いいそうです。

6.荷物がとても少ないですから、（ ）だいじょうぶです。

7.私の祖母は（ ）着ないはでな服が好きです。

8.鈴木さんは（ ）わからない難しいドイツ政治の本を読んでいらっしやいます。

9.お姉さんは（ ）使わない悪いことばをしょっちゅう使います。

小学生 犬 小さなかばん お年寄り 奥さん

若い女性 80才の女性 女の人 男性 ドイツ人

練習8 「Fragepronomen + ても」を使って、質問に答えてください。

例 食べられないものはありますか。
→いいえ、何でも食べられます。

1. 何時間ぐらい寝られますか。
2. いつお電話すればいいですか。
3. 明日どこへ行きましょうか。
4. どんなおかしが好きですか。
5. 大学の図書館は学生しか行ってはいけませんか。
6. 何本ぐらいビールが飲めますか。
7. お祝いのお金はいくらぐらい上げなければいけませんか。

練習9 「Fragepronomen + ても」を使って、同じ意味の文を作ってください。

例 たくさん勉強しました。でも、分かりません。
→いくら勉強しても分かりません。

1. いろいろな所へ行きます。でも、車がいっぱいです。
2. ドイツでは、みんなウッシー・グラス (Uschi Glas)を知っています。
3. 何回もスキーに行きました。でも、全然上手になりません。
4. いろいろな新聞を読みました。でも、あの記事は見つかりません。
5. 子供のときは、いろいろな物を食べました。全部おいしかったです。
6. チョコレートをたくさん買います。父が全部一人で食べてしまいます。
7. 久しぶりに会った友達と何時間もおしゃべりしました。でも、時間が足りませんでした。
8. 私の彼／彼女は自動車でも、電車でも、飛行機でも、駅でも寝られます。

第4課 日本の家族と結婚

「夫婦2人と子供2人」これがドイツのいわゆる普通の家族のイメージに違いない。これは日本でも同じだ。では、日本とドイツの家族はほぼ同じだと言えるのだろうか。

まず、大きく違うのはカップルが結婚するかどうかである。ドイツでは結婚は義務ではないが、日本では違う。1960年代には、日本でもドイツでも、結婚しなければカップルはいっしょに暮らせなかった。結婚してから、やっと二人の共同生活が始められ、そして子供が作れたのだ。また、結婚によってはじめて、本当の意味での成人として、社会に受け入れてもらえた。当時、結婚しないで同居していたカップルは、ドイツでもかなり批判されたはずである。

その後、ドイツでは結婚についての見方が変化し、結婚しないで同居できる環境になった。一方、日本では、現在でも30年前とほとんど変わらず、結婚は共同生活を始める条件であり、大人として認められる条件であるⁱ。そのため、若い人の7割以上が結婚に肯定的である。「結婚する必要はない」「結婚しないほうがいい」という否定的な意見は2割以下。ドイツでは結婚に肯定的な若い人は4割以下、否定的なのは5割で、日本との違いは大きい。

日本では、一般的に言って、結婚せずに同居することはまだ「良くないこと」とされている。どんな親でも、子供が異性と同居するのを心からは喜べないだろう。そのため、1992年に行われた調査でも、18才ⁱⁱ~34才ⁱⁱⁱの若い人の1.1%ⁱⁱⁱだけが異性と同居中だった。(ドイツでは8.1%)^{iv}

結婚しなければいっしょに生活できないなら、日本人は早く結婚するはずだとだれでも思うだろう。しかし実際には、日本人の結婚する年齢は非常に高い。しばらく共同生活してみてから結婚することができる他の先進国よりも、高いと言えるのだ。1993年に

は男性の初めての結婚平均年齢は 29.7 才、女性は 27.1 才だった。これは、学歴が高くなり、なかなか職に就けなくなったことと、適齢期（結婚しなければならない年齢）を気にしない人が増えたことが原因に違いない。

前にも言ったように、日本社会では結婚が非常に重要だと考えられている。なかなか結婚しない人は、「だれか好きな人でもないのですか」「そろそろ結婚でも考えたらどうですか」と聞かれるのがしょっちゅうだ。家族からの圧力や、社会的圧力が独身者にかかる。しかし、結婚しない人は増えていて、1990 年には、35 才から 39 才の女性の 7.5%、男性の 19.0%が独身だった。この人たちは、独身主義者というよりは、理想の相手が見つけれなければ、結婚しなくてもよい、と考えているらしい。

「結婚」を考えるなら、「離婚」というテーマも忘れられない。日本でも離婚率は上がっていて、過去 30 年間で 2 倍になった。しかし、それでもドイツより低い。結婚前にいっしょに住んでみて、うまく行くかどうか試せないのに、である。それに、離婚の手続きも非常に簡単で、2 人が希望すれば、すぐに別れられる。それなのに、離婚が少ないのは、離婚への偏見と、（特に女性の）離婚後の生活の保障がないこと、それに、子供を育てるためには両親が必要だという考えが非常に強いこと等が理由にあげられるだろう。日本では「結婚すれば子供を持つのが当たり前だ」、「子供のために妻は仕事をやめるのが当然だ」という子供中心の意見が結婚している女性の 90%を越える。だから「子供がいるから、別れられない」と思って離婚をあきらめる人が多いのは、簡単に想像できるはずだ。

それでは、次に「子供」について見てみよう。他の先進国と同じように、日本でも子供の数はどんどん減っている。一人の女性が生涯に生む子供の数は、1960 年の 2.00 人から、1990 年には 1.54 人に減少している。（平均寿命がのびているので、人口はまだ増えているが、2011 年には減少が始まるはずである。）では、一人っ子の家庭が多いか、

というと、そうとは言えない。結婚している女性の子供の数は、昔も今もほぼ同じ2.2人なのである。そのため、「夫婦2人と子供2人」という家族の形は、今でも一番ふつうだと考えられる。一人の女性が生涯に生む子供の数が減っているのは、結婚しない人が増えているためらしい。

日本では結婚が共同生活の社会的条件なので、結婚していない両親から生まれた子供の数は、大変少ない。1990年に生まれた子供のうち、わずか1.1%だけだったⁱⁱⁱ。想像できるように、ドイツではかなり多く、10.5%（旧西ドイツ）だった。ドイツでは結婚しない同居も新しい「家族」の形として認められているので、問題なく子供を持てるし、差別も心配しないでいられるからだろう。日本でのそのような子供への差別はとても厳しい。法律上の差別ⁱⁱⁱⁱがなくなったのも、まだ数年前のことなのだ。

結婚と並んで、日本の家族がドイツのと大きく異なる点は、夫婦とその親との同居である。ドイツでは1.6%の世帯しか親、子供、孫の三世代がいっしょに暮らしていないのに、日本では17.2%の世帯が三世代同居をしている。世帯ではなく、家族で見ると、子供のいる家族の30%以上が、おじいさんやおばあさんと暮らしている。この点は、ドイツと日本の家族を比較するとき、忘れてはならない点である。これについては、また考えることにする。

-
- i 結婚は…条件である Aus diesem Grunde werden häufig jüngeren Leuten, die noch keinen Partner haben, von Verwandten, Bekannten und Organisationen potentielle Partner vorgeschlagen. Ob der Betroffene den vorgeschlagenen Partner auch tatsächlich heiratet, liegt allein in seinem Ermessen. Die Entscheidung fällt normalerweise nach einigen Verabredungen.
- ii 18才~34才 読み方：18才から34才まで
- iii 1.1% 読み方：いってんいち
- iv “5th World Youth Survey” andere Zahlen: s. Literatur
- v というよりは statt... sondern (eher)
- vi 一人の…子供の数 Totale Fertilitätsrate
- vii 1.1% Die Rate der nichtehelichen Kinder in Japan ist viel geringer als beispielsweise in den katholischen Ländern wie Spanien (8,0%) und Italien (5,8%). Selbst Griechenland mit seiner griechisch-orthodoxen Kirche weist eine Rate von 2,1% nichtehelicher Kinder auf.
- viii 法律上の差別 Nichteheliche Kinder wurden in Japan bis vor einigen Jahren auch im Familienregister gesondert eingetragen, so daß sie bei der Durchsicht der Eintragung sofort als solche identifiziert werden konnten. Außerdem wurden sie bei der Erbschaft sozusagen nur als “halbe Kinder” berücksichtigt. Gesellschaftliche Vorurteile gegenüber nichtehelichen Kindern sind heute noch deutlich vorhanden. Sie werden z.B. bei der Eheschließung oder Arbeitssuche benachteiligt. Aus diesem Grunde fühlen sich die meisten Paare, die die Institution Ehe eigentlich ablehnen, zur Ehe gezwungen, sobald sie ein Kind erwarten.

LEKTION 4

低	niedrig	テイ ひく・い	低い	niedrig	
	ノ イ 亻 化 佗 低 低		ひく	低～	gering, Minimal-, niedrig + N
			低学年	Unterstufe テイガクネン (Schule)	

簡	einfach, kurz	カン	簡単	einfach, leicht
	ノ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ 簡 簡 簡 簡 簡 簡		カンタン	

単	eins, einfach	タン	単位	Einheit, Hochschul punktesystem
	、 “ ” 卍 卍 卍 卍 卍 単		単に	nur, einfach
			単身	allein, ohne Begleitung

忘	vergessen	ボウ わす・れる	忘れる	vergessen	
	、 一 亡 亡 忘 忘 忘		わす	忘れ物	liegengelassene Sache, Fundsache
			わすもの		

比	vergleichen	ヒ くら・べる	比べる	vergleichen	
	、 ト 上 上 比		くら	比較	Vergleich
			ヒカク	比較的	vergleichsweise, relativ

LEKTION 4

想	Idee, Gedanke	ソウ	理想 Ideal
	一 十 才 木 利 和 相 相 相 相 想 想 想		リソウ 想像 Einbildung, Phantasie, Vorstellung ソウソウ
			想い出 (schöne) Erinnerung おも で

過	vergehen, verbringen	カ	過去 Vergangenheit
	丨 冂 田 田 尸 冂 冂 冂 冂 冂 過 過		カコ 過ぎす verbringen +
			す・ぎる す・ごす ～過ぎ nach-, über- +

夫	Ehemann, Mann	フ	夫 Ehemann
	一 二 夫 夫		おっと 夫妻 Mann + Frau, フサイ Gatte + Gattin

婦	Frau	フ	夫婦 Ehepaar
	く 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女		フウフ 婦人 Frau, Dame フジン

供	Gefolge, Begleiter	キョウ	子供 Kind
	ノ 丨 丨 丨 丨 丨 供 供		コトモ
			とも

LEKTION 4

才	Talent	サイ	～才 ～Jahre alt サイ
	一 寸 才		10才 10 Jahre alt じゅっさい

齡	Alter, Jahre	レイ	年齢 Alter ネンレイ
	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇		適齡期 ehreife Phase, gesell- schaftl. Heiratsalter テキレイキ
			高齡 hohes / fortge- schrittenes Alter コウレイ

身	Körper	シン み	独身 ledig, unverheiratet ドクシン
	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 身		身長 Körpergröße シンチョウ

点	Punkt	テン	点 Punkt テン
	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 点 点 点		～点 ～Punkte テン
			100点 100 Punkte ヒャクテン

共	zusammen, beide	キョウ とも	共同 Zusammenarbeit, キョウドウ Partnerschaft
	一 十 廿 卅 共 共		共和国 Republik キョウワコク

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 4

低	低								
簡	簡								
單	單								
忘	忘								
比	比								
想	想								
過	過								
夫	夫								
婦	婦								
供	供								
才	才								
齡	齡								
身	身								
点	点								
共	共								

練習 第5課

Übung Lektion 5

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

起きる	おきる	弱V	hier: s. ereignen
煮る	にる	弱V	im Sud kochen
演じる	えんじる	弱V	(e. Rolle) spielen
合わせる	あわせる	弱V	zusammenbringen, zusammenfügen
遅れる	おくれる	弱V	s. verspäten
超える	こえる	弱V	übersteigen, über e. Hindernis klettern
祝う	いわう	強V	feiern
鐘をつく	かねをつく	強V	e. Glocke schlagen
保つ	たもつ	強V	aufrecht erhalten
にぎわう	賑わう	強V	belebt sein, voller Leben sein (ortsbezogen)
間に合う	まにあう	強V	fristgerecht etw. tun, rechtzeitig sein
印刷	いんさつ	不V・N	drucken, Druck
解釈	かいしゃく	不V・N	interpretieren, Interpretation
左右	さゆう	不V・N	beeinflussen, manipulieren, Einfluß, Manipulation
収穫	しゅうかく	不V・N	ernten, Ernte
代表	だいひょう	不V・N	repräsentieren, Repräsentant, Repräsentation
発売	はつばい	不V・N	zu verkaufen beginnen, Verkaufsstart
ぎりぎり	ぎりぎり	ADV	gerade (noch) rechtzeitig, gerade (noch) ausreichend
本来	ほんらい	ADV	ursprünglich
幸福だ	こうふくだ	NA	glücklich
ポピュラーだ	ポピュラーだ	NA	beliebt, populär
ゆたかだ	豊かだ	NA	reich
現代	げんだい	adv	Gegenwart
近ごろ	近頃	adv	in letzter Zeit, neuerdings
ふだん	普段	adv	normalerweise, im Alltag
元日	がんど	N	1. Januar, Neujahrstag
大みそか	おおみそか・ 大晦日	N	Silvester
新年	しんねん	N	Neujahr, neues Jahr
年末	ねんまつ	N	Jahresende

～末	まつ	Suffix	Suffix für das Ende eines Zeitraums (年～: Jahresende, 月～(げつまつ): Monatsende, 学期～: Semesterende)
年賀状	ねんがじょう	N	Neujahrskarte
年中行事	ねんちゅうぎょうじ ねんじゅうぎょうじ	N	die Jahresfeste
時期	じき	N	Zeitpunkt, Zeitphase
順序	じゅんじょ	N	Reihenfolge
親類	しんるい	N	Verwandschaft, Verwandte
知り合い	しりあい	N	Bekannte(r)
全員	ぜんいん	N	alle, alle Mitglieder, alle Personen
生命	せいめい	N	Leben, ～力: Vitalität
作物	さくもつ	N	Getreide
動物	どうぶつ	N	Tier, Fauna
植物	しょくぶつ	N	Pflanze, Flora
松	まつ	N	Kiefer (Nadelbaum)
竹	たけ	N	Bambus
太陽	たいよう	N	Sonne
日の出	ひので	N	Sonnenaufgang
健康	けんこう	N	Gesundheit ～的だ: natürlich und gesund, vital
気分	きぶん	N	Stimmung お正月の気分: Neujahrstimmung お祭気分 = Feststimmung
地域	ちいき	N	Gebiet
役割	やくわり	N	Funktion, Aufgabe
金額	きんがく	N	Betrag (Geldbetrag)
広告	こうこく	N	Reklame
中身	なかみ	N	Inhalt
縁起	えんぎ	N	orakelhaftes Zeichen, Vorzeichen ～が良い: Glück bringend ～が悪い: Unglück bringend
ソフト	ソフト	N	engl.: soft; weich
バリエーション		N	engl.: variation; Variation
(お) そば	蕎麦	N	Soba, dünne Buchweizennudeln
(お) もち	餅	N	Reiskuchen (im Mörser gestampfter klebriger Reis)
(お) 汁	つゆ	N	Suppe, Sud

最～	さい	Präfix	Superlativ "am" ~大: größten, ~高: besten, ~低: schlechtesten, ~悪: kritischsten
最大	さいだい	N	Größe
初～	はつ	Präfix	das erste Mal ~日の出: der erste Sonnenaufgang im Jahr
...にとって	にとって	P	für; siehe GR L. 5 (zumeist: personenbezogen)
...にしては	にしては	P	für; siehe GR L. 5 (zumeist: personenbezogen)
...によって	によって	P	durch; siehe GR L. 5
...に対して	にたいして	P	gegenüber; siehe GR L. 5
なくてはならない		Zus	darf nicht fehlen, unbedingt da sein

おせち料理	お節料理	N	festliches Neujahrsessen
(お)ぞうに	雑煮	N	Suppe mit gestampftem Reis (もち)
鏡もち	かがみもち・ 鏡餅	N	dekorative Opfergabe aus mochi, Arrangement aus mochi
門松	かどまつ	N	große Neujahrsdekoration aus Kiefernzweigen und Bambus
しめ飾り	しめかざり	N	Dekoration aus verschnürten Glückssymbolen
除夜の鐘	じょやのかね	N	108 Silvesterglockenschläge
初詣で	はつもうで	N	erster Besuch des Tempels im neuen Jahr
お年玉	おとしだま	N	Geldgeschenk für Kinder u. junge Leute im neuen Jahr

第5課

練習1 次の文の（ ）の中に、合う文を下から選んで、「ように」を使って入れてください。そのとき、必要ならば、正しい形にしてください。

例 （ ）、安い新製品が発売されました。

→広告に書いてあったように、安い製品が発売されました。

1. （ ））、試験は2回行われます。
2. （ ））、あの方もかなり大きいです。
3. （ ））、ドイツでは最高のワインが作られています。
4. （ ））、マイヤーさんはとてもお金持ちです。
5. （ ））日本語は、なかなか分かりません。

広告に書いてありました

先生がおっしゃいました

町で普通の人が話します

着ている服を見ればわかります

世界中の皆様もご存じです

お父さんが背が高かったです

練習2 次のことのために、何をしますか。「ように」を使って文を作ってください。

例 朝早く起きられます。

→朝早く起きられるように、早く寝ます。

1. 電車に乗れます。
2. 授業に間に合います。
3. 日本で困りません。

4. 交通事故を起こしません。
5. ずっと健康でいられます。

練習3 何のために、これをしますか。「ように」を使って、文を作ってください。

例 子供は親類の家を何軒も回ります。
→たくさんお年玉がもらえるように、子供は親類の家を何軒も回ります。

1. 薬を飲みます。
2. 窓を閉めます。
3. 早く寝ます。
4. 電話番号を書きます。
5. 肉を冷蔵庫に入れます。

練習4 「ように」を使って次の文を変えてください。

例 Person 1: 「家で文法をよく勉強してください。」
→Person 1 が家で文法をよく勉強してくるように言いました。

1. 「部屋を汚くしないでください。」
2. 「このあたりは寒いので、暖かい服を着てきてください。」
3. 「クリスマスにすてきなプレゼントをください。」
4. 「明日のパーティーに何か料理を持ってきてください。」
5. 「講義の教室が変わったので、間違えないでください。」

練習5 次のようなとき、何を祈りますか。「ように」を使ってお祈りしてください。

例 車を買に行きます。 →安くて良い車を買えますように。

1. 明日重要な試験があります。
2. 日本に1年間留学します。
3. 就職活動をしなければなりません。
4. 新しい彼／彼女を見つけました。
5. 父がとても重い病気になってしまいました。

練習6 次のようなとき、どうしますか。「ようにする」を使って、文を作ってください。

例 雨が降っているので、自転車がぬれてしまいます。 →自転車を家の中に入れて、ぬれないようにします。

1. テレビが壊れたので、見られません。
2. いすが少なくて、全員すわれません。
3. 漢字を少ししか知らないので、本が読めません。
4. シャツのボタンがとれてしまったので、着られません。
5. 全てを悪く解釈すると、幸福な生活ができません。

練習7 「ようにしている」を使って、習慣を教えてください。

例 雨の日…
→雨の日には、家で勉強するようにしています。

1. 日曜日…
2. 家族や友達の誕生日…
3. 車を運転するときは必ず…
4. 健康のため、…

練習8 「～ようになる」を使って、文を続けてください。

例 壊れていた電話が直りました。
→電話が使えるようになりました。

1. 日本語を勉強しています。
2. 漢字をたくさん練習しました。
3. 自動車学校に通いました。
4. 赤ちゃんが大きくなりました。

練習9 合う文を次のページから選んで、「～ために」を使って、()に入れてください。

例 ()、箱をたくさん用意しました。
→引っ越しをするために、箱をたくさん用意しました。

1. ()、新しい彼／彼女を探します。
2. ()、日本の小学校では動物を飼っています。
3. ()、おもちゃを買って、おぞうにを作ります。
4. ()、よく考えて私達の代表を選びましょう。

引っ越しをします。	別れた人を忘れます。
新年をきちんと祝います。	子供に生命の大切さを教えます。
正しい政治をしてもらいます。	

練習 10 「には」を使って、友達にいろいろなことを教えてあげてください。

例 友だちは早くデュッセルドルフへ行きたいようです。
→早くデュッセルドルフへ行くには、電車が一番便利です。

1. トーマス君は動物園に行きたいようです。
2. 友だちは安く旅行がしたいそうです。
3. ズザンネさんは友達を作りたいようです。
4. 友だちは本を読みたいんですが、うるさくて読めなさそうです。

練習 11 次の文の () に、「ように」か「ために」か「には」を入れてください。

例 日本語が上手になる ()、日本人留学生と練習します。
→日本語が上手になるように、日本人留学生と練習します。

1. 日本語を習う ()、日本へ行くのが一番良いです。
2. 上手に日本の地理について話す ()、よく準備しました。
3. 日の出を見る ()、朝早く海へ出発しました。
4. 週末にドライブできる ()、金曜日までに車を修理しておきます。
5. 安くたくさん食べる ()、学食で食べるしかありません。
6. この授業に出る ()、他の授業をあきらめなければなりません。
7. 払う金額が、もらう金額を超えない ()、注意して生活しています。

8. 日本のお正月のように、門松を作る（ ）、松と竹を探しています。
9. フランス人は休む（ ）働いて、ドイツ人は働く（ ）休みます。

練習 12 「にとって」「にしては」「には」「として」から合うものを（ ）に入れてください。

例 山田さんは日本人（ ）背が高いです。
→山田さんは日本人にしては背が高いです。

1. あの映画は私（ ）とてもおもしろかったです。
2. 私（ ）とても丁寧に書いた字ですが、あまりきれいじゃありませんね。
3. あの本はすばらしいそうですが、私（ ）よく分かりませんでした。
4. 外国では、ときどきドイツ人の代表（ ）答えを求められます。
5. 子供（ ）なくてはならないものは、勉強ではなく遊びでしょうね。

練習 13 次の文の「によって」は、a. durch b. je nach のどちらですか。

1. 人によっていろいろな考え方があります。
2. 政治家によって国の将来が左右されます。
3. 寒さによって植物の葉が黄色くなりました。
4. ドイツ語は地域によって全然違うことばに聞こえます。
5. この大学の日本語コースはベアマン先生によって始められました。

練習 14 場面に合うように () の中に「によって」「によれば/によると」「に対して」「について」「にとって」「にしては」「には」のうち、合うものを入れてください。そのとき、必要ならば正しい形にしてください。

1. このズボンは私 () 短いです。

Sie möchten sagen, daß Ihnen die Hose zu kurz ist.

2. 近ごろのドイツの政治 () どうお考えですか。

Sie möchten wissen, was Ihre Bekannte von der heutigen deutschen Politik hält.

3. 天気予報 () 明日は晴れるそうです。

Sie möchten mitteilen, daß laut Wettervorhersage es morgen sonnig ist.

4. 漢字は中国人 () 日本へ伝えられました。

Sie möchten erklären, daß Kanji durch Chinesen nach Japan überliefert wurden.

5. 先生 () 教え方がかなり違います。

Sie möchten sagen, daß es sich je nach Lehrer ziemlich unterscheidet, wie man lehrt.

6. レギーネちゃんは4つ () 体が大きいです。

Sie möchten bemerken, daß Regine für ein vierjähriges Kind recht groß ist.

7. 南アフリカ () 輸出や輸入の禁止は、もうなくなりました。

Sie möchten erklären, daß das Export- & Importverbot gegen Südafrika aufgehoben wurde.

8. 私 () 一番大切なのは、お金じゃなくて時間です。

Sie möchten sagen, daß für Sie das Wichtigste kein Geld, sondern Zeit ist.

9. 日本の新聞を読む () 私の日本語の知識はまだ足りません。

Sie möchten sagen, daß Ihre Japanischkenntnisse nicht ausreichen, um japanische Zeitungen zu lesen.

第5課 年中行事ー1

「年中行事」とは、毎年決まった順序でくり返される行事を指す。年中行事はどの社会にもあるものだ。人間にとって、季節の変化は、作物を作るために重要なものである。だから、春にその年の作物がよくできるように祈ったり、秋に収穫を感謝するために祈るということは、国や地域に関係なく、世界中どこでも同じようだ。自然の力に左右される人間が、人間を超えるものに対して、決まった時期に祈るようになったのが、年中行事の始まりである。

それでは、日本の年中行事で最も重要なお正月を紹介してみよう。遠く離れたところに住んでいる家族や親類が故郷に集まってお祝いする、日本人にとっての最大の行事である。お正月は、新しい年の神様「お正月様」をお迎えするための行事で、新しい年を幸福な年にするには、きちんとお迎えしなければならないと信じられていた。昔は古いカレンダーを使っていたため、2月頃に祝われていたが、今は新しいカレンダーによって1月1日にお祝いするようになった。

お正月の準備は11月に始まる。11月の始め頃になると、年賀状用の特別なはがきが売られ、印刷屋の広告が届く。年賀状は、お正月にお世話になった人のところへ伺って新年のごあいさつをするかわりに、はがきを書くようになったのが始まりだ。今は、親しい人、親しかった人や、お世話になった人へ、年に一回きちんとあいさつをするという意味が強い。この習慣は、学校の友達や先生、前の上司、昔の知り合いなど、ふだんあまり連絡をとらなくなってしまった人との関係を保つために、大変役にたっている。年賀状が元日に着くようにするためには、12月20日ごろまでに出さなくてはいけない。そのため、多くの日本人にとって、11月、12月は年賀状の季節でもある。

年末はお正月の準備で大変で、大掃除をしたり、おせち料理の準備、門松やしめ飾りの準備など、お正月を迎えるためにやることはいくらでもある。(最近ではクリスマスも祝うようになったので、年末の忙しさはむかしより大変になった。)きれいな家で新年を迎えられるように、ふだんはあまり掃除を手伝わない男性や子供達も、皆いっしょに家中を掃除する。そして女性は縁起の良いものを使っておせち料理を作る。近ごろは売っているのを買う家庭も増えたが、お正月の気分になるには、なくてはならないものである。それから、門松を立て、しめ飾りや鏡もちを飾って、お正月を待つのである。

12月31日は大みそかという。大みそかには、家族そろってそばを食べる習慣がある。ポピュラーな説明によると、そばは長いので、「そばのように長く生きられますように」という意味があるのだ。そばを食べたら、除夜の鐘をつきにお寺へ行く。仏教によると、人間の悪いことは108あるそうだが、それを消すために鐘を108回つくのである。現代ではテレビも大みそかに大きな役割を演じるようになった。若い世代はレコード大賞¹⁾を見るし、紅白歌合戦²⁾は年越しそばを食べながら家族全員で見るとのものである。それからテレビで除夜の鐘を聞くというのが最も一般的な大みそかの過ごし方だろう。

元日の朝、初日の出を見る習慣もある。太陽に向かって「今年も良い年でありますように」と手を合わせて拝むのである。また、神社は初詣での人で大変にぎわう。家では、家族が丁寧なあいさつをきちんとして、新年のお酒³⁾を飲む。食べるものは、おせち料理と並んで、おぞうにがお正月の代表である。おぞうにはおもちをお汁に入れたもので、地域や家庭によって様々な作り方がある。だしを何でとるか、みそを入れるか、中身は何か、おもちを焼くかあるいは煮るかによってバリエーションはゆたかである。

また、お正月は子供達にとってはお年玉⁴⁾がもらえる、うれしい行事だ。お年玉は外国人には「子供にしては多い」と思える金額だろう。だから、お年玉で子供に買ってもらえるように、ゲームのソフト等のおもちゃが年末にたくさん発売される。今日では、子

供の興味の中心は、テレビゲームである。それに対して、伝統的なお正月の遊び^{vi}はあまり人気がない。伝統がなくなってしまうとしたら、非常に残念である。

マヤ-さん：「最近お正月の飾りが売られていますね。ドイツのクリスマスの飾りのようですが、何か意味があるのですか。」

森さん：「ああ、しめ飾りですか。しめ飾りは、悪い神様を家に入れないように飾るんですよ。良い神様だけいらっしゃるようにするんです。」

マ：「そうなんですか。良い神様だけお呼びするようにするには、しめ飾りがいるんですね。車用のしめ飾りもあるということは、車の神様もおいでなんですか。」

森：「おもしろいですね。車の神様もいらっしゃったら楽しいですね。あれは交通事故が起きないようにつけるんですよ。悪い神様は車にもやってくる、ということでしょね。」

マ：「じゃあ、私の自転車にもつけよう。(笑) ^{vii}」

森：「つけるなら、早めにつけたほうがいいですよ。私の両親は縁起が悪いから、お正月ぎりぎりじゃなくて、30日までに飾るように言っていました。」

マ：「わかりました。気をつけます。ところで、よく会社やお店の前に立ててある門松は、何のために飾るんですか。」

森：「本来はお正月の神様にそこにいてもらうために作ったらしいですね。今では『松は一年中緑だし、竹は生命力が強い植物なので、それを使った門松を立てて、健康で長く生きられるように願う』という解釈に変わったようです。」

マ：「じゃあ、昔は普通の家にも飾ったんですね。門松は高そうなのに。」

森：「自分で作ったんだと思いますよ。昔の人は今の人よりよく働きましたから。(笑)」

-
- i 印刷屋 Da nicht nur Firmen, sondern auch Privatleute nicht selten einige hundert Neujahrskarten abschicken, läßt man sie häufig bei einem professionellen Drucker vervielfältigen. Es gibt aber auch welche, die ihre Neujahrskarten selbst drucken und diese mit selbst geschnitzten oder gemalten Motiven (meist ein Tiermotiv aus dem asiatischen Tierkreiszeichen) schmücken.
- ii レコード大賞^{たいしょう} Schallplatten Grand Prix. Zu diesem Anlaß werden die in diesem Jahr am meisten verkauften Schlagerplatten und die beliebtesten Newcomer der japanischen Schlagerszene ausgezeichnet.
- iii 紅白歌合戦^{こうはくたがっせん} Schlagerwettbewerb Rot gegen Weiß. Traditionsreiche Schlagerparade des staatlichen Senders NHK. Hier treten sowohl die alten Hasen der Schlagermusik als auch die Newcomer auf. Diese Sendung wurde auch z.B. in Brasilien, mit großem Anteil an japanstämmigen Menschen, ausgestrahlt. Die Teilnahme an diesem Gesangswettbewerb gilt als die größte Ehre für einen Schlagerstar. Obwohl diese Sendung lange Jahre fast schon einem Synonym für Silvester gleichkam, sank in der letzten Zeit, wohl wegen der neuen Privatsender, die zeitgleich Alternativprogramme zeigen, die Einschaltquote.
- iv 新年のお酒 Neujahrs-Reiswein. Dieser Sake nennt sich "o-toso" und ist eine Art Kräuterschnaps. Heutzutage trinkt man zu diesem Anlaß häufig einen gewöhnlichen Reiswein.
- v お年玉 Neujahrs-Taschengeld. Ursprünglich bedeutete "o-toshidama" eine Zuteilung von Opfergaben für den Gott an die Familienangehörigen und Bediensteten. Heute bedeutet dieses Wort nur noch Bargeld, das man Kindern zukommen läßt. Verwandte und Bekannte beschenken Kinder (bis etwa zum Studentenalter) mit Bargeld, dessen Höhe sich nach dem Alter des Kindes richtet. Dieses wird in einem bestimmten, dafür vorgesehenen Umschlag eingepackt.
- vi 伝統的なお正月の遊び traditionelle Neujahrsspiele sind z.B.:
 はねつき: eine Art Federballspiel
 たこあげ: Drachensteigen
 こままわし: Kreiselspielen
 かるた (百人一首)^{ひゃくにんいっしゅ}: e. Art Memory-Spiel
- vii (笑) Dieses Zeichen steht in solchen Texten, die eine Konversation wiedergeben und in denen ein Gelächter aufkommt.

LEKTION 5

表	Tabelle, Liste, Ausdruck; Oberfläche	ヒョウ おもて あらわ・れる あらわ・す	表す sich ausdrücken, アラウ z. Ausdruck bringen
	一 十 千 圭 表 表 表 表		表 Tabelle, Liste ヒョウ/おもて
			代表 Vertreter/-in, ダイヒョウ Repräsentant/-in

信	Glaube, Vertrauen	シン	信じる glauben, vertrauen シン
	ノ イ 仁 仁 仁 信 信 信 信		信頼 Vertrauen, シンライ Zutrauen
			通信 Funkverkehr ツウシン

消	auslöschen, erlöschen	ショウ け・す き・える	消す (aus)löschen け
	、 ミ シ シ シ シ 消 消 消 消		消える erlöschen き
			消しゴム Radiergummi け

指	Finger, zeigen auf	シ ゆび さ・す	指す aufzeigen, mit dem さ Finger zeigen auf
	一 十 十 十 十 十 指 指 指		指 Finger ゆび
			親指 Daumen おやゆび

植	pflanzen	ショク う・える う・わる	植える pflanzen う
	一 十 十 十 十 十 植 植 植 植 植 植		植物 Pflanze ショクブツ
			植木 Garten-/Topf- うえき pflanze

LEKTION 5

良	gut	リョウ よ・い	良い gut
	丶 ㇀ ㇁ ㇂ 良 良		よ
	良		良心 Gewissen リョウシン

緑	grün	リョク みどり	緑 grün, Grün
	く 纟 纟 纟 糸 糸		みどり
	紵 紵 紵 紵 紵 紵 緑 緑		

神	Gott	シン ジン かみ	神 Gott
	丶 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄		かみ
	神 神 神		精神 Geist, Seele, Psyche セイシン
			女神 Göttin めがみ

末	Ende	マツ バツ すえ	年末 Jahresende
	一 二 丰 末 末		ネンマツ
			月末 Monatsende ゲツマツ
			学期末 Semesterende ガッキマツ

役	Dienst, Position, Nutzen	ヤク	役割 Rolle (Aufgabe)
	丶 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄		ヤクワリ
	役		役に立つ nützen, ヤク た nützlich sein
			兵役 Wehrdienst ヘイエキ

LEKTION 5

命	Befehl, Leben, Schicksal	メイ ミヨウ いのち	生命 Leben セイメイ
	ノ 人 亼 合 合 合 命 命		命 Leben いのち
			命令 Befehl メイレイ

健	gesund	ケン すこ・やか	健康 Gesundheit ケンコウ
	ノ 亼 亼 亼 亼 亼 健 律 律 健 健		健康的だ natürlich und ケンコウテキ gesund

康	Ruhe, Friede	コウ	健康食品 Lebensmittel aus ケンコウショクヒン d.Reformhaus
	ノ 一 广 广 广 广 康 康 康 康 康		健康保険 Krankenkasse ケンコウホケン

類	Sorte, Art	ルイ	親類 Verwandtschaft シンルイ
	ノ 一 一 一 一 一 類 類 類 類 類 類		種類 Sorte, Art, シュルイ Gattung
			人類 Menschheit ジンルイ

域	Gebiet, Region	イキ	地域 Gebiet, Bezirk, チイキ Zone
	一 十 十 十 十 十 域 域 域 域 域		地域研究 Regionalstudien チイキケンキュウ "Area Studies"

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 5

表	表								
信	信								
消	消								
指	指								
植	植								
良	良								
緑	緑								
神	神								
末	末								
役	役								
命	命								
健	健								
康	康								
類	類								
域	域								

練習 第6課

Übung Lektion 6

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

面倒を見る	めんどうをみる	弱V	s. um jmd. od. etw. kümmern
過ぎる	すぎる	弱V	passieren, vorbeigehen, -fahren
終える	おえる	弱V	zum Ende bringen, abschließen
かかえる	抱える	弱V	bei sich tragen, 病気を～: chronische Leiden besitzen
避ける	さける	弱V	vermeiden, umgehen, -fahren
つぶれる	潰れる	弱V	zusammenfallen, zunichte gemacht werden, 制度が～: e. System löst s. auf
継ぐ	つぐ	強V	(vom Vorgänger) übernehmen (Familienstamm) halten
やしなう	養う	強V	ernähren
～直す	なおす	強V	erneut etw. tun
援助	えんじょ	不V・N	Unterstützung
介護	かいご	不V・N	Krankenpflege 老人・病気の人を～: alte/kranke Menschen pflegen
改善	かいぜん	不V・N	reformieren, Reform
経営	けいえい	不V・N	betreiben, Betrieb (～学: Betriebswirtschaft)
サービス	サービス	不V・N	Dienstleistung, Service
充実	じゅうじつ	不V・N	ausgleichen, oft: 充実した: ausgeglichen, Ausgeglichenheit
相続	そうぞく	不V・N	erben, Erbschaft
納得	なっとく	不V・N	einleuchten, Einsicht
非難	ひなん	不V・N	heftig kritisieren, heftige Kritik
負担	ふたん	不V・N	belasten, Belastung
予想	よそう	不V・N	prognostizieren, Prognose
満足	まんぞく	不V・N	zufrieden sein, Zufriedenheit
まだまだ	まだまだ	ADV	immer noch (nicht)
～にくい	難い	VA	schwierig, schwer (zu tun)
～やすい	易い	VA	angenehm, leicht (zu tun)
耳が遠い	みみがとおい	Zus	schwerhörig sein
困難だ	こんなんだ	NA	schwierig
様々だ	さまざま	NA	verschieden, vielfältig
深刻だ	しんこくだ	NA	bedenklich, ernst
不満だ	ふまんだ	NA	unzufrieden

不安	ふあん	N・NA	Besorgnis, Angst, besorgt
別々	べつべつ	N	unterschiedlich (N!)
期間	きかん	N	Phase, Zeitraum
同時	どうじ	N	gleichzeitig, Gleichzeitigkeit
諸国	しょこく	N	Länder, diverse Nationen
国民	こくみん	N	(Staats-)Volk, Bevölkerung
第二次世界大戦	だいにじせかい たいせん	N	Zweiter Weltkrieg
市	し	N・Suffix	Stadt, (als Suffix: Stadt Osaka = 大阪市)
村	むら	N	Dorf, kleine Ortschaft
福祉	ふくし	N	Wohlfahrt, Sozialwesen
保険	ほけん	N	Versicherung
年金	ねんきん	N	Rente
医療	いりょう	N	ärztliche Behandlung, Sanitätswesen
財産	ざいさん	N	Besitztum, Vermögen
青年	せいねん	N	junger Mensch, junger Mann, Jugend
老人	ろうじん	N	Senioren
高齢	こうれい	N	hohes Alter
寝たきり	ねたきり	N	bettlägrig (N!)
手すり	てすり	N	Geländer
長男	ちょうなん	N	der Erstgeborene, Stammhalter
長女	ちょうじょ	N	die Erstgeborene
精神	せいしん	N	Geist, Geisteshaltung ~的だ: geistig, psychisch
肉体	にくたい	N	Leib, Körper ~的だ: physisch
農家	のうか	N	Landwirtschaftsbetrieb, Bauernhaus
栄養	えいよう	N	Nährwert, Vitamin
結果	けっか	N	Ergebnis
状態	じょうたい	N	Zustand
段階	だんかい	N	Stufe, Phase
残り	のこり	N	Rest

数字	すうじ	N	Zahl
恩	おん	N	Dankbarkeit, positive Vergeltung
レベル	レベル	N	Level, Ebene
パターン	パターン	N	Schema, Muster, Pattern
アンケート	アンケート	N	Umfrage, Enquête
全～	ぜん	Präfix	Präfix: gesamt-, alle(s)
超～	ちょう	Präfix	Präfix: hyper-, ultra-
～一	いち	Suffix	Suffix: die Nummer 1 (Ausdruck des Superlativs)
～位	い	Suffix	Suffix: Rang Nr.
～期	き	Suffix	Suffix: -Phase, -Zeit
そういえば	そういえば	KONJ	übrigens; das bringt e. auf den Gedanken
なぜなら (ば)	なぜなら	KONJ	warum; das liegt daran; der Grund ist
とは言っても	とはいっても	Zus	auch wenn man so sagt; trotzdem

第6課

練習1 「～ていく」「～てくる」のどちらかを使って文を作ってください。

例 国民の負担は今までどんどん（増える）
→国民の負担は今までどんどん増えてきました。

1. 青年はこれからも年金を払って、老人を（やしなう）
2. 財産がない人は、（食べる）ために働かなければなりません。
3. 貿易問題で日本はアメリカに今日までずっと（非難される）
4. 結婚したら、その相手と一生幸せに（生活する）たいです。
5. 5年間（つきあう）彼／彼女と別れてしまいました。

練習2 「～ていく」か「～てくる」を使って、文を作ってください。

例 政府のお金が足りないので、福祉のレベルが…
→政府のお金が足りないので、福祉のレベルが低くなっていくかもしれません。

1. 冬が近づいています。だんだん…
2. 一生懸命勉強しました。わからなかった文法が…
3. 物の値段は、これからもどんどん…
4. 朝ご飯を食べてきませんでした。おなかが…
5. もう10時間も仕事をしています。だんだん…
6. 日本のサービスは昔は良かったですが、これからはどんどん…

練習3 「～ていく」か「～てくる」を使って文を作ってください。

例 急に強い風が (吹く)
→急に強い風が吹いてきました。

1. さっきまで晴れていたのに、雨が (降る)
2. 雨がやんだら、太陽が (出る)
3. これから高齢化が進むと、困難な問題が (出る)
4. ゆうれいが静かに (出る)、そして静かに (消える) ゆうれい : Gespenst

練習4 次の文の「～ていく」「～てくる」は、a. ～ f. のどれですか。

- a. **Kontinuität einer Aktion**
- b. **Zustandswandel**
- c. **Aufkommen und Vergehen**
- d. **etw. tun und anschließend herkommen/hingehen**
- e. **etw. tuend herkommen/hingehen**
- f. **hin-/her-**

1. 農家の人が家から出てきました。
2. 昨日帰るとき、雪が降ってきました。
3. 祖母は20年も一人で暮らしてきました。
4. 今日は家でじゅうぶん勉強してきました。
5. アンケートの紙を大学に持ってきました。
6. 父は毎朝コーヒーを2杯飲んで行きます。
7. 来週おいを隣の村に連れていこうと思います。
8. 様々な年齢の人が富士山に登っていきました。
9. 私はずっと祖父の面倒を見ていくつもりです。

10. 12月になると、どんどん寒くなっていきます。

11. 人間は一人で生まれてきて、一人で死んでいきます。

12. 朝ご飯を食べてこなかったのが、おなかがすいてきました。

練習5 「～はじめる」を使って、質問の文を作ってください。そして、その質問に答えてください。

例 いつ大学に通う

→いつ大学に通いはじめましたか。

2年前に通いはじめました。／2年前です。

1. いつ日本語を勉強する

2. いつデュースブルクに住む

3. いつ今の彼／彼女とつきあう

4. 何年前にたばこを吸う

5. ドイツではふつう何才頃、親と別々に住む

練習6 「～だす」を使って、文を作ってください。

例 町にいたとき、急に雨が…

→町にいたとき、急に雨が降り出しました。

1. 笑い話を聞いて…

2. 悲しいニュースを見て…

3. 私が嘘をついたので、彼／彼女は…

4. 母はとても怒って、自分のまわりの物を…

5. …とき、私はちょうど映画館に入ったので、大丈夫でした。

練習7 次の文では、「～はじめる」と「～だす」ではどちらが正しいですか。間違っているほうを消してください。

例 子供のときにダンスを（習いはじめました・習いだしました）。
→子供のときにダンスを（習いはじめました・~~習いだしました~~）。

1. 私は夕べ2時に映画を（見始めました・見だしました）
2. 馬が急に（走りはじめました・走りだしました）。
3. 妹はちょっと考えてから手紙を（書きはじめました・書きだしました）。
4. 水の音が聞こえます。上の人がお風呂にお湯を（入れはじめた・入れだした）ようです。
5. 乗る予定だった電車が（動きはじめてしまいました・動きだしてしまいました）。

練習8 下の文と「～かける」を使って、文を作ってください。

例 （ ）とき、電話が鳴りました。
→服をぬいでお風呂に足を入れかけたとき、電話が鳴りました。

1. （ ）が、疲れていたのでは眠ってしまいました。
2. 交通事故で大きなけがをして（ ）
3. （ ）ら、泣かれてしまいました。
4. 友達と話していたとき、（ ）ので、2人で笑いました。

服をぬいでお風呂に足を入れる 死ぬ
赤ちゃんに笑う 同時に同じことを言う
新聞を読む

練習9 「～つづける」を使って、文を作ってください。

例 彼は（ ）ので、立てなくなりました。
→彼は五時間も踊りつづけたので、立てなくなりました。

- 1.あの飲み屋で4時間も（ ）。
- 2.映画を見ている間、ずっと（ ）。
- 3.（ ）ので、声がおかしくなっていました。
- 4.あのおじいさんは、80年間（ ）。
- 5.何時間も（ ）と、耳が痛くなってしまいます。

練習10 次のことが終わったら、何をしますか。または何がしたいですか。「～おわる・おえる」を使って答えてください。

例 テレビの映画を見る
→テレビの映画を見おわったら、ビデオVideoを見ます。

- 1.ごはんを食べる
- 2.部屋をかたづける
- 3.大変な仕事をやる
- 4.図書館から借りた本を読む
- 5.故障したオートバイを修理する

練習 1 1 「～きる」「～きれる」を使って、同じ意味の文を作ってください。

例 料理がおいしかったので、多かったです、全部食べられました。
→料理がおいしかったので、多かったです、食べきれました。

1. 2時間あれば、新聞を全部読めます。
2. プレゼントのお花が多くて、全部かかえられません。
3. 1学期のときは、数字の読み方を全部覚えられませんでした。
4. とてもまずいコーヒーだったので、全部飲むことができませんでした。
5. 今週中にこの厚い本を全部読まなければなりません。

練習 1 2 次の文の () の単語と「～すぎる」「～やすい」「～にくい」のどれかを使って、文を作ってください。

例 私は (にぎやかだ) 人はなるべく避けたいです。
→私はにぎやかすぎる人はなるべく避けたいです。

1. このセーターは私には (大きい) 。
2. このボールペンは高かったのに (書く) 。
3. (おなかですく) 、もう歩けません。
4. この教室は (大きい) ので、(使う) 。
5. (わかる) 本を紹介していただけますか。
6. この町はケルン市に比べるとまだまだ (生活する) 。
7. そのくつはとても柔らかいかわでできていますね。 (はく) そうです。

第6課 日本の社会と高齢者

日本の人口は1995年10月現在、約1億2557万人である。この数は世界7位¹で、かなり大きい数字である。平均寿命²が延びつづけているので、これからも人口は増えていく。しかし、日本の人口は2011年には減りはじめると言われている。なぜなら、子供の数が減ってきているからだ。

日本の人口のうち、高齢者(65歳以上の人)の割合は、1996年には約15.1%であった。老人人口が全人口の15%以上の社会を高齢社会と呼ぶが、日本は高齢社会になったのだ。この約15%というのは、ドイツ(1995年17.1%)等のヨーロッパ諸国とあまり変わらない。しかし、日本とヨーロッパ諸国では異なる点がある。それは、日本では高齢化の進み方が急すぎることである。1950年には老人の割合は約4.9%だったが、1970年は7.1%、1990年13.5%、1996年には15.1%にもなった。そして、2011年には21.4%、2025年には25.8%になると予想されている。日本は、世界でも例のない速さで高齢社会を迎えた。そして、今、超高齢社会に入りかけているのだ。この高齢化の原因は平均寿命が延びたことである。第二次世界大戦後、国民の栄養状態が改善されたし、健康保険等の社会保障が充実して、医療が受けやすくなったからだ。しかし、様々な原因のうち、最も大きなものは、第4課で見たように、子供の数が減ってきたことであろう。

これから、どんどん高齢化が進んでいくと、高齢者問題が現在よりもっと深刻になっていく。例えば、年金について考えてみると、現在は6.6人で1人の老人をやしなっているが、将来は4人で1人の高齢者をやしなわなくてはならなくなる。つまり、年金を払う世代の人口が少なくなっていくし、年金をもらう世代の人口が多くなっていくため、年金制度がつぶれてしまうのだ。そのため、政府は国民が年金をもらえる年齢を上げだした。若い世代は、年金を払っても、将来自分がもらえるかどうかわからないので、不安を感じはじめている。これは、ドイツの状態とよく似ている。

医療費も高齢化によって高くなっていくはずだ³。たくさんの病気をかかえる高齢者の医療費は、平均医療費の3倍以上かかっている。そのため、高齢者の割合が増えれば、健康保険制度も危なくなってくるだろう。それを避けるために、老人は以前は医療費の1割を払えばよかったのに、1997年秋からは、3割も払うことになった。つまり、福祉のレベルが下がりだしたのだ。

介護の問題も大きい。高齢者の介護は、日本では子供夫婦がすることが多い。夫婦とは言っても、実際に世話をするのは、女性である。介護に必要な老人がいる場合、自分のための時間をとることは、非常に困難である。そのため、介護者が精神的にも肉体的にも疲れきってしまう。それに、平均寿命が延びているので、介護をしつづけなくてはならない期間も延びている。70才の老人が、その親の世話をするというのもめずらしくない。両親の介護をしておいたら、自分がすぐに死んでしまった、という悲しい話もある。このような家族の負担を軽くするために、2000年4月から介護保険が作られている。しかし、老人からも保険料をとるし、そのサービスの方法や種類が利用しやすくなさそうだ。このように、考え直す必要がある問題が山のように残っている。

森さん：「今度、母と同居することになりました。」

マヤさん：「そうですか。」

森：「5年前に父が亡くなってから、母は一人で暮らしてきましたんですが、最近足が弱くなってしまって…。買い物やお医者さんに行きにくくなったし、それに掃除や洗濯や料理もしにくくなりました。一人で暮らしつつけるのはもう無理でしょう。」

マ：「一人では無理でも、政府からの援助があるでしょう？看護婦や生活のお手伝いをしてくれる人がいるんじゃないですか。」

森：「ええ。でも、制度を作っている段階なので、まだまだ足りなさすぎるんです。今はまだだめです。それに、日本では子供が親の面倒を見るのは当たり前なんですよ。」

親に育ててもらった恩があるのだから、親の世話をするのは当然だという考えがあるんです。そのため、高齢者の半分以上が子供と暮らしているそうです。残りの半分も、子供のいる人は多分将来いっしょに暮らすはずだと思いますよ。」

マ：「へえ。そうなんですか。」

森：「子供は親の面倒を見ないと、まわりの人から非難されます。特に長男にとっては義務です。家の場合は、私が長男だから、私が世話をしなければいけません。」

マ：「今『長男だから』とおっしゃいましたが、なぜ、長男が親の面倒をみるんですか。」

森：「第二次世界大戦の前までは、法律で『長男が財産を相続し、家族全員の面倒を見る』と決まっていたんです。今は子供は平等に財産をもらえますが、『長男が家を継ぐ』という考えは今でも生きつづけています。」

マ：「でも、親の生活と子供のは別のものですよね。奥さんは反対なさらなかったんですか。」

森：「あまりうれしくないと思いますよ。でも、長男の私と結婚したということは、将来両親と同居するのを納得した、ということです。だから、同居には賛成してくれました。同居し始めたら、問題が出てくるかもしれませんけれど…。」

マ：「そう言えば、昔は、女性が結婚すると、男性の両親の家へ行って、そこで生活した、と聞いたことがあります。」

森：「今でもそのパターンは多いですよ。いなかではかなり多いです。特に農家はそうですね。町でも、自分でお店や工場を経営している人や、伝統的な考え方の人は、結婚と同時に同居しはじめます。私の両親は、『二人で暮らし続けられる間は別に住みたい。どちらかが亡くなったり、病気になったら、いっしょに住みたい。』とっていました。しかし、父が亡くなってからも、母は父と暮らしてきた家に残りました。思い出もあるし、長い間生活してきて、住みやすい町にいたほうがいいですからね。でも、最近『寂しい、寂しい』と仰いだしたんですよ。」

マ：「それはおかわいそうですね。」

森：「ええ。だから、母を呼ぶことに決めたのです。」

マ：「そうですね。お母さんは喜んでいらっしゃるでしょうね。」

森：「はい、とても。それで、今ちょうど母のために家を直しているんです。転ばないように階段を低くしたり、手すりをつけたりしています。直しおわったら、母が引っ越してくることになっています。」

マ：「家を直すのは大変ですね。お金がたくさんかかりますね。」

森：「ええ、そうなんです。老人のために家を直すときには、市からお金がもらえるんですが、少なすぎます。でも、母がけがをして、寝たきりになってしまうより、お金を払う方がいいですから。」

マ：「そうですね。寝たきりになってしまったら、お母さんも奥さんも大変です。」

森：「元気でいられれば、皆幸せですからね。そういえば、世界のお年寄りに対するアンケートの結果を見たことがあるんですよ。日本のお年寄りは、『生涯で一番幸せな時期はいつでしたか』という質問に、『今』と答えた人が一番多かったらしいです。他の国のお年寄りは、『青年期』や『子供を育てていたとき』という答えが多かったそうです。日本のお年寄りは、今の生活に満足している幸せな人が多いということかもしれませんね。」

-
- i 世界 7 位 1 位 中国、2 位 インド、3 位 アメリカ、4 位 ロシア、5 位 インドネシア、6 位 ブラジル
- ii 平均寿命 1995 年現在、男 76.34 才、女 82.84 才だった。男も女も平均寿命の長さは世界一である。2025 年には 男 78.27 才、女 85.06 才になると予想されている。
- iii …高くなっていく 30 年後には、医療費は現在の 5.2 倍になると予想されている。
- iv …暮らすはずです Ältere Menschen, die z.B. keine Angehörigen, von denen sie gepflegt werden, besitzen, oder solche, die aus Platzgründen bzw. aus Gründen der gegenseitigen Unverträglichkeit nicht mit ihren Familien zusammenleben, und schließlich solche, die wegen ihrer psychischen bzw. physischen Krankheit kaum von Familienangehörigen gepflegt werden können, lassen sich auch in einem Seniorenheim oder Krankenhaus für Senioren unterbringen. Obwohl die Nachfrage nach einem Heimplatz sehr groß ist, gibt es in Japan entschieden zu wenige Heime, so daß häufig die auf der Warteliste stehenden alten Menschen vor ihrer Aufnahme sterben. Im übrigen ist die Aufnahmegebühr für private Seniorenheime astronomisch hoch. Allgemein betrachtet läßt die Qualität der Pflege in japanischen Seniorenheimen zu wünschen übrig, so daß es ein ernsthaftes gesellschaftliches Problem darstellt. Eine Reform in diesem Bereich erscheint bitter nötig.
- v へえ “na so was!” Ausdruck des Erstaunens, nachdem man etwas Neues gehört hat.
Auch: 「ふーん」

LEKTION 6

遠	weit, fern, entfernt	エン とお・い	遠い fern, entlegen とお
	一 十 土 丰 吉 吉 声 章 章 袁 袁 遠 遠		遠く Ferne とお

洗	waschen	セン あら・う	洗う waschen あら
	、 丩 シ シ 冫 冫 冫 冫 冫		洗濯 Wäsche waschen センタク
			洗濯物 Wäsche センタクもの

進	fortschreiten	シン すす・む	進む fortschreiten すす
	ノ イ 亻 亻 亻 亻 冫 隹 隹 進 進		進学 zur nächsthöheren Schulform steigen シンガク
			進歩 Fortschritt シンポ

寝	schlafen	シン ね・る	寝る schlafen ね
	、 亠 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 寢 寢 寢		寝室 Schlafzimmer シンシツ
			寝たきり bettlägrig ね

疲	müde, erschöpft werden	ヒ つか・れる	疲れる ermüden つか
	、 一 广 广 疒 疒 疒 疒 疲 疲		

LEKTION 6

耳	Ohr	シ みみ	耳	Ohr
	一 丿 ㇇ ㇆ ㇇ 耳		みみ	

村	Dorf	ソン むら	村	Dorf, ländliche Ortschaft	
	一 十 才 木 木 村		むら	市町村	Gemeinde; Stadt und Dorf
	村			シチョウソン	

平	eben, flach	ヘイ ビョウ たい・ら	平均	Durchschnitt	
	一 一 一 一 平		ヘイキン	平等	Gleichheit
			ビョウドウ	平日	gewöhnlicher Wo- chentag, Werktag

民	Volk, Nation	ミン たみ	国民	Staatsvolk	
	一 一 一 一 民		コクミン	民族	Volk, die Völker
			ミンソク	民主主義	Demokratie

予	im voraus, vorher	ヨ	予想	Prognose	
	一 一 一 予		ヨソウ	予定	Vorhaben, Plan
			ヨテイ		

LEKTION 6

利	Vorteil, Nutzen	リ き・く	利用 Nutzen, Nutzung リヨウ
	ノ ニ 千 禾 禾 利 利		便利だ praktisch ベンリ
	利		

営	betreiben (z.B. Geschäft)	エイ いとな・む	経営 Betrieb, betreiben ケイエイ
	、 “ ” 川 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔		営業 Vertrieb, vertreiben エイギョウ
	営		

段	Stufe, Treppe, Grad, Phase	ダン	段階 Stufe, Phase ダンカイ
	ノ 一 一 一 一 一 段 段 段		階段 Treppe カイドン
	段		値段 Preis(stufe) ネダン

満	voll werden, füllen	マン み・ちる み・たす	満足 Zufriedenheit マンソク
	ノ ミ シ 汀 汀 汀 汀 汀 満 満 満 満		不満だ Unzufriedenheit フマン
	満		

戦	kämpfen	セン たたか・う	世界大戦 Weltkrieg セカイタイセン
	、 “ ” 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔		戦争 Krieg センソウ
	𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔		戦後 Nachkriegszeit, nach dem Krieg センゴ

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 6

遠	遠								
洗	洗								
進	進								
寢	寢								
疲	疲								
耳	耳								
村	村								
平	平								
民	民								
予	予								
利	利								
營	營								
段	段								
滿	滿								
戰	戰								

練習 第7課

Übung Lektion 7

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

下げる	さげる	弱V	aufhängen
定める	さだめる	弱V	festlegen (meist gesetzl.)
上がる	あがる	強V	hier: ins Haus eintreten (s. hinauf begeben)
温まる	あたたまる	強V	s. erwärmen, warm werden
炒る	いる	強V	rösten
追い出す	おいだす	強V	vertreiben
輝く	かがやく	強V	glänzen, hell leuchten
かなう	叶う	強V	in Erfüllung gehen
背負う	せおう	強V	auf d. Schulter tragen
のどがかわく	喉が渴く	強V	Durst haben
載る	のる	強V	stehen (i. d. Zeitung, Zeitschr. etc.)
入る	はいる	強V	hier: zubereitet sein (Getränke)
はずす	外す	強V	hier: ausklammern, vermeiden (Termin)
まく	蒔・撒く	強V	streuen, säen
迷う	まよう	強V	unschlüssig sein, schwanken, s. verirren
回す	まわす	強V	drehen, hindrehen
結びつく	むすびつく	強V	in Verbindung stehen, assoziieren
移動	いどう	不V・N	d. Ort wechseln, verlagern, Ortswechsel
記念	きねん	不V・N	s. e. Sache gedenken, Jubiläum, Erinnerung
流行	りゅうこう	不V・N	Mode
あいにく	あいにく	ADV	leider, dummerweise
ついでに	ついでに	ADV	nebenbei (parallel zu e. Aktion etw. anderes tun)
懐かしい	なつかしい	VA	sehnsüchtig, e. vergangenen Sache gegenüber Sehnsucht empfinden
豪華だ	ごうかだ	NA	luxuriös
日にち	ひにち	N	Datum
祝日	しゅくじつ	N	Feiertag, Festtag
祭日	さいじつ	N	Feiertag (oft: religiös)
祝祭日	しゅくさいじつ	N	Fest- und Feiertag(e)
前日	ぜんじつ	N	Vortag

前後	ぜんご	N	vorher u. nachher, vor u. hinter
あちこち	あちこち	N	überall, auch: あちらこちら
全国	ぜんこく	N	landesweit, auch mit: 的だ
都会	とかい	N	Großstadt, Stadt (als Gegenteil v. Land)
天皇	てんのう	N	jap. Kaiser, Tenno
民族	みんぞく	N	Volk
先祖	せんぞ	N	Vorfahr, Ahn
機関	きかん	N	hier: öffentl. (Verkehrs-)mittel sonst: Maschinerie, Organ
憲法	けんぽう	N	Verfassung
章	しょう	N	Kapitel, Abschnitt
匂い	におい	N	Duft, Aroma
臭い	におい	N	(übler) Geruch
願い事	ねがいごと	N	Wunsch, Herzenswunsch
目印	めじるし	N	Augenmerk, Anhaltspunkt, Zeichen
星	ほし	N	Stern
天の川	あまのがわ	N	Milchstraße
たましい	魂	N	Seele
ろうそく	蠟燭	N	Kerze
(お) 盆	ぼん	N	Bon-Fest (jp. Totenfest)
豆	まめ	N	Hülsenfrucht, Bohne
鬼	おに	N	Teufel, böser Geist
通り	とおり	N	hier: entsprechend
前～	ぜん	Präfix	Präfix vor- (前日: Vortag, 前年(ぜんねん): Vorjahr)
～経由	けいゆ	Suffix	via, über e. Ort
～線	せん	Suffix	(Bahn-) Linie
... 段	だん	ZW	a. Stufe, Regalboden, b. Fähigkeitsstufe (z.B. Kampfsport), "Dan"
ところが	ところが	KONJ	allerdings

申し訳ない	もうしわけない	Zus	formellere Form v. "sumimasen" (etwa: "ich weiß nicht, wie ich mich entschuldigen soll")
節分	せつぶん	N	Vorfrühlingsanfangsfest am 2.2.
ひな祭	ひなまつり	N	Puppenfest am 3.3.
(お) 彼岸	ひがん	N	buddh. Bezeichnung f. Tag- und Nachtgleiche im Frühling u. Herbst Dauer: eine Woche
春分の日	しゅんぶんのひ	N	Tag- und Nachtgleiche im Frühling, Frühlingsanfang
秋分の日	しゅうぶんのひ	N	Tag- und Nachtgleiche im Herbst, Herbstanfang
端午の節句	たngoのせつく	N	Kinderfest am 5. 5.
たなばた	たなばた	N	Sternenfest am 7.7.
(お) 月見	つきみ	N	Mondbetrachtungsfest
七五三	しちごさん	N	7,5,3 Fest
こいのぼり	鯉幟	N	e. Art Windspiel aus Stoff in Form e. Karpfen
かぶと	兜	N	kriegerische Kopfbedeckung, "Helm"
よろい	鎧	N	Ritterrüstung
(お) 墓参り	はかまいり	不V・N	e. Grab aufsuchen, Grabbesuch
佐藤	さとう	N	jp. Familienname

第7課

練習1 今何をしていますか。「ところ」を使って文を作ってください。

例 何をしていますか。(大学へ行きます)
→大学へ行くところです。

1. もう宿題は終わりましたか。(今始めます。)
2. 何をしていますか。(学食へお昼ご飯を食べに行きます。)
3. どちらへお出かけですか。(オランダまでドライブします。)
4. 映画は今日のシーン^{Szene}をやっていますか。(ロミオとジュリエットが別れます。)

練習2 「ところ」を使って、次の質問に答えてください。

例 今何をしていますか。(勉強について)
→日本語と経済を勉強しているところです。

1. 今何をしていますか。(趣味について)
2. 今何をしていますか。(今は12時30分です)
3. 最近何を読んでいますか。

練習3 「ところ」を使って次の文を書き直してください。

例 少し前に懐かしい写真を見たばかりです。
→懐かしい写真を見たところです。

1. 5分前にコーヒー豆を炒ったばかりです。
2. さっき、じゃまだった車を移動させたばかりです。
3. コンピュータ学校はまだ3日前に始まったばかりです。
4. ちょっと前に朝ご飯を食べ終わったばかりです。

練習4 「ところ」を使って、文を書き直してください。

例 クリスマスの前後に出かけたら、交通機関は動いていませんでした。
 →クリスマス前後に出かけたところ、交通機関は動いていませんでした。

1. 星や天の川を見ようとしたら、曇っていて見えませんでした。
2. あちこちの友達に電話をしたら、お金がたくさんかかってしまいました。
3. お誕生日の前日にケーキを焼いていたとき、オーブンが壊れてしまいました。^{Ofen}
4. ろうそくに火をつけようとしたら、急に強い風が吹いてきて、つけられませんでした。

練習5 左の文を読んで、内容が正しい方を選んでください。

1. 駅に着いたとき、電車が出るところでした。電車に間に合いました・間に合いませんでした
2. 駅に着いたとき、電車が来たところでした。電車に乗れました・乗れませんでした
3. 銀座線の最後の電車が来るところです。(銀座=場所の名前) 電車に乗れます・乗れません^{ぎんざ}
4. あいにくシュトゥットガルト経由ミュンヘン行きの電車は出発したところでした。
電車に間に合いました・間に合いませんでした
5. 映画館に着いたとき、映画が始まろうとしているところでした。
映画を最初から見られました・見られませんでした

練習6 次の文の () の動詞と「ところ」を使って、文を作ってください。

例	ご主人：「いつもの赤いセーターを着たいんですが。」
	奥さん：「あのセーターは今(洗う)よ。」
→	「あのセーターは今洗っているところですよ。」

1. Aさん：「こんにちは。どちらへいらっしゃるんですか。」

Bさん：「ちょっと買い物に(行く)。」

2. リーさん：「もしもし、リーと申しますが、ご主人はまだおいでですか。」

奥さん：「主人は先ほど旅行に(出かける)。」

3. 学生：「日本語の初級の授業はいつ始まりますか。」

先生：「先週(始まる)が、今でもまだ遅すぎませんよ。」

4. ジムさん：「この間貸した本はもう読み終わりましたか。」

ロバートさん：「はい。ちょうどさっき(読み終わる)。」

5. 山川さん：「暖房が壊れたそうですね。」

ホーンさん：「ええ。でも、さっき(直してもらう)。」

6. マイヤーさん：「友子さんはいらっしゃいますか。」

友子さんのお母さん：「娘は今大学で試験を(受ける)。」

7. 社員A：「お昼ご飯を食べに行きませんか。」

社員B：「すみません。今食堂で(食べてくる)んです。」

8. 課長：「佐藤君、あのコピーはもう部長にお渡ししたか。」

佐藤さん：「ただ今(持って行く)が、その前にもう一度読んでいただけますか。」

練習7 「ところ」を使って、例のように文を変えてください。

例 私は本を読みました。その本によると、お盆は8月にあるそうです。
→私が／の読んだところでは、お盆は8月にあるそうです。

1. 私は見ました。日本人は服にたくさんお金を使うようです。
2. 皆で調べました。それによれば、春分の日や秋分の日是世界中で特別な意味を持っています。
3. 私は友達に聞きました。日本の旅行は梅雨をはずしたほうが良いそうです。
4. 有名な先生がお書きになりました。それによると、「彼岸」は「あちら側」の意味だそうです。

練習8 「ところ」を使って、() の中に合う文を作って入れてください。

例 ()、すごいお金持ちにはなれません。
→(たくさん働いてお金をかせいだところで)、すごいお金持ちにはなれません。

1. ()、100点はもらえません。
2. ()、次の電車には間に合いません。
3. ()、事故は起きるかもしれません。
4. ()、たばこの臭いは消えません。

練習9 「ところ」を使って文を続けてください。

例 病院へ行かなかつたら、…
→病院へ行かなかつたら、死ぬところでした。

1. もし地図を買わなかつたら、…
2. めがねが床に落ちていました。…
3. 今日は雨が降るそうですが、急いでいたので、…
4. 車を運転していたら、急に子供が車の前に走ってきました。…

練習 10 次の () に「ところ」を正しい形 (mit Partikel, oder mit です u.s.w.) に変えて入れてください。

例 先生がおっしゃった ()、これは上級の文法だそうです。
→先生がおっしゃった (ところによると)、これは上級の文法だそうです。

1. この写真は節分に豆をまいている ()。
2. 年金のためにお金を払った ()、私達は多分もらえないでしょう。
3. この () 毎日忙しくて、夜遅く寝ています。
4. 私が天気予報を見た ()、あさっては晴れるそうです。
5. 私のねこが病気になってしまいました。() あなたの犬は元気ですか。
6. 今日の () ここまでで授業を終わらしましょう。
7. 今日は大変お忙しい () 来てくださってありがとうございました。
8. 大きな音で驚いて、もう少しで高かった花びんをこわす ()。
9. 友達の家ケーキを焼いて行きました。() 皆ケーキを持って来たんです。
10. 「こんにちは。」「あ、鈴木さん、ちょうどいい () いらっしゃいました。」

練習 11 「ところ」を使わないで、次の文を書き直してください。

例 先生に質問しようとしたところ、もういらっしゃいませんでした。
→先生に質問しようとしたら、もういらっしゃいませんでした。

1. お休みのところ、おじゃまして申し訳ありません。
2. まだ料理ができていないところに、お客さんが来てしまいました。
3. 買い物のついでに銀行に寄ったところ、もう閉まっていました。
4. 「ビールでも飲みませんか。」「今飲んだところですから、けっこうです。」
5. 首相が言ったところによると、年金制度を改善しなければならないそうです。

練習 12 次の質問に答えてください。

1. 今何が聞こえますか。
2. この部屋の窓からは何が見えますか。
3. あなたの家の窓からは何が見えますか。
4. 隣の家のシャワーの音は聞こえますか。
5. デュースブルクの町はどこから一番良く見えますか。
6. 今隣の教室の音が聞こえていますか。
7. めがねをかけなくても、よく見えますか。
8. 今すわっている席から、黒板の字は見えていますか。

練習 13 下の単語と「見える」「聞こえる」を使って、文を続けてください。

例 怒った人の顔は ()。 →怒った人の顔は (鬼の顔に見えます)。
--

1. ドイツ人には「ありがとう」が ()。
2. あの方の話し方はとても丁寧ですが、 ()。
3. 日本の家は小さいので、欧米人には ()。
4. お店では () 机が、家へ持って帰ったら ()。

鬼の顔 "Alligator" うさぎ小屋 (=Kaninchenstall) 大きい 小さい 冷たい
--

練習 14 「みたいだ」を使って文を書き直してください。

例 彼女の目は星のように輝いています。
→彼女の目は星みたいに輝いています。

1. 日本人の平均寿命は世界一長いようですね。
2. クリスティーナさんは男の人のような声で話します。
3. 日本では日曜日や祝祭日にもお店が開いているようです。
4. 友達の赤ちゃんは男の子ですが、女の子のようにかわいいです。

練習 15 どんな音・味・においがしますか。

例 春の風は (nach Blumen riechen)。
→春の風は花の匂いがします。

1. カリンさんの電話は (komisch klingeln)。
2. このワインは (säuerlich riechen) から、古そうですね。
3. このスープは (nach nichts schmecken)。塩を持ってきてください。
4. あのお店のフライド・ポテトは (nach altem Öl riechen)、おいしくありません。

第7課 年中行事ー2

佐藤さん：「こんにちは。佐藤です。」

マイヤーさん：「ああ、佐藤さんですか。こんにちは。」

佐：「急におじゃましては申し訳ないと思ったのですが、この近くの歯医者さんに行ってきたところなんです。だから、ついでに寄らせていただいたんですが、今お忙しいですか。」

マ：「いえいえ、だいじょうぶですよ。ひまなので本を読んでいたところです。どうぞ、お上がり下さい。」

佐：「そうですか。じゃ、失礼します。」

マ：「本当にちょうど良いところにいらっしゃいました。コーヒーもちょうど入ったところなんですよ。」

佐：「いいにおいがしていますね。」

マ：「どうぞ。(コーヒーを出す)」

佐：「ありがとうございます。ところで、読んでいらっしゃったのは、この『日本の年中行事』という本ですか。」

マ：「そうです。さっきお正月の章を読み終わったところです。」

佐：「ちょっと見てもいいですか。…懐かしいなあ。節分、ひな祭、彼岸、花見…。」

マ：「難しそうに聞こえますね。簡単に説明していただけますか。内容を少し知っていると、読みやすいので。」

佐：「いいですよ。節分は、カレンダーの上で春が始まる日の前日、つまり、2月2日の行事です。鬼を家から追い出すために、炒った豆をまきます。この日にはあちこちから『鬼は一、外。福は一内!』という声が聞こえてくるんですよ。あ、このページを見てください。この絵は、子供が豆をまいているところです。」

マ：「豆は食べないんですか。」

佐：「いいえⁱⁱ、食べますよ。年齢と同じ数だけ食べて、健康を祈ります。節分の後は、3月3日にひな祭があります。」

マ：「ひな祭ですか。中国のお祭みたいですね。」

佐：「えっ。中国ですか。」

マ：「ドイツ語では中国を『ヒナ』と呼ぶんですよ。だから私には『中国祭』のように聞こえます。」

佐：「ははは。そうなんですか。もちろん違いますよ。ひな祭の『ひな』は人形のことですよ。女の子のお祭で、人形を飾ってお祝いします。男の子のお祭は5月5日の端午の節句です。この日には、こいのぼりを立てて、かぶとを飾ったり、よろいを着た5月人形を飾ったりします。これがその写真です。」

マ：「ずいぶん豪華ですね。高そうに見えます。」

佐：「そうですね。本で読んだところによると、ひな人形は昔は紙で作って、川に流していたそうですが、だんだん豪華になってきたみたいですね。人形を飾る棚も7段や8段に増えて、人形も多くなっていったんです。でも、最近は広告を見たところ、すばらしく豪華な人形を、少なく買うのが流行みたいですね。」

マ：「大きいとじゃまなんでしょう。(笑)」

佐：「それから、春分の日と秋分の日の前後一週間がお彼岸です。お墓参りをする日で、仏教の行事です。そして、お花見ですが…」

マ：「あ、お花見はしたことがあるので、わかります。」

佐：「じゃ、次はたなばたですね。たなばたは7月7日です。天の川の左右に大きな星が輝いていますが、あの星は夫婦なのだそうです。そして二人は、年に一度、この日に会うということです。たなばたには願い事を紙に書いて、竹ⁱⁱⁱに下げておくと、願い事がかなうと言われていています。ある先生に聞いたところでは、日本の古い行事と中国のものが結びついてできたそうです。」

マ：「ドイツでも、子供達がクリスマスにほしい物を紙に書く習慣があります。」

佐：「へえ。やはりどこでも同じようなことをするんですね。」

マ：「佐藤さん、年中行事はたくさんあるようですが、お正月の他に特に大事な行事は何なのですか。」

佐：「お盆でしょうね。お盆は8月13、14、15日です。この時期には先祖のたましいが帰ってくると言われています。だから、家の近くの交差点まで行って、先祖が帰ってくる時の目印になるように、ろうそくに火をつけます。迷ったら大変ですからね。そして、手を背中に回して、たましいを背負ったつもりで家へ帰るんですよ。これは地方によって色々なやり方があるみたいですが、私の家ではこうします。そして、お盆には故郷を離れた人々もいなかに帰るので、会社などは一年で一番長いお休みになるんです。」

マ：「じゃあ、都会には人がいなくなりますね。」

佐：「そうですね。本当に信じられないほど静かになるんですよ。この時期には、この長いお休みを利用して、旅行に行く人も多いですからね。逆に、交通機関はお盆前と後が一年で一番混む季節です。あまりに大勢が移動するので、『民族大移動』とも言われているんですよ。」

マ：「お盆をはずして旅行したほうが良いみたいですね。」

佐：「その通りです。海外旅行の値段もこの時期が一番高くなりますからね。」

マ：「お盆の次はお月見、七五三……^{iv}。お祭はもうないんですか。」

佐：「もちろん、いろいろなお祭がありますよ。ただ、夏祭や秋祭などは、神社によって日にちが違うんです。同じ日に全国的に行われる行事だけが、この本には載っているみたいですね。このような昔から続いてきた行事の他に、法律によって定められた国民の祝祭日^vが年間15日あります。」

マ：「15日もあるんですか。いいなあ。」

-
- i 鬼は一、外… “Unglücksboten bleibt draußen, Glücksboten kommt herein!”
- ii いいえ Bei negiert formulierten Fragen wie 豆は食べないんですか。 wird bei einer bejahenden Antwort mit はい、食べません。 und bei einer verneinenden Antwort mit いいえ、食べます。 geantwortet. Während also im Deutschen das “ja” oder “nein” sich unmittelbar auf die Frage bezieht (“Ißt man die Bohnen nicht?” - “Nein, man ißt sie nicht.” bzw. “Doch, man ißt sie.”), orientiert sich das Japanische nach dem **Inhalt** der Frage:
 “Das nicht essen ist richtig“ → “**Ja**, nicht essen.” bzw.
 “Das nicht essen ist nicht richtig.” → “**Nein**, (sondern) essen.”
 Mit anderen Worten muß man das japanische はい als “Nein” und das いいえ als “Doch” übersetzen.
- iii 竹 In Wirklichkeit ist es kein Bambus, sondern Bambusgras
- iv お月見 Mondbetrachtung Ein Fest, das am 15. Okt. des alten (Mond-)Kalenders gefeiert wird. Dabei werden spezielle Reiskuchen und Grasähren als Dekoration verwendet.
 七五三 753 Am 15. Nov. werden 3- und 5-jährige Jungen sowie 3- und 7-jährige Mädchen festlich gekleidet und zum Shintoschrein gebracht, um ihre Gesundheit und ihr Gedeihen zu erbitten.
- v 国民の祝祭日 Nationale Fest- und Feiertage:
- | | | |
|-----------|----------------------------------|---|
| 1月1日 | お正月 | Neujahr |
| 1月15日 | 成人の日 | Tag, an dem alle jungen Leute, die die Volljährigkeit (20. Lebensjahr) erreicht haben, gefeiert werden. (Genauer gesagt, werden dabei diejenigen, die bis zum 1. April dieses Jahres die Volljährigkeit erreichen, miteinbezogen.) (Der 2. Montag im Januar ab dem Jahr 2000) |
| 2月11日 | <small>けんこくきねんび</small>
建国記念日 | Tag der Inthronisation des ersten legendären japanischen Kaisers. |
| 3月21日頃 | 春分の日 | Tag- und Nachtgleiche im Frühling |
| 4月29日 | 緑の日 | Vormals Geburtstag des Showa-Kaisers. Er wurde unbenannt und als Feiertag belassen, um die Goldene Woche aufrecht zu erhalten. |
| 5月3日 | 憲法記念日 | Tag der Inkrafttretung der japanischen Verfassung |
| 5月4日 | <small>きゅうじつ</small>
国民の休日 | dient als Bindeglied zwischen den Feiertagen |
| 5月5日 | 子供の日 | s. Text. Heute ist dieser Tag nicht nur für Jungen, sondern für alle Kinder. |
| 7月20日 | 海の日 | wurde kreiert, um den Mangel an Feiertagen im Juni u. Juli auszugleichen. |
| 9月15日 | <small>けいろう</small>
敬老の日 | ältere Menschen werden an diesem Tag verehrt. |
| 9月23日か24日 | 秋分の日 | Tag- und Nachtgleiche im Herbst. Tag der Ahnenverehrung |
| 10月10日 | <small>たいいく</small>
体育の日 | Gedenktag der olympischen Spiele in Tokyo (Der 2. Montag im Oktober ab dem Jahr 2000) |
| 11月3日 | 文化の日 | Geburtstag des Kaisers Meiji; Gedenktag der Proklamierung der neuen Verfassung |
| 11月23日 | <small>きんろう</small>
勤労感謝の日 | Gedenktag der Arbeit |
| 12月23日 | 天皇誕生日 | Geburtstag des jetzigen Kaisers |
- Wie ersichtlich gibt es in Japan keine Fest- oder Feiertage, die einen religiösen Inhalt besitzen. Diese Tatsache ist auf die bewußte Trennung zwischen Religion und Politik zurückzuführen, zumal der Shintoismus bis Ende des zweiten Weltkriegs mißbraucht wurde.
- Desweiteren wurde gesetzlich festgehalten, daß ein auf einen Sonntag fallender Feiertag am folgenden Tag nachgefeiert wird (sog. ふりかえきゅうじつ 振替休日). Daher gibt es in Japan häufig “Feiertagsketten”. Die relative Vielzahl der Fest- und Feiertage erklärt sich durch die Tatsache, daß die Japaner vergleichsweise wenige (bezahlte) Urlaubstage haben und deren volle Wahrnehmung oft nicht gerne gesehen wird.

LEKTION 7

定	festsetzen, entscheiden	テイ ジョウ さだ・める さだ・まる	定める festsetzen, さだ entscheiden
	、 宀 宀 宀 宀 宀 定 定		特定の bestimmt トクテイ
			予定 Plan, Planung ヨテイ

流	Strömung, Stil	リュウ なが・れる なが・す	流す fließen lassen なが
	、 氵 氵 氵 氵 氵 流 流 流 流		流れる fließen なが
			流行 Mode リュウコウ

迷	verlegen sein, zögern	メイ まよ・う	迷う verlegen sein, zö- まよ gern, schwanken
	、 辶 辶 辶 辶 辶 迷 迷 迷		迷惑 Störung, Belästi- メイワク gung

参	gehen, kommen, besuchen	サン まい・る	参る gehen, kommen, まい besuchen
	、 亻 亻 亻 亻 亻 参 参		お参り religiöse Stätte be- まい suchen, Pilgerfahrt
			参加 Teilnahme, Betei- サッカ ligung

慣	gewöhnen	カン な・れる	慣れる sich gewöhnen な
	、 忄 忄 忄 忄 忄 慣 慣 慣 慣 慣		習慣 Gewohnheit, シュウカン Brauch, Sitte
			慣習 Gewohnheit, カンシュウ Brauch, Sitte

LEKTION 7

祝	feiern, gratulieren	シユク いわ・う	祝う	feiern, gratulieren
	、 ㄥ ㄛ ㄛ ㄛ ㄛ 祝 祝 祝		いわ	ren
	祝日		Feiertag, Festtag	
			〜祝い	Gratulation, Feier
			祝日	Feiertag, Festtag
			シユクジツ	

祭	Fest, Feier	サイ まつ・る まつ・り	祭 (り)	Fest, Feier
	ノ ク タ タ タ 又 又 祭 祭 祭 祭		まつ	
	祭日		Festtag, Feiertag	
			〜祭	-Feier, -Fest, -Jubiläum
			祭日	Festtag, Feiertag
			サイジツ	

次	nächst	ジ シ つぎ	次	nächste,-r,-s
	、 ㄨ ㄨ ㄨ ㄨ 次		つき	
	次回		nächstes Mal	
			次期	nächste Phase
			ジキ	

星	Stern	セイ ほし	星	Stern
	丨 冂 冂 日 月 月 早 星 星		ほし	
	星座		Sternbild, Sternzeichen	
			流れ星	Sternschnuppe
			なが ほし	

絵	Bild	カイ エ	絵	Bild
	、 纟 纟 纟 纟 纟 纟 纟 纟 纟 纟 纟		エ	
	絵本		Bilderbuch	
			エホン	

LEKTION 7

季	Jahreszeit	キ	季節	Jahreszeit, Saison
	一 二 十 千 禾 季 季 季		キセツ	
			夏季	Sommerzeit
			カキ	
			雨季	Regenzeit
			ウキ	

差	Unterschied	サ	差	Unterschied
	、 ヨ ヨ ヨ ヨ 差		サ	
	差 差 差 差		コウサテン	交差点 Kreuzung
			差別	Diskriminierung, Unterscheidung
			サベツ	

値	Wert, Preis	チ	値段	Preis
	ノ イ 仁 仁 仁 仁 値		ネダン	
	値 値 値 値		カチ	価値 Wert
		ね		
		あたい		

争	um etwas kämpfen	ソウ	戦争	Krieg
	ノ ヌ ヌ ヌ 争		センソウ	
	争 争 争 争		争う	sich streiten, um etwas kämpfen
			あらそ	
			論争	wiss. Auseinandersetzung, Polemik
			ロンソウ	

論	Argument, These	ロン	論文	Aufsatz, Abhandlung
	一 ニ ニ ニ ニ 論		ロンブン	
	論 論 論 論		卒論	Diplomarbeit, Abschlußarbeit
			ソツロン	
			議論	Diskussion, Debatte
			ギロン	

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 7

定	定								
流	流								
迷	迷								
参	参								
慣	慣								
祝	祝								
祭	祭								
次	次								
星	星								
絵	絵								
季	季								
差	差								
値	値								
争	争								
論	論								

練習 第8課

Übung Lektion 8

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

限る	かぎる	弱V	begrenzen, ausschließen
訴える	うったえる	弱V	anzeigen, zum Ausdruck bringen
済ませる	すませる	弱V	erledigen, zu Ende bringen; hier: abtun
とれる	とれる	弱V	fangen lassen, erbeuten lassen (z.B. Fisch); abgehen (z.B. Knopf)
はねる	跳ねる	弱V	zappeln, springen
起こる	おこる	強V	entstehen (intr.), aufkommen, eintreten
折る	おる	強V	brechen, s. e. Bruch zuziehen
頼る	たよる	強V	s. auf...verlassen, vonabhängig sein
はがす	剥がす	強V	abziehen, abhäuten
話し合う	はなしあう	強V	besprechen, diskutieren
含む	ふくむ	強V	beinhalten, etw. einbeziehen
防ぐ	ふせぐ	強V	abwenden (Gefahr), vermeiden
守る	まもる	強V	einhalten (Regel), beschützen (z.B. e. Menschen)
汚染	おせん	不V・N	verseuchen, verschmutzen
解決	かいけつ	不V・N	lösen, Lösung (Problem-)
関連	かんれん	不V・N	Bezug
規制	きせい	不V・N	reglementieren, Reglement
議論	ぎろん	不V・N	debattieren, Debatte
重視	じゅうし	不V・N	für wichtig halten auch: 重要視
消費	しょうひ	不V・N	konsumieren, Konsum
処理	しより	不V・N	abwickeln, erledigen, entsorgen, Abwicklung, Entsorgung
生産	せいさん	不V・N	produzieren, Produktion
成長	せいちょう	不V・N	wachsen, Wachstum
注目	ちゅうもく	不V・N	achten, Beachtung schenken, Beachtung
取り引き	とりひき	不V・N	“dealen”, Deal, Geschäft
排水	はいすい	不V・N	entwässern, Abwasser
爆発	ばくはつ	不V・N	explodieren, Explosion ~的だ: explosionsartig
保護	ほご	不V・N	schützen, Schutz, Protektion
優先	ゆうせん	不V・N	vorziehen, bevorzugen, Vorrang geben, Vorrang

リサイクル	リサイクル	不V・N	wiederverwerten, recyceln; Wiederverwertung, Recycling
単に	たんに	ADV	einfach, nur, bloß
安易だ	あんいだ	NA	einfach, billig
温暖だ	おんだんだ	NA	mild, warm
高級だ	こうきゅうだ	NA	luxuriös, hochwertig, edel
真剣だ	しんけんだ	NA	ernst (voller Ernst)
関心	かんしん	N	Interesse
大量	たいりょう	N	Großmenge, in großer Menge
未来	みらい	N	Zukunft (meist fern), Futur
地球	ちきゅう	N	Erde (Planet)
大気	たいき	N	Atmosphäre
湾	わん	N	Bucht
石油	せきゆ	N	Erdöl
石炭	せきたん	N	Steinkohle
ガス	ガス	N	Gas
煙	けむり	N	Rauch
発展途上国	はってん とじょうこく	N	Entwicklungsland
県	けん	N	Präfektur, japan. Einteilung der Provinzen ; siehe Anhang 1. Semester
公共	こうきょう	N	～の: öffentlich
公害	こうがい	N	Umweltschäden
被害	ひがい	N	Schaden ～者: Geschädigte, Opfer
患者	かんじゃ	N	Patient
基準	きじゆん	N	Grundlage, Norm
範囲	はんい	N	環境～: vom Umweltministerium bestimmte Norm Rahmen, Gebiet
責任	せきにん	N	Verantwortung
裁判	さいばん	N	Gerichtsverhandlung, Prozeß
産業	さんぎょう	N	Industrie (Wirtschaftsform)
鉄道	てつどう	N	Eisenbahn, -linie
事情	じじょう	N	Situation, Grund, Ausgangslage

限界	げんかい	N	Endpunkt, äußerste Grenze
テーマ	テーマ	N	Thema
ビン	瓶	N	Flasche
缶	かん	N	Büchse
袋	ふくろ	N	Tüte
ゴミ	塵	N	Abfall, Müll
ゴミ箱	ごみばこ	N	Abfalleimer, Mülleimer
再生紙	さいせいし	N	Papier aus wiederverwertetem Material, Recyclepapier
骨	ほね	N	Knochen (auch: Gräte, Gerüst)
各～	かく	Präfix	jeweils, einzeln, pro 各国: einzelne Länder, Nationen
未～	み	Präfix	noch nicht, un- ～解決: ungelöst
無～	む	Präfix	des-, un- ～関心: Desinteresse
～観	かん	Suffix	-vorstellung, 価値～: Wertvorstellung
～病	びょう	Suffix	-krankheit, -leiden 公害～: durch Umweltschäden verursachte Krankheit

第8課

練習1 「ほど」を使って、次の質問に答えてください。

例 ここから駅までは歩いた場合、どのぐらいで行けますか。
→30分ほどで行けますよ。

1. ここから駅までは市電でどのぐらいかかりますか。
2. だいたいどのぐらい休まずに走れますか。
3. 今までにどのぐらい漢字を覚えましたか。
4. 一週間でどのぐらいやせられますか。
5. ディスコへ行ったら、どのくらいいますか。
6. デュースブルクとデュッセルドルフほどのくらい離れていますか。
7. 学生の場合、ドイツでは一ヶ月何マルクぐらいで生活できますか。
8. ドイツの去年の経済成長率は何パーセントぐらいでしたか。

練習2 「ほど」を使って、例のように文を続けてください。

例 日本での旅行はお金がとてもかかりました。…
→あっという間に持っていったお金がなくなったほどです。

1. 昨日は冬にしてはとても暖かかったです。…
2. 今とてもお金がなくて困っています。…
3. 引っ越しで忙しくて死にそうです。…
4. 自転車で転んでしまって、とても痛かったです。…
5. 来週の大事な試験に受かる(bestehen)かどうか、とても不安です。…

6. 火事を消すのが遅れると、どんどん被害が大きくなります。
7. 女性は若いと良いという意見が多いですが、失礼ですよ。
8. 消費が増えると、生産も増えて、経済が成長します。
9. たくさん話し合うと、解決が難しくなる問題もあります。

練習 5 「わけ」を使って質問を作って、答えてください。

例 なぜ先週の試験を受けなかったんですか。
→先週の試験を受けなかったわけはなんですか／わけを教えてください。
→病気でベッドから離れられなかったんです。

1. なぜ今日遅刻してきたんですか。
2. なぜ早く帰りたいんですか。
3. なぜたばこを吸いはじめたんですか。
4. なぜ大学で勉強しようと思ったんですか。
5. なぜ日本語を勉強することにしたんですか。
6. なぜ日本語を勉強しているのに、話そうとしないんですか。

練習6 下の の中の文と、「わけ」を使って、文を作ってください。

例 明日試験があるんです。それで ()。
→明日試験があるんです。それで (一生懸命勉強しているわけです)。

1. クリスマス休みに旅行したんです。それで ()。
2. 森さんはタベ早く寝てしまったそうです。だから ()。
3. 試験に合格しないと、奨学金がもらえないんです。それで ()。
4. 私達が気をつけないと、地球が死んでしまいます。だから ()。

一生懸命勉強している	今勉強を何よりも優先している
リサイクルには必ず協力している	昨日の地震に気がつかなかった
お金がない	

練習7 「わけが (は) ない」を使って、次の文を言い直してください。

例 発展途上国にも、大変なお金持ちはいます。
→発展途上国にも、大変なお金持ちがいないわけがありません。

1. 運動は体に良いです。
2. たばこは体に悪いです。
3. 事故の危険性は防げません。
4. これから AIDS の患者は爆発的に増加します。
5. 彼/彼女はこんなに高い物をプレゼントしてくれません。

練習 8 「わけではない」を使って _____ を書き直してください。

例 サッカーは嫌いじゃありませんが、興味がないんです。
→サッカーは嫌いなわけではありませんが、興味がないんです。

1. 私達はけんかが好きじゃありませんが、よくします。
2. 私は少しはお酒を飲みますが、毎日飲む習慣はありません。
3. 日本へ留学してみたいのですが、お金がかかるので、今は無理なんです。
4. スキーに行ったとき、天気は良くなかったですが、雪はすばらしかったです。
5. スキーで転んだとき、足の骨を折りませんでした。とても痛かったです。

練習 9 「わけにはいかない」を使って、文を続けてください。

例 あの写真は社長が貼られたので、嫌いでも…
→あの写真は社長が貼られたので、嫌いでもはがすわけにはいきません。

1. 美術館ではたばこを吸いたくても、…
2. ゴミ箱がみつからなくても、ゴミを…
3. 電話したいのですが、もう夜遅いので、…
4. どんなに忙しくても、両親の誕生日を…
5. のどがかわいていますが、「乾杯^{かんぱい}」と言うまでは、…

練習 10 「V-Neg. わけにはいかない」を使って、合う文を作ってください。

例 友達がおみやげを買って来てくれました。
→私もおみやげを買って来ないわけにはいきません。

1. 友達が手紙をくれました。…
2. 来週の授業で発表する(ein Referat halten)ことになりました。…
3. 家の場所を知らない人が、ケルンから来ます。…
4. 両親に彼/彼女を紹介するように言われました。…
5. 今日は家にいたいのですが、パーティーに招待されています。…

練習 11 次の文の「わけ」ほどの意味ですか。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| a. Grund, verständlicherweise | b. absolut undenkbar, absolut klar |
| c. keineswegs so, schon | d. es geht nicht |
| e. müssen | f. problemlos |
| | g. konfus |

1. あの教授の話はいつもわけがわかりません。
2. ハンス君がパーティーに来ないわけではないですよ。
3. 少し熱があっても、試験を受けないわけにはいきません。
4. 祖父は数学の先生でしたから、数字をよく覚えていられるわけです。
5. トマトはあまり好きじゃありませんが、食べないわけではありません。
6. 招かれた家で高級なお皿を落としてしまいました。「ごめんなさい」で済ませるわけにはいきませんでした。
7. おはしを使うのは難しいと皆が言いますが、私にはわけないことです。

練習 12 次の文の () の単語と「わけ」を、正しい形にしてください。

例 この人形は 300 年前のものですから、(高い)
→この人形は 300 年前のものですから、高いわけです。

1. 今日(今日は)は祝日です。店が (閉まっている)
2. あのまじめな学生がカンニングを (する)
3. めったに新聞を読みませんが、ぜんぜん (読む)
4. 彼はイタリア料理が大好きです。スパゲッティを (食べる)
5. どんなに彼女を愛していても、友達の彼女を (ぬすむ)

練習 13 「わけ」を使って次の文の _____ を書き直してください。

例 Weihnachtsmann
サンタクロースの袋には、いい物が必ず入っています。
→サンタクロースの袋には、いい物が入っていないわけがありません。

1. ブラウンさんが返事をくれなかった理由をご存じですか。
2. 台所の窓が少し開いていました。寒いのは当たり前です。
3. あの人が朝5時に起きられるとは全く考えられません。
4. 一生懸命勉強している私達は、必ず試験に受かります(bestehen)。
5. 私はあまり料理をしません。料理が嫌いじゃありません。
6. こんな簡単な練習は、私達には問題なくできますよ。
7. 日本へ行ったとき聞いた日本語は、ぜんぜん理解できませんでした。
8. 彼は泳げないので、皆と一っしょにキール湾にspringen飛びこむことはできませんでした。
9. 現代では皆が e-mail を使っている。好きじゃなくても、使わなくてはなりません。

第8課 日本の環境問題

環境問題は日本でも重要な議論のテーマである。(しかし、世界で最も環境保護の進んでいるドイツとくらべると、十分議論されているわけではない。)日本の環境問題について考えるため、公害の歴史から見てみよう。

1960年代、日本の産業は非常に発達した。高度成長期と呼ばれるこの時期、工場の数は爆発的に増えた。ということは、工場から出る排水や煙、産業ゴミも増えたわけである。しかし、当時は経済の発展が最も優先され、排水等は十分に処理されないで、捨てられていた。そのような安易な生産を続ければ、公害問題が起きないわけがなかった。

熊本県水俣湾では、猫がおどるようにはねながら死んでいくという病気が流行した¹。

この病気は、猫だけの病気だったわけではない。猫は水俣湾でとれる魚を食べていて、病気になったのだった。同じように魚を食べていた人々が、この病気にならないわけがなかった。そのうち、人間も、手や足が動かさなくなったり、話せなくなったりした。

この「水俣病²」の原因は、工場の排水に含まれる水銀³だったのだ。また、三重県四日市市では、石油コンビナート⁴による大気汚染が進み、ぜんそく⁵で苦しむ人が多く現れた。

さて、水俣病と四日市ぜんそくをあげれば、イタイイタイ病をあげないわけにはいかない。イタイイタイ病は、工場の排水のカドミウム⁶で富山県神通川の水が汚染されて起こった。この病気は、カドミウムで患者の骨が弱くなるため、体中の骨を折って「痛い、痛い」と訴えつづけることから、この名前がつけられたのだ。

これらの公害の被害者は、裁判で国と企業の責任を認めさせた。しかし、国の保障の金額と範囲が非常に限られていること、公害病と認められる人が少なすぎることに、裁判に時間がかかりすぎて、多くの人が亡くなってから裁判が終わったこと等を考えれば、

単に「事件は終わった」と言うわけにはいかない。

最近、このような深刻な公害は起きなくなった。企業に対する規制が強くなったためである。しかし、公害がなくなったわけではない。いくら細かく規制しても、規制には限界があるし、規制を守らない企業がなくなるわけがない。それに、環境基準も絶対安全なものだと言えるわけではない。また、近年環境基準の低い発展途上国に工場を作り、公害を「輸出」している企業も多いと聞く。それで問題が解決したはずがない。

「自分の国が安全ならば、それで^{オーケー}OK」という考えは、許されないのだ。

環境問題で、最近特に注目されているのは、二酸化炭素^{CO2}等による地球の温暖化の問題である。このような地球規模の環境問題は、世界各国の協力がなければ解決できないわけだが、それは簡単なことではない。温暖化を防ぐためには、二酸化炭素等のガスを出す量を削減しないわけにはいかない。が、「何%削減するか」に対する意見は国によって異なる。たとえば、先進国と、これから経済成長期を迎えようとしている発展途上国では事情が違う。産業が成長すればするほど、出る二酸化炭素の量は増えていく。そして、そのような国ほど、二酸化炭素を多く出す石炭に頼っているわけだ。先進国の間でも削減目標は大分^{だいぶ}違うし、それが政治的な取り引きの材料になる危険性も考えられる。しかし、事情はいろいろあっても、地球の未来のために、真剣に話し合わないわけにはいかないだろう。「未解決」で済ませられる問題ではないはずだ。

森さんの奥さん:「あら、あなた^{さん}。缶はそのゴミ箱に捨てないでください。そのゴミ箱はビン用のです。缶はこっちのゴミ箱ですよ。」

森さん:「どうでもいい^わですよ。」

奥:「だめですよ。缶はリサイクルされるんですから。環境のためです。」^{*}

マヤ-さん:「日本の方は、環境問題に無関心な方が多いらしいですね。」

奥:「そうなんです。最近ほどの町でもゴミを分けることになったんですが、みんなが
そうするわけじゃないんです。『どうでもいい』わけはないんですが。」

森:「…。」

マ:「日本では環境保護は美しさほど重視されているわけではないようです。たとえば、
日本人は、お菓子は何回も包まれているほど、高級だと思えるようです。」

森:「お菓子ですか。お菓子が環境保護と何か関連があるんですか。」

マ:「あるんですよ。この間、いただいたお菓子を食べようとして包みをはがしたところ、
箱が出てきました。その箱を開けて、ビニールを開けたら、お菓子が種類ずつ入
った小さな袋があって、その中にひとつずつ包まれたお菓子がプラスチックのお皿
の上に並んでいたんです。お菓子を食べた後は、山ほどのゴミが残ったんです。」

森:「なるほど。」

マ:「きれいに包むために、木が何万本も切られているわけです。それに、ノートやふう
とうも、再生紙で悪いわけはありませんよね。」

森:「そうですね。考えたことがありませんでしたが、その通りです。」

奥:「でも、目上の方に再生紙で手紙を書くのは、失礼な気がします。それに、プレゼン
トも高級に見えるほどいいでしょう。」

森:「環境保護は『どうでもいい』わけはない、と言ったばかりですよ。」^x

奥:「でも…。」

マ:「日本でも価値観が変われば、だいじょうぶですよ。」

奥:「そうですね。今の大量消費文化は続けるわけにはいかないですし。」

マ:「ところで、さっき、日本人は環境問題に無関心だと言いましたが、みんなが無関心
なわけではないのはわかっていますよ。私の友達は日本人なんですが、環境保護の
ため、自転車にしか乗らないんです。遠くに行くときも、バスや鉄道などの公共の
交通機関を利用しています。ドライブには誘われても絶対に行かないそうです。旅
行も自転車です。彼ほどじゃなくても、私達も、便利さやきれいさより

環境保護の方が大切だ、という価値観に変えなくてははいけませんね。」

-
- i 流行する hier: grassieren
- ii 水俣病 diese Krankheit trat später auch in der Niigata Präf. und sogar in Kanada auf.
- iii ^{すいぎん}水銀 Quecksilber
- iv 石油コンビナート Ö raffinerie
- v ぜんそく Asthma
- vi カドミウム Cadmium
- vii ^{にさんかたんそ}二酸化炭素 ^{たんさん}Kohlendioxyd, CO₂ auch: 炭酸 (ガス)
- viii あら、あなた etwa: “Nicht doch, Schatz!” あら ist eine Interjektion, die das Erstaunen zum Ausdruck bringt und nur von weiblichen Personen benutzt wird. あなた ist neben “Du/Sie” auch eine Anrede der Ehefrau gegenüber ihrem Ehemann.
- ix どうでもいい völlig egal
- x 森さんと奥さんの会話 In der Regel unterhalten sich Eheleute in der Realität in der höflichkeitsleeren Sprachebene. So lautet die Konversation eigentlich:
 奥さん:「あら、あなた。缶はそのゴミ箱に捨てないでちょうだい。そのゴミ箱はビン用のよ。缶はこっちのゴミ箱よ。」
 森さん:「どうでもいいよ。」
 奥さん:「だめよ。缶はリサイクルされるんだから。環境のためなの。」
- xi 森さんの奥さんへのお話 siehe Anm. X
 森さん:「環境保護は『どうでもいい』わけない、と言ったばかりじゃないか。」

LEKTION 8

細	schmal, klein, fein	サイ ほそ・い こま・かい	細い dünn, schmal ほそ
	く 纟 纟 纟 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸		細かい ausführlich, genau こま

汚	schmutzig	オ きたな・い よご・れる	汚い schmutzig きたな
	、 丶 丶 丶 汙 汚		汚れる schmutzig werden よご
			汚染 Verschmutzung オセン

温	warm	オン あたた・かい あたた・める あたた・まる	温かい warm あたた
	、 丶 丶 丶 汙 汙 汙 汙 温 温 温 温		温める erwärmen, あたた aufwärmen
			温暖化 Erwärmung der オンダンカ Erde

暖	warm	ダン あたた・かい あたた・める あたた・まる	暖かい warm (Klima) あたた
	丨 冂 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 暖		温暖だ warm (Klima) オندان
			暖房 Heizung ダンボウ

便	Bequemlichkeit	ベン ピン たよ・り	便利だ praktisch, bequem ベンリ
	ノ 亻 亻 亻 亻 亻 亻 便 便		不便だ unpraktisch, フベン unbequem
			航空便 Luftpost コウクウビン

LEKTION 8

連	Begleitung, Gruppe	レン つ・れる	関連	Zusammenhang
	一 一 一 一 一 一 車 車 連 連		連絡	Verbindung, Anschluß
			連れる	mitnehmen (Person, Tier)

解	lösen, auflösen	カイ ゲ と・く と・ける	解決	Lösung (Problem)
	ノ 角 角 角 角 角 角 解 解 解 解 解 解		解く	lösen, auflösen
			解答	Lösung (Aufgabe)

公	öffentlich, offiziell	コウ おおやけ	公害	Umweltverschmutzung
	ノ ハ 公 公		公共	Allgemeinheit, Öffentlichkeit
			公立	öffentlich (z.B. Schule)

園	Garten	エン その	公園	Park (öffentlich)
	一 一 一 一 一 一 周 周 周 園 園 園 園		動物園	Tierpark, Zoo
			幼稚園	Kindergarten

政	Verwaltung	セイ	政治	Politik
	一 一 一 一 一 一 政 政 政		政党	politische Partei

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 8

細	細								
汚	汚								
温	温								
暖	暖								
便	便								
連	連								
解	解								
公	公								
園	園								
政	政								
治	治								
鉄	鉄								
未	未								
無	無								
観	観								

練習 第9課

Übung Lektion 9

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

通じる	つうじる	弱V	verstanden werden, Verbindung aufnehmen, durchkommen
恵まれる	めぐまれる	弱V	begnadet, gesegnet, begünstigt
燃える	もえる	弱V	brennen
落ち込む	おちこむ	強V	niedergeschlagen sein, e. Tiefpunkt haben
断る	ことわる	強V	ablehnen
ためいきをつく	溜息を吐く	強V	seufzen, e. Seufzer ausstoßen
悩む	なやむ	強V	s. plagen mit, unter (e. Problem) leiden
望む	のぞむ	強V	s. wünschen, erwarten
計る	はかる (測・量る)	強V	messen, abmessen
はかる	図る	強V	planen, durchführen
はみだす	はみ出す	強V	über e. Rand heraustreten
迷惑をかける	めいわくを かける	強V	jm. z. Last fallen
採用	さいよう	不V・N	jm. anstellen, einstellen, Zusage geben, einsetzen
参加	さんか	不V・N	teilnehmen, Teilnahme
実現	じつげん	不V・N	realisieren, Realisierung
出世	しゅっせ	不V・N	berufl. vorankommen, Karriere machen, Karriere
通学	つうがく	不V・N	Hin- u. Rückfahrt z. Schule / Universität
通勤	つうきん	不V・N	Hin- u. Rückfahrt z. Arbeitsplatz, "pendeln"
努力	どりよく	不V・N	s. anstrengen, Anstrengung
内定	ないてい	不V・N	firmeninterne Zusage (f. d. Anstellung)
入社	にゅうしゃ	不V・N	i. e. Firma eintreten, Eintritt in eine Firma
判断	はんだん	不V・N	entscheiden, Entscheidung
評価	ひょうか	不V・N	bewerten, Bewertung
不足	ふそく	不V・N	mangeln, Mangel 人手不足: Personal ^{ふそく} mangel
訪問	ほうもん	不V・N	besuchen, aufsuchen, Besuch
面接	めんせつ	不V・N	s. pers. i.d. Firma vorstellen ～試験: Vorstellungsgespräch
迷惑	めいわく	不V・N	belästigen, "nerven", Belästigung

いろいろと	色々	ADV	in verschiedener Hinsicht, divers
しばしば	しばしば	ADV	immer wieder, häufig
絶対 (に)	ぜったいに	ADV	unbedingt
多少	たしょう	ADV	mehr oder weniger, ein wenig
突然	とつぜん	ADV	plötzlich
ありがたい	有り難い	VA	dankenswert, dankbar
つらい	辛い	VA	schmerzlich, bitter, anstrengend
もったいない	もったいない	VA	zu schade sein
地味だ	じみだ	NA	unscheinbar, unauffällig
必死だ	ひっしだ	NA	todernst, so als ob es um Leben oder Tod ginge
不幸だ	ふこうだ	NA	unglücklich
いわば	言わば	Attr.	sozusagen, wenn man so will
ぼく	僕	N	ich (ugs. 1. Pers. singular männlich)
おれ	俺	N	ich (saloppe Ugs. 1. Pers. singular männlich)
君	きみ	N	du (ugs. 2. Pers.) (Männersprache)
やつ	奴	N	Kerl, "Existenz"
自己	じこ	N	das Selbst ～実現: Selbstverwirklichung
サラリーマン	サラリーマン	N	Angestellter
新入社員	しんにゆう	N	neues Firmenmitglied
	しゃいん		
定年	ていねん	N	Altersgrenze
給料	きゅうりょう	N	Gehalt, Lohn
月給	げつきゅう	N	Monatsgehalt, Monatslohn
収入	しゅうにゆう	N	Einkommen, Einkünfte
家賃	やちん	N	Miete, Wohnungsmiete
景気	けいき	N	Konjunktur
人手	ひとで	N	Personal, "helfende Hand"
能力	のうりよく	N	Fähigkeit, Können
可能	かのう	N	möglich ~性: Möglichkeit
場	ば	N	Ort, Platz

性格	せいかく	N	Charakter
現実	げんじつ	N	Realität
印象	いんしょう	N	Eindruck
冗談	じょうだん	N	Witz
電灯	でんとう	N	elektr. Beleuchtung, Licht
炎	ほのお	N	Flamme
ひげ	髭	N	Bart
ゼミ	ゼミ	N	Abk. v. Seminar
～帰り	がえり	Suffix	auf d. Nachhauseweg, auf d. Rückweg 会社～: auf d. Rückweg von d. Firma 学校～: auf d. Rückweg von d. Schule
～代	だい	Suffix	Suffix f. Kosten, Gebühr, Lohn アルバイト～: Lohn für Job 電話～: Telefonkosten
～同士	どうし	Suffix	untereinander, miteinander
...にしたがって	に従って	Zus	e. Sache folgend, entsprechend
カラオケ	カラオケ	N	“Karaoke” (Instrumentationsmaschine)
林	はやし	N	Hayashi (jp. Familienname)
吉田	よしだ	N	Yoshida (jp. Familienname)

第9課

練習1 「もの」を使って、文を続けなさい。

例 私が子供のころは、よく…
→私が子供のころは、よく森(Wald)で遊んだものです。

1. 子供のころは、よく…

2. 高校生のときは、よく…

3. 小学生のころは、学校でよく…

4. 父は「石炭がよく売れたころは、この町も…

」と言いました。

5. 祖母は、「昔は…

」とよく言います。

練習2 「もの」を使って、文を続けなさい。

例 年を取れば…
→年を取れば、よく見えなくなるものです。

1. 年を取れば…

2. 必死に勉強すれば…

3. 大都市では家賃が…

4. 新しい彼／彼女ができると、…

5. 試験のとき、時間が少なくなると、…

練習3 () の単語と「ものだ」か「ものではない」を使って文を作りなさい。

例 一度始めたことは、簡単に (やめる)
→一度始めたことは、簡単にやめるものではありません。

1. 誰かの家を訪問するときは、突然 (うかがう)
2. 学生は試験の前だけではなく、いつも (勉強する)
3. ホームステイするときは、ホストファミリーに何か (プレゼントする)
4. 皆で食事をしているときに、汚い話を (する)
5. 最初の印象だけで人の性格を (判断する)

練習4 「ものだ」を使って、驚きを表す文を作りなさい。

例 赤んぼうがあつという間に大きくなりました。
→子供の成長は速いものですねえ。

1. 車では5、6時間かかるパリまで、飛行機だと一時間以内で行けます。
2. 先生がひげを長くしたので、ぜんぜん違う顔に見えます。
3. 両親はもう何年間も私にお金を送り続けてくれています。
4. 初めてカラオケに行きました。皆で何時間も歌い続けました。
5. 昔の友達が、皆が知っているモデルになりました。モデル=Modell

練習5 例にしたがって、「ものだ」を使って文を書き直しなさい。

例 最近不幸なニュースばかりです。楽しいニュースが聞きたいです。
→最近不幸なニュースばかりです。楽しいニュースが聞きたいものです。

1. まだ日本へ行ったことがないので、ぜひ行きたいです。
2. 自分の間違いで、人に迷惑をかけたくないです。
3. 彼/彼女と別れたことで、いつまでも落ち込みたくないです。
4. どんなときでも、最後まで望みを捨てないでほしいです。
5. 大事な試験では、できなくても、最後まであきらめてほしくないです。

練習6 「ものの」と下の文を使って、例のように文を作りなさい。

例 面接試験はうまくいったと思いました。
→面接試験はうまくいったと思ったものの、採用されませんでした。

1. 兄は有名な会社に入社しました。
2. がんばって日本語で冗談を言いました。
3. 多少おみやげにお金を使いすぎました。
4. アンナさんは能力が他の人よりあります。
5. 日本に行ったとき、多少困ったことがありました。

- a. 採用されませんでした。 b. 誰にも通じませんでした。
- c. 旅行はなかなか楽しかったです。 d. あまり努力しないので、成績が良くないです。
- e. 仕事がつまらないので、もうやめるそうです。
- f. 私の日本語がだいたい通じたのでうれしかったです。

練習7 「というもの」を使って、次の言葉を説明しなさい。

例 大学

→大学というものは、住む世界を広くします。

1. 女性
2. 男性
3. ドイツの冬
4. 収入の多さ
5. インターネット

練習8 「てからというもの」を使って、文を作りなさい。

例 日本語の勉強を始めました。

→日本語の勉強を始めてからというものは、時間がなくなりました。

1. 大学生になりました。
2. 新しい年になりました。
3. 弟／妹が生まれました。
4. ディスコに通い始めました。
5. (beliebiger Arbeitsplatz) でアルバイトを始めました。
6. 彼／彼女とつきあいはじめました。
7. デュースブルクに引っ越してきました。

練習9 「ものなら」を使って、文を作りなさい。

例 月給を2万マルクもらえます。

→月給を2万マルクもらえるものなら、日本で働いてもいいです。

1. スペースシャトルに乗れます。
2. 亡くなった人に会うことができます。
3. (beliebige Schauspieler oder Sänger) と会えます。
4. お金がたくさんもらえて、一生働かなくてもいいです。
5. 努力しなくても外国語が上手になる方法(Methode)があります。

練習10 次の場合、どんな悪いことが起きますか。「ものなら」を使って文を作りなさい。

例 アルバイトをやめます。

→アルバイトをやめようものなら、私は勉強を続けられません。

1. 彼／彼女と別れます。
2. 先生が忙しいときに、じゃまをします。
3. 子供のとき、汚いくつで家に入ります。
4. 毎日夜遅くまで飲み屋でお酒を飲みます。
5. 昔、結婚しないで男性と女性がいっしょに住みます。

練習11 例のように、「もの」を使って文を書きかえなさい。

例 明日はライン地方では雨が降ります。(見られる)

→明日はライン地方では雨が降るものと見られます。

1. 来年は景気が少し良くなります。(見られる)
2. 地震による被害は、東京の場合、非常に大きくなります。(考えられる)

3. 大勢の学生が病気になりました。学食の食事が悪かったです (思われる)
4. 交通事故はこれからもどんどん増えていきます。(予想される)
5. 飛行機が落ちましたが、乗っていた客に、ドイツ人はいませんでした。(見られる)

練習 12 「もの」を正しい形にして入れなさい。そして、どの意味か答えなさい。

例 一生学生でいられる ()、たいです。

→一生学生でいられる (ものなら)、たいです。

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| a. Rückblick | b. logische Folge | c. selbstverständliche Pflicht |
| d. selbstverständliche Unterlassung | e. Ausdruck des Erstaunens | f. starker Wunsch |
| g. Einschränkung | h. Urteil oder Annahme | i. Betonung des Zeitpunkts |
| j. kaum realisierbare Bedingung | k. Bedingung mit negativer Folge | l. Erläuterung |

1. 学生はお金はなくても、時間はある ()。
2. お酒を飲んだら車は運転しない ()。
3. 学生 ()、試験の前以外は、いいものです。
4. 近所の人に迷惑をかけるので、夜大きな音で音楽を聞く ()。
5. いなかでは日曜日に掃除をしよう ()、近所の人に文句を言われます。
6. 旅行先の国で戦争が始まりました。よく生きて帰ってこられた ()。
7. できる ()、自転車で世界中を旅行したい ()。
8. 車がよく盗まれますが、東ヨーロッパで売られている () と思われます。
9. 高校生時代は朝までCDを聞いていた () が、今はあまり聞きません。
10. 新しいアパートに引っ越してから ()、静かによく眠れます。
11. もう一年半も日本語を勉強している ()、なかなか上手になりません。

練習 13 次の動詞を「なさい」の形に変えなさい。

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1.書く | 2.食べる | 3.遊ぶ |
| 4.する | 5.立つ | 6.手伝う |
| 7.泳ぐ | 8.行く | 9.動かす |
| 10.面倒をみる | 11.気をつける | 12.約束を破る |
| 13.早く起きる | 14.ゆっくり読む | 15.速く走る |
| 16.ここで待っている | 17.遊びに来る | 18.毎日買い物に行く |

練習 14 練習 13 の動詞を命令形 (Imperativ) にしなさい。

練習 15 練習 13 の動詞を禁止の形に変えなさい。

練習 16 例にしたがって、文を書き直しなさい。

例 父は「早く帰ってきてください。」と言いました。 →父は「早く帰ってこい」と言いました。
--

1. 「危険!! この部屋にははいらなさい。」とドアに書いてあります。
2. 昨日友達に「貸したお金を早く返してください。」と言われてしまいました。
3. 部長に「この資料を一時間以内にコピーしてください。」と言われました。
4. 「ためいきばかりつかないでください。努力してみてください。」と父が言いました。
5. 本に「あまり子供をしからないでください。もっとほめてあげてください。」とあります。

第9課 日本の会社員

欧米の会社と日本の会社は違うとよく言われている。経営の方法や給料の払い方等、異なる点は多くあるが、ここでは、新入社員の生活について、ある大学生の就職を例として見てみよう。

吉田君は大学4年生である。彼は3年生の終わりから厚い就職情報雑誌を読んで、資料を集めはじめた。「いい会社に入りたいなら、なるべく早く就職活動をするものだ。」と先輩に言われたからだ。それに、新聞には「景気が悪いため、来年の採用は非常に少なくなるものと予想される。」という記事が載っていたので、不安もあったようだ。彼は4年生になってからというもの、就職活動のため、あまり大学へは行っていない。暑い日も、雨の日も、地味なスーツを着て会社訪問をくりかえした。しかし、毎日のように会社を回り、会社説明会に参加したり、面接試験を受けたりしたものの、内定はなかなかとれない。吉田君の十歳年上のお兄さんは、「ぼくのときには、人手不足で、会社の方が学生に入社してもらおうと必死になっていたものだ。」と言っているが、うらやましいものだ。

吉田君は、9月になって、やっとある会社から内定がもらえた。彼はもうその会社に決めてしまおうと思った。しかし、「もっと会社を探した方がいい。就職というものは、簡単に決めるものじゃない。就職したら、その会社に定年まで何十年も勤めるんだから。」というお父さんの意見を聞いて、もう少しがんばって探してみることにした。そして、別の会社からも内定をもらうことができ、その会社を選んだのだった。

4月になって、吉田君は新入社員として働きはじめた。「上司より早く会社に来い」「絶対に遅刻するな」「上司の言うことを必ず聞け」「一度した間違いは二度するな」「あれをやれ」「これはやるな」いろいろと言われて、吉田君は疲れてしまった。長い通勤

時間もつらい。会社が始まる9時に間に合うためには、朝7時には家を出なければならぬ。会社の近くにアパートを借りようかと思ったが、家賃が高すぎるので、家から通うことにしたのだ。学生だったころは、遅くまで寝ていられたし、大学に行きたくなければ休むこともできたものだった。しかし、今はどんなに眠くても、朝6時に起きなければならない。それに月給も、学生時代のアルバイト代より少ないのだⁱⁱⁱ。吉田君が落ち込んでいると、林課長が声をかけてくれた。

林課長：「吉田君、今日、帰りに一杯どうかい^{iv}。」

吉田君：「あ、はい。ありがとうございます。」

林課長は飲み屋に連れていってくれて、吉田君の悩みを聞いてくれた。

林：「わかるよ、その気持ち。おれも新入社員だったころは、君と同じように悩んだものだ。学生時代は休みも多いし、自由だし、恵まれているからねえ。最初のうちは、サラリーマンの生活はつらかったよ。」

吉：「仕事はなかなか覚えられないし、ご迷惑をおかけしてすみません。」

林：「いやいや、いいんだよ。最初は皆失敗するもんだ。それに、すぐに通勤や仕事に慣れていくものだから、あまり心配はするな。そう落ち込むもんじゃないよ。だんだん楽になってくるはずだから、もう少しがんばりなさい。」

吉：「はい。そう言っていただいて、元気が出てきました。明日からも、がんばりますので、よろしくお願いします。」

このように部下の悩みを聞いたり、いろいろな問題の解決を手伝ったりする上司が日本では高く評価される。面倒を良く見ることは、しばしば仕事の能力や成績より重視されるほどである。上司が部下の悩みを聞く場として、また問題がないときでも、社員同士のコミュニケーションの場として、仕事後の一杯は重要である。仕事の上での重要な決定も飲み屋で行われることがあるので、毎回誘いを断ろうものなら、出世の望みは

なくなってしまう。

不思議なもので、吉田君も会社員としての生活にすぐに慣れた。今では仕事も覚え、会社帰りの飲み屋では、冗談を言ったり、カラオケで上手に歌ったりして、皆の中心になっている。

林課長：「驚いたものだなあ。吉田君は、入社してきたころは、暗くて元気のない^{vii}やつだったのに。こんなに面白いやつだとは思わなかったな。最初の印象で人を判断するものじゃないねえ。」

吉田君：「林課長、それはおっしゃらないでください。はずかしいですから。それより、課長もお歌いになってくださいよ。どうぞ、どうぞ。」

林課長：「はあ。(ためいきをつく) 最近は君、うるさすぎるほどだ。もう少し最初のころのように落ち込んで、静かにしてほしいもんだ。」(笑)

欧米では、会社というものは生活のためのお金を稼ぐ場で、仕事が終われば個人の時間だという考えが一般的である。それに対し、多くの社員が定年まで勤めつづける日本では、会社はいわば「生活共同体^{viii}」のような性格を持っている。共同体の中でうまくやって、競争に勝って自己実現をはかるために、日本の会社員は全てをかけていると言ってもよい。もし、一日のほとんどの時間を過ごすこの共同体からはみだそうものなら、その社員は定年までつらい時間を過ごさなければならない。だから、会社での生活を個人の生活より優先する人がほとんどなのである。そして、自分の休みを使って、自分で費用を払っても、社員旅行へ出かける。しかし、それが会社員を不幸にしていると考えるのは正しくないだろう。多くの会社員は、この社員旅行や仕事の後の一杯を実は楽しみにしているのである。例の吉田君も、共同体に受け入れられてからというものは、幸せに暮らしているのだから。

-
- i 定年まで…勤める Auch wenn in den letzten Jahren viele japanische Firmen das Leistungsprinzip nach westlichem Vorbild eingeführt haben, gelten die lebenslange Anstellung (終身雇用) und das Senioritätsprinzip (年功序列) immer noch als typische Grundlagen des Firmenwesens in Japan. Eine Mißachtung dieser traditionellen Prinzipien würde dem Arbeitnehmer Nachteile bringen, zumal er beispielsweise beim Stellenwechsel oft den Aufstieg nach dem Senioritätsprinzip verpassen würde. Die japanische Gesellschaft überhaupt ist nach dem Prinzip der lebenslangen Anstellung aufgebaut, so daß der Stellenwechsler nicht selten als Abtrünniger abgestempelt wird.
- ii 言うことを聞く den Anweisungen folgen, gehorchen
- iii アルバイト代より少ない Wegen des oben genannten Senioritätsprinzips ist das Nettoeinkommen eines jungen Angestellten erstaunlich gering. Während der Studienzeit hat man durch elterliche Zuschüsse und Verdienste durch Jobs meistens sehr viel mehr Geld zur Verfügung.
- iv 一杯どうかい etwa: Wie wärs denn mit einem Bierchen?
- v いやいや、いいんだよ Nicht doch! Das geht schon in Ordnung. / Mach dir keine Sorgen.
- vi 元気が出る hier: Mut bekommen
- vii 暗くて元気がない introvertiert und mutlos
- viii 共同体 Gemeinschaft

LEKTION 9

厚	dick	コウ あつ・い	厚い dick, umfangreich あつ
	厚 厂 厂 厶 厶 厶 厚 厚 厚		

眠	Schlaf	ミン ねむ・い ねむ・る	眠い müde, schläfrig ねむ
	丨 冂 月 月 目 目 目 目 目 目		眠る schlafen ねむ
			睡眠 Schlaf すいみん

確	sicher	カク たし・か たし・かめる	確かに sicher, gewiß たし
	一 厂 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石		確か vermutlich, たし gewissermaßen
	確 確 確		確認 Vergewisserung, カクニ Bestätigung

記	aufschreiben, notieren	キ しる・す	記す aufschreiben, しる notieren
	一 二 三 三 三 三 言 言 言 言 言 言		記事 Zeitungs-/ Zeit- キジ schriftenartikel
	言 言 言 記		日記 Tagebuch ニッキ

選	wählen	セン えら・ぶ	選ぶ wählen, auswählen, えら aussuchen
	一 一 二 二 二 二 巛 巛 巛 巛 巛 巛		選挙 Wahl/-en センキョ
	巛 巛 巛 巛 巛 巛		

LEKTION 9

勤	Anstellung	キン つと・める	勤める angestellt sein
	一 一 一 一 一 一 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎		通勤する pendeln, zur Arbeit gehen/fahren
	𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎		勤務 Dienst
			キンム

君	Suffix bei Personennamen	クン きみ	君 du (Anrede)
	フ 𠄎 𠄎 尹 尹 君 君		〜君 Suffix f.Pers. (Gebr. nur v. oben n.unten)

林	Wäldchen	リン はやし	林 Wäldchen, Hain
	一 十 才 才 木 村 材 林		はやし
			森林 Wald, Forst
			シンリン

森	Wald, Forst	シン もり	森 Wald
	一 十 才 木 木 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎		もり

雑	Zeitschrift, Gemisch	ザツ ゾウ	雑誌 Zeitschrift
	ノ 九 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎		ザツ
	雑 雑		ゾウ

LEKTION 9

誌	aufschreiben, Zeitschrift	シ	週刊誌 Wochenzeitschrift, シュウカンシ Illustrierte
	一 二 三 四 五 六 言 言 計 計 計 誌 誌 誌		

両	beide	リョウ	両方 beide, beides リョウホウ
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		両親 Eltern リョウシン
			両者 beide (Personen) リョウシャ

給	versorgen	キョウ	給料 Gehalt, Lohn キョウリョウ
	一 二 三 四 五 六 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸		月給 monatl. Gehalt/ ゲッキョウ Lohn

報	Nachricht	ホウ	情報 Information ジョウホウ
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		天気予報 Wetterbericht テンキヨホウ
			報道 Pressebericht, ホウドウ Nachrichten

歳	Jahre alt	サイ	～歳 ~alt サイ ~jährig
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		二十歳 zwanzig Jahre alt ハタチ

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 9

厚	厚								
眠	眠								
確	確								
記	記								
選	選								
勤	勤								
君	君								
林	林								
森	森								
雜	雜								
誌	誌								
兩	兩								
給	給								
報	報								
歲	歲								

練習 第 10 課

Übung Lektion 10

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

さて	さて	INT	nun (Wort, um ein Thema einzuleiten)
与える	あたえる	弱V	geben, verleihen
あわてる	慌てる	弱V	s. überstürzen, s. übereilen
得る	える・うる	弱V	erhalten, bekommen
身につける	身につける	弱V	s. aneignen, mit dem Körper lernen, etw. am Körper tragen
扱う	あつかう	強V	behandeln
いばる	威張る	強V	s. breitmachen, angeben
失う	うしなう	強V	verlieren
疑う	うたがう	強V	verdächtigen
奪う	うばう	強V	entwenden
裏切る	うらぎる	強V	hintergehen, verraten
気をつかう	きをつかう	強V	Aufmerksamkeit schenken
従う	したがう	強V	folgen, Folge leisten
救う	すくう	強V	retten
つながる	繋がる	強V	verbinden, verbunden sein mit
ふるまう	振る舞う	強V	s. benehmen; auch: jmd. bewirten
略す	りやくす	強V	abkürzen, 略: Abkürzung
違反	いはん	不V・N	übertreten, zuwiderhandeln, Übertretung, Zuwiderhandlung
失業	しつぎょう	不V・N	Arbeit verlieren, Arbeitslosigkeit
信用	しんよう	不V・N	vertrauen, Vertrauen
駐車	ちゅうしゃ	不V・N	parken, Parken
徹底	てっぺい	不V・N	durchdringen, Durchdrungenheit, Konsequenz ～的だ: durch und durch, konsequent
分担	ぶんたん	不V・N	einteilen, Einteilung (z.B. Arbeit, Geld)
インタビュー	インタビュー	不V・N	interviewen, Interview
結構	けっこう	ADV	recht (meist positiv), ziemlich (meist positiv)
さらに	更に	ADV	darüber hinaus, aufs neue, noch mehr
せっかく	折角	ADV	eigens, extra, ausgerechnet
直接	ちよくせつ	ADV	direkt
常に	つねに	ADV	ständig, stets

最低	さいてい	ADV・N	minimal, mindestens 最低の家事: Minimum an Hausarbeit
おとなしい	大人しい	VA	ruhig, gesetzt, artig
明らかだ	あきらかだ	NA	offensichtlich
意外だ	いがいだ	NA	erstaunlich 意外に: wider Erwarten
一般的だ	いっぱんてきだ	NA	allgemein, gewöhnlich
積極的だ	せつきよく てきだ	NA	aktiv, energisch; <small>しょうきよく</small> 消極的だ: passiv, zurückhaltend
苦手だ	にがてだ	NA	ungern (tun), schwach sein in
有利だ	ゆうりだ	NA	günstig
不利だ	ふりだ	NA	ungünstig
性	せい	N	Geschlecht
男女	だんじょ	N	Mann und Frau
男子	だんし	N	männliche Person, Junge
女子	じょし	N	weibliche Person, Mädchen
職場	しょくば	N	Arbeitsplatz
記者	きしゃ	N	Reporter(in)
秘書	ひしょ	N	Sekretär(in)
パート(タイム)	パート	N	Teilzeit (Abk. part time job)
権利	けんり	N	Recht
選挙	せんきょ	N	Wahl(en)
名簿	めいぼ	N	Namensliste
状況	じょうきょう	N	Situation, Lage
感覚	かんかく	N	Empfindung, Sinn
瞬間	しゅんかん	N	Moment
例外	れいがい	N	Ausnahme ~的だ: ausnahmsweise
家事	かじ	N	Hausarbeit, häusliche Arbeit
育児	いくじ	N	Kleinkinderziehung, Kindererziehung
朝食	ちょうしょく	N	Frühstück (formeller Ausdruck)

本音	ほんね	N	inoffizielle, wahre Version (das, was man im Herzen denkt)
建て前	たてまえ	N	offizielle, beschönigte Version
スピード	スピード	N	Geschwindigkeit
チャンス	チャンス	N	Chance
一歩	いっぽ	N	e. Schritt ～間違えば: wenn man e. Fauxpas begeht, bei kleinstem Fehltritt
～内	ない	Suffix	innerhalb, intern 家庭～: innerhalb der Familie
…こそ	こそ	P	gerade, genau; siehe Gr.
…さえ	さえ	P	nicht einmal, selbst, wenigstens; siehe Gr.
…すら	すら	P	nicht einmal, selbst, wenigstens; siehe Gr.
…の上で	のうえで	Zus	auf dem Gebiet von...
あるいは	或は	KONJ	oder, bzw.
したがって	従って	KONJ	daher, demzufolge, folglich
だが	だが	KONJ	jedoch, aber
ひかえめ	控え目	NA	zurückhaltend
同権	どうけん	N	Gleichberechtigung
原田	はらだ	N	Harada (japan. Familienname)

第 10 課

練習 1 「べきだ」「べきではない」を使って次の文を書き直しなさい。

例 何でも知っているようにふるまってははいけません。
→何でも知っているようにふるまうべきではありません。

- 1.地震や火事が起きたときも、あわててはいけません。
- 2.社会で生きていくために、身につけなければいけないマナーがあります。
- 3.人をまず信用しなくてははいけません。最初から疑ってはいけないのです。
- 4.動物園の動物にえさを与えてはいけないことを、子供に教えなければはいけません。

練習 2 「べきだ」あるいは「べきではない」を使って、次の質問に答えなさい。

例 授業の準備でわからないことがあります。どうするべきですか。
→わかるまで徹底的に調べるべきです。すぐあきらめるべきではありません。

- 1.子供はいつも親に従うべきだと思いますか。
- 2.ドイツの失業者を救うためには、政府は何をすべきですか。
- 3.いつでも本音を言うべきですか。それとも建て前を言うべきときがありますか。
- 4.子供はしかって育てるべきですか。それともほめて育てるべきですか。

練習3 「べきだ」「べきではない」を使って、意見を言いなさい。理由も言いなさい。

例 スピード違反について

→スピードを出すと危ないので、絶対にすべきじゃないと思います。

1. 駐車違反について
2. 男女同権について
3. 年金制度について
4. 失業者が増えていることについて

練習4 次の動詞と「得る」「得ない」を組み合わせなさい。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1. 感じる | 2. 下がる | 3. 調べる |
| 4. ある | 5. 知る | 6. 求める |
| 7. 集まる | 8. 続ける | 9. 否定する |

練習5 次の文を「得る」「得ない」を使って書き直しなさい。

例 納得できる理由を説明してください。

→納得し得る理由を説明してください。

1. 日本経済が徹底的にだめになることも考えられます。
2. 避けることができる危険性は、なるべく避けてください。
3. あの飛行機が落ちた原因は、もう調べられないことです。
4. 気をつけていても、事故はいつでも起こる可能性があります。
5. 現代は、次の瞬間に何が起こるか、想像できない時代です。

練習6 「ざるを得ない」を使って、同じ意味の文を作りなさい。

例 専門の本は高いですが、買うしかありません。
→専門の本は高いですが、買わざるを得ません。

1. 私は反対でしたが、上司の意見なので、従うしかありませんでした。
2. 母は、私達がまだ小さいうちは、パートで働くしかありませんでした。
3. 家事が苦手ですが、一人で暮らしているので、自分でするしかありません。
4. ダンスは得意じゃないのですが、誘われたら、踊るしかありません。
5. せっかくお寺を見に行ったのに、修理中だったので、あきらめるしかありませんでした。

練習7 「ざるを得ない」を使って、文を続けなさい。

例 けんかを終えるためには、…
→けんかを終えるためには、私が謝らざるを得ませんでした。

1. 車が壊れたので、…
2. どんなにいやでも、…
3. 日本語の辞書は結構高いのですが、…
4. 大学に行きたくないけれど、…
5. とてもおいしかったソーセージですが、古くなったので…

練習8 「がたい」を使って、次の文を書き直しなさい。

例 それは家族に相談しなければ、決められないことです。
→それは家族に相談しなければ、決めがたいことです。

1. 来年の景気が良いか悪いかは想像できません。
2. 元気だった鈴木先生が入院なさったのは、信じられません。

3. シュナイダー教授はとても厳しくて、近づきにくい方です。
4. とても良い友達が外国に引っ越すとき、本当に別れるのがつらかったです。
5. 就職しようと思っていましたが、受け入れられない条件だったので、やめました。

練習9 () の動詞と「かねる」あるいは「かねない」を組み合わせなさい。

例 彼女は試験の前の晩にも、飲みに行く)
→彼女は試験の前の晩にも、飲みに行きかねません。

1. 彼の言いたいことは、私には (理解する)。
2. 例外を認めると、規則の意味が (なくなる)。
3. 一人の友達を裏切ったら、友達を全部 (なくす)。
4. 日本人と知り合っても、はずかしくて、日本語を (話す)。
5. 私には彼/彼女が三人いますが、誰を選ぶべきか、まだ (決める) います。

練習10 あなたはある会社でアルバイトしています。お客さんと話しています。次のとき、あなたは何と言いますか。「かねる」を使って、文を作りなさい。

例 機械を一台だけ注文されましたが、10台からしか売れません。
→一台ではご注文をお引き受け致しかねます。

1. お客さんが、絶対にできないお願いをしました。
2. 他のお客さんの個人的な情報を教えてほしいそうです。
3. 部長と相談しなければ、質問に答えることができません。
4. もう使ってしまった製品を取り換えてほしいと言われました。
5. 壊れた製品を直してほしいそうですが、直せると約束できません。

練習 11 ペーター君はとても変な人です。どんな変なことをやりかねませんか。「かねない」を使って、おもしろい文を3つ作りなさい。(文法の7ページを見なさい)

例 ペーター君は洗濯機でお皿などを洗いかねません。

- 1.
- 2.
- 3.

練習 12 「だけあって」を使って、文と文を組み合わせなさい。

例 あの店の魚はとても新鮮です。
→あの店の魚はとても新鮮なだけあって、生で食べても大丈夫です。

1. あの仕事は非常に大変でした。
2. 「Yesterday」は実に有名な歌です。
3. 新幹線は普通の電車よりずっと早いです。
4. 兄は何年もイタリアのレストランで働きました。
5. あの方は世界的に有名な教授でいらっしゃいます。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| a. 生で食べても大丈夫です。 | b. いろいろなことを良くご存じです。 |
| c. だれでも知っています。 | d. きっぷがとても高いです。 |
| e. ピザやスパゲティを上手に作れます。 | f. お給料がたくさんもらえました。 |

練習 13 「だけに」を使って、文と文を組み合わせなさい。

例 ロミオとジュリエットはすばらしい話です。
→ロミオとジュリエットはすばらしい話だけに、何度も映画化されています。

1. 祖母は昔の人でした。
2. ニナさんはとても若いです。

3. 私の友達はヘミングウェイのファンです。
4. 彼女はいつも真剣に授業を受けています。
5. XY社は歴史が長くてとても有名です。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| a. 何度も映画化されています。 | b. 成績がとても良いらしいです。 |
| c. サービスもよいそうです。 | d. 現代の一般的な考え方に反対でした。 |
| e. 一晩寝なくても元気です。 | f. 大学でアメリカ文学を勉強しています。 |

練習 14 「こそ」を次の文に入れなさい。

例 漢字を覚えてしまえば、日本語はあまり難しくありません。
→漢字こそ覚えてしまえば、日本語はあまり難しくありません。

1. けんかの後で友達が私に謝りました。でも、私が悪かったんです。
2. 夏学期も冬学期も試験に合格できませんでした。次の学期には合格したいです。
3. アンドレアス君は日本へ一年留学したから、日本語が話せるようになったんです。
4. 若いときより、年を取ってから、楽しくにぎやかに暮らしたいと思います。
5. なかなか英語を話すチャンスがないので、イギリスに行ったときがチャンスです。

練習 15 適当なことばと「さえ」を () に入れなさい。

例 ブラウンさんは動物が嫌いで、() さわれません。
→ブラウンさんは動物が嫌いで、(小さな犬さえ) さわれません。

1. 私のいとこはたまごが大嫌いなので、() 食べないんです。
2. 今本当にお金に困っていて、おさいふには () 入っていないんです。
3. 映画が好きで () 知らない昔の女優じょゆうをよく知っています。女優=Schauspielerin

4. ケーテさんは年を取って、一人では () 行けなくなりました。
5. 妹は本が好きじゃありません。だから () 読んだことがないんです。

練習 16 次の文の () に、適当な単語と「さえ」を入れなさい。

例 パリではずかしい経験をしました。() いやです。
→パリではずかしい経験をしました。(思い出すのさえ) いやです。

1. アンヤさんは何でも食べます。() 食べられるそうです。
2. 旅行が大好きな小島さんは、() 行ったことがあるそうです。
3. 彼は外国語が得意なので、() あっという間に身につけてしまいました。
4. 足がとても痛いので、() つらいです。

練習 17 「さえ…ば」を使って、次の文を書き直しなさい。

例 試験があるので、旅行ができません。
→試験さえなければ、旅行ができます。

1. 友達との約束があるので、明日は行けません。
2. お金がないので、新しい車を買えません。
3. かさを持っていなかったなので、かぜをひきました。
4. 洗濯機で洗ったので、セーターが小さくなりました。
5. 荷物を見ていなかったなので、盗まれてしまいました。

練習 18 練習 15 と練習 16 を「すら」を使って、別のことばを選んでやりなさい。

第 10 課 日本の女性

現代では、男性と女性が同じ権利を持つことは当然のことだと考えられている。だが、それは実現されているのだろうか。残念ながら、日本でもドイツでも「ノー」と言わざるを得ない。確かに、選挙の権利、相続の権利等、法律の上では平等である。しかし、現実社会では男性の方が女性よりずっと就職や出世に有利なのである。

学校教育では男女は平等であるべきだと教育されている。したがって、高校あるいは大学を卒業するまでは、女性が差別されることは少ない。しかし、社会に出ようとした瞬間、女性は徹底的な差別を受ける。つまり、簡単な仕事しかできなかつたり、給料が男性よりずっと少なかつたりするのである。信じがたいことだが、40代の男性社員と女性社員の給料の差は、2倍以上になることもあるようだ。

「せっかく社員として教育しても、女性はどうせすぐやめるから、大事な仕事は与えがたい」というのが企業側の理由である。確かに結婚したり子供が生まれたりしたら、家事や育児のために仕事をやめるべきだという意見は男女両方に多く、そうする女性も多い。しかし、ずっと仕事を続け、男性と同じような責任ある地位につくことを望む女性もいる。そんな女性にはチャンスを与えるべきではないだろうか。

ところで、学校を卒業するまでは男女差別は少ないと書いたが、日本では学校でも差別につながる問題がある。たとえば、学校の出席名簿は男子の後に女子の名前が書かれているので、いつも男子生徒の後に女子生徒が呼ばれる。これでは生徒は「女性は男性の後」という感覚を無意識に身につけてしまいかねない。また、女性は常に女性らしく（女性らしい話し方をする、意見をあまりはっきり言わない、よく気を使う等）、男性はいつも男性らしく（男らしく話す、細かいことを言わないⁱⁱⁱ、強い等）するように教育される。これも一歩間違えば、性による差別につながりかねない問題であろう。

(大学新聞のインタビュー記事から)

記者：「今日はドイツから留学中のマイヤーさんと、ドイツの高校を卒業なさった原田さんをお呼びしました。お二人に男女平等というテーマでお話を伺いたと思います。日本とドイツではだいぶ状況が違うと思いますが、いかがですか。」

原田さん：「私は、あまり大きな差があると考えるべきではないと思います。私はドイツへ行く前に、ドイツはヨーロッパの国だけあって、男女同権がもっと進んでいると聞いていました。しかし、意外なのですが、ドイツへ行ってみたら、女性性は就職や出世に不利だというのは日本と変わりませんでした。」

記者：「そうですか。」

原田：「たとえば、会社で社長や部長等の責任ある地位についている女性は、例外的だと言わざるを得ません。それに対して、秘書のように誰かの仕事を助ける仕事や、会社に来たお客さんにコーヒーを出すのはほとんど女性です。」

マイヤーさん：「私はドイツの男女同権は、日本よりは進んでいると思いますよ。たとえば、日本では『男性は女性より上』『女性は男性に従うべきだ』とされているそうですね。でも、それはドイツでは納得しがたいことです。」

記者：「古い考えですね。原田さんはこの点についてどんなご意見をお持ちですか。」

原田：「私達の世代ではもうそんな考え方はしませんね。外国では日本は今もそうだとされているようですが…。そのためでしょうか、日本人女性は一部の外国人男性に人気があるようですよ。『日本人女性はひかえめでおとなしくて、よく男性の世話をする』と誤解されているらしいです。(笑)」

記者：「それは確かに誤解ですね。(笑)」

マイヤー：「残念ながら。(笑) それを信じていたからこそ日本へ来たんですが。(大笑)」

記者：「では、マイヤーさん、ドイツでは主婦になる女性は少ないのでしょうか。」

マイヤー：「いいえ、多いですよ。日本のように結婚のために仕事をやめる人は少ないですが、子供のために仕事をやめるのはよくあることです。」

原田：「子供のいる女性はパートで働くことが多いんですよ。日本と同じです。」

記者：「さて、家庭内ではどうでしょうか。家事の分担についてお話しください。」

マイヤー：「難しいですね。人によって全く違うので、単に『ドイツではこうだ』と言ってしまふべきではないでしょう。しかし、一般的に言えば、ドイツの男性の方が日本人より家事をします。」

原田：「そうですね。日本では奥さんが勤めていても、いなくても、家事はほとんど奥さんがして、ご主人はたまに手伝う程度でしょう。ご飯すら作れない男性が結構いる。それに対し、ドイツではほとんどの男性が最低の家事はできます。」

記者：「じゃあ、ドイツ人男性と結婚した方が、女性には良さそうですね。あ、こんなことをここで言うべきじゃないかもしれませんね。女性が全員ドイツに行きかねない! (笑)」

マイヤー：「どうぞ来てください。ドイツ人が皆家事をするとは約束しかねますが。(笑)」

記者：「さっき、原田さんは、若い世代は『男性は女性より上』とは考えないとおっしゃいましたが、考え方はもう完全に変わったと考え得るでしょうか。」

原田：「いいえ、私達の世代ですら、古い考えの人はまだいます。それに、今でも亭主関白^①は良いけれど、かかあ天下^②ははずかしい、という感覚は残っています。だから、他人の前ではご主人はいばっているようにふるまうし、奥さんは、実際にはご主人がよく家事を手伝っていても『主人は何もしてくれないんです』と言って、亭主関白を演じるわけです。『よくやってくれます』というとかかあ天下だと思われかねないですから。」

マイヤー：「それはおもしろいですね。ドイツでは逆です。亭主関白はイメージが悪いんですよ。だから、ご主人が全く家事をやらない家庭でさえ、他人には『私達は何でも二人でやります。』と言うことがあるんです。」

記者：「そうなんですか。理想の家庭が違うんですね。」

原田：「理想というよりは、社会に対する建て前ですね。本音では、日本でももちろん二人で協力する家庭が女性にとっての理想です。男性にとっての本当の理想は亭主関白でしょうけれど。それから… (略)」

i	ノー	Engl.: "No" , "Yes" schreibt man イエス
ii	これでは	etwa: bei dieser Behandlung; wenn es so gehandhabt wird
iii	細かいことを言う	kleinlich sein, pingelig sein
iv	変わる	hier: sich unterscheiden
v	たまに…程度	hier: es übersteigt nicht den Grad einer gelegentlichen Hilfe, es geht nicht über eine gelegentliche Hilfe hinaus
vi	<small>ていしゅかんぱく</small> 亭主関白	etwa: Hausherr, "Regent" im Hause
vii	かか <small>でんか</small> あ天下	etwa: Hausherrin, herrschsüchtige Ehefrau

LEKTION 10

難	schwierig	ナン	難しい	schwierig	
	一 十 卩 卩 卩 卩 艹 艹 艹 艹 艹 艹		むずか・しい かた・い	むずか	
	艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹			困難	Schwierigkeit
			非難	Vorwurf, Kritik	

必	gewiß, sicher, zweifellos	ヒツ	必ず	gewiß, sicher, un-	
	ノ 义 必 必		かなら・ず	かなら	bedingt, zweifellos
				必要だ	notwendig, erforderlich
			必死だ	verzweifelt	

般	allgemein	ハン	一般的だ	allgemein	
	ノ 月 月 月 舟 舟 舟 舟 舟			イッパンテキ	
				一般に	im allgemeinen
			イッパン		

与	geben	ヨ	与える	geben	
	一 与 与		あた・える	あた	
				給与	Gehalt, Zuwendung, Anteil
			キューヨ		

呼	rufen, einladen	コ	呼ぶ	rufen, einladen	
	ノ 口 口 口 口 口 呼 呼		よ・ぶ	よ	

LEKTION 10

得	Gewinn, Nutzen	トク う・る え・る	得る gewinnen, う/え erwerben
	丶 勹 彳 彳 彳 彳 得 得 得 得 得		得意だ gut können トクイ
			納得 einleuchten, ナットク Einsicht

望	hoffen, wünschen	ボウ モウ のぞ・む	望む hoffen, wünschen のぞ
	丶 丩 亡 亡 亡 亡 望 望 望 望 望		望み Hoffnung, Wunsch のぞ
			希望 Hoffnung キボウ

誤	Fehler machen, s. irren	ゴ あやま・る	誤解 Mißverständnis ゴカイ
	丶 亻 亻 亻 亻 亻 誤 誤 誤 誤 誤 誤		誤る s. irren, einen あやま Fehler begehen
			誤り Fehler, Fauxpas あやま

協	Zusammenarbeit	キョウ	協力 Zusammenarbeit, キョウリョク Kooperation
	一 十 十 十 十 十 協 協		協会 Verein, Gesell- キョウカイ schaft

由	Grund, Ursache, Bedeutung	ユ ユウ よし	理由 Grund, Ursache リユウ
	丨 冂 冂 冂 冂 由 由 由 由		自由 Freiheit ジユウ
			～經由 via XY, über XY ～ケイユ

LEKTION 10

専	ausschließlich	セン もっぱら	専門 センモン	Hauptfach, Spezialgebiet
	一 冫 冫 冫 冫 冫 車 専 専		専攻 センコウ	Fachrichtung, Studienfach

奥	Ehefrau, Inneres	オウ おく	奥さん おく	Ehefrau des anderen
	宀 宀 宀 宀 宀 宀 南 南 南 南 奥 奥		奥 おく	das Innere

徒	zu Fuß, Begleiter	ト	生徒 セイト	Schüler/-in
	辶 辶 辶 辶 辶 辶 徒 徒 徒 徒		キリスト教徒 キョウト	Christ/-in

権	Gewicht, Macht, Recht	ケン	権利 ケンリ	Recht, Berechti- gung
	一 十 才 才 才 才 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 権 権 権		同権 ドウケン	Gleichberechti- gung
			権力 ケンリョク	Macht

側	Seite	ソク かわ	～側 がわ	～Seite
	ノ 亻 亻 亻 亻 亻 但 但 但 但 側		右側 みぎがわ	rechte Seite
			企業側 きぎょうがわ	Unternehmensseite

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 10

難	難								
必	必								
般	般								
与	与								
呼	呼								
得	得								
望	望								
誤	誤								
協	協								
由	由								
專	專								
奧	奧								
徒	徒								
權	權								
側	側								

練習 第11課

Übung Lektion 11

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

あこがれる	憧れる	弱V	schwärmen
占める	しめる	弱V	ausmachen, einnehmen 位置を～: Position einnehmen 30%を～: 30% ausmachen
取り上げる	とりあげる	弱V	aufgreifen, thematisieren
生える	はえる	弱V	wachsen (z.B. Gras, Haar)
日に焼ける	ひにやける	弱V	Sonnenbräune bekommen auch: 日焼けする
～上げる	あげる	弱V	auf-, hoch-, fertig- 持ち～: hochheben 書き～: fertigschreiben
争う	あらそう	強V	wetteifern, streiten, kämpfen
サボる	サボる	強V	schwänzen
スピードを出す	スピードをだす	強V	schnell fahren, hohe Geschwindigkeit erzeugen Antonym: スピードを落とす
倒す	たおす	強V	umkippen, umstürzen
伝わる	つたわる	強V	überliefert werden, übertragen werden, verstanden werden
流す	ながす	強V	gießen, fließen lassen; hier: (Information) verbreiten
握る	にぎる	強V	greifen
広がる	ひろがる	強V	s. ausbreiten, s. entfalten
広まる	ひろまる	強V	s. ausbreiten, populär werden
気がする	きがする	不V	e. Ahnung haben, e. Gefühl haben
位置	いち	不V・N	gelegen sein, Lage
応援	おうえん	不V・N	anheuern, unterstützen; Anheuerung, Unterstützung
回復	かいふく	不V・N	genesen, wieder aufleben; Genesung, Wiederaufleben
寄付	きふ	不V・N	spenden, Spende
勝負	しょうぶ	不V・N	wetteifern, Wettkampf
宣伝	せんでん	不V・N	werben, Werbung machen, Reklame
存在	そんざい	不V・N	existieren, Existenz
中継	ちゅうけい	不V・N	übertragen, senden, Übertragung, Sendung
調査	ちようさ	不V・N	untersuchen, Untersuchung
普及	ふきゆう	不V・N	verbreiten, Verbreitung
優勝	ゆうしょう	不V・N	siegen, Sieg

ジョギング	ジョギング	不V・N	joggen, Jogging
トレーニング	トレーニング	不V・N	trainieren, Training
結局	けっきょく	ADV	letztlich, schließlich
既に	すでに	ADV	bereits (mit Negation)
必ずしも…ない	かならずしも	ADV	nicht unbedingt
恐ろしい	おそろしい	VA	furchtbar, fürchterlich, furchterregend
正式	せいしき	NA	offiziell
以前	いぜん	adv	früher, vor einiger Zeit
戦前	せんぜん	adv	vor dem Krieg (meist: 2. Weltkrieg)
戦後	せんご	adv	nach dem Krieg (meist: 2. Weltkrieg)
民主	みんしゅ	N	demokratisch, Demokratie ~主義: Demokratie
以下	いか	N	folgendermaßen, unter; weniger (oder gleich) ～に書く: unten verzeichnen ～の通り: wie folgt 1 キロ～: weniger als 1 kg
面	めん	N・ Suffix	Seite, Punkt, Teil
例	れい	N	Beispiel
話題	わだい	N	Thema, Gesprächsthema
各地	かくち	N	überall, in den einzelnen Gebieten
都道府県	とどうふけん	N	“Todôfuken” (Tokyo= to ; Hokkaido= dô ; Osaka und Kyoto= fu ; 43 Präfekturen= ken)
出身	しゅっしん	N	Herkunft ~者: Herkunftige(r)
国境	こっきょう	N	Landesgrenze
商店	しょうてん	N	Geschäft, Einzelhandelsgeschäft, ～街: Geschäftsviertel, Einkaufsviertel
科目	かもく	N	Fach, Studienfach
論文	ろんぶん	N	wiss. Aufsatz, Abhandlung 卒業～: Diplomarbeit (Abk.: 卒論)
教師	きょうし	N	Lehrkraft, Lehrkörper, Lehrer (als Berufsbezeichnung)
卒業生	そつぎょうせい	N	Absolvent
マスコミ	マスコミ	N	Medien, Massenkommunikationsmedien
プロ	プロ	N	Professionelle(r)
選手	せんしゅ	N	Spieler(in) (einer Sportart), Sportler(in)
大会	たいかい	N	Veranstaltung (festlich), große Veranstaltung Versammlung

勝利	しょうり	N	Sieg
賞金	しょうきん	N	Siegerprämie, Prämie
ルール	ルール	N	Regel, Spielregel
障害	しょうがい	N	Hindernis, Störung, (körperl.) Behinderung
肩	かた	N	Schulter
ひじ	肘	N	Ellbogen
ひざ	膝	N	Knie
衣装	いしょう	N	Kostüm
～街	がい	Suffix	Stadtteil, Viertel
～場	じょう	Suffix	Platz ゴルフ～: Golfplatz
...において	に於いて	P	in, innerhalb
...に関して	にかんして	P	in bezug auf, hinsichtlich
欠かせない	かかせない	Zus	nicht fehlen dürfen
おかげだ	お蔭・お陰だ	Gr.	dank...
せいだ	所為だ	Gr.	wegen, aufgrund...
野球	やきゅう	N	Baseball
ゴルフ	ゴルフ	N	Golf
相撲	すもう	N	Sumo, japan. Ringkampf
力士	りきし	N	Sumo-Ringer

第 11 課

練習 1 「において」「における」を使って、次の文を書き直さない。

例 企業での宣伝の意味と重要性について話します。
→企業における宣伝の意味と重要性について話します。

1. 私の研究テーマは「戦後の日本での民主主義化」です。
2. 現代のマスコミの否定的な面について調査しています。
3. 60年代には世界各地で大学生による政治運動が起きました。 運動 : Bewegung
4. 現在の経済的状況で、この問題にはどんな解決方法がありますか。

練習 2 卒業論文のテーマは何ですか。日本語で答えなさい。

例 論文のテーマは何ですか。 Regeln des Sumo in der Edo-Zeit
→「江戸時代における相撲のルール」です。

1. Forschungsumfeld an der Universität
2. Geschwindigkeitsübertretungen auf der Autobahn
3. Wirtschaftswachstum von Entwicklungsländern
4. problematische Punkte der gegenwärtigen politischen Lage

練習 3 次の文の（ ）に、合う単語と「に関して」「に関する」を入れなさい。

例 最近（ ）意識調査が行われました。
→最近（ 家庭生活に関する ）意識調査が行われました。

1. 今読んでいるのは、（ ）本です。
2. 私は（ ）問題に興味があります。
3. 最近読んだ雑誌には、（ ）話題が載っていました。

4. ドイツ人の多くは、() ほとんど知らないはずですが。
5. 今、ドイツのマスコミは、() 大きく取り上げています。

練習4 次の文を最後まで作りなさい。

例 日本語は英語に比べ、…
→日本語は英語に比べ、勉強する人がずっと少ないです。

1. アメリカ人はドイツ人に比べ、…
2. 私は (Ihr Nachbar) さんに比べ、…
3. ドイツではサッカーに比べて、野球は…
4. 都会での生活はいなかでの生活に比べ、…

練習5 例にしたがって、「に比べ」を使って文を書き直してください。

例 田中さんはいつもパンを3つ食べますが、山川さんは2つしか食べません。
→田中さんは山川さんに比べ、たくさん食べます。
→山川さんは田中さんに比べて、少ししか食べません。

1. 昔はコンピュータが恐ろしく高かったですが、今ではかなり安くなりました。
2. 一年前には日本語がほとんどできませんでしたが、今はかなりできるようになりました。
3. FCバイエルンを応援する人は多いですが、FCフライブルクを応援する人は少ないです。
4. 日本の高速道路は時速^{じそく}100キロまでしか出せませんが、ドイツではもっと早く走ってもいいです。

練習6 次の文の（ ）の動詞と「限り」を使って、意味が通じるようにしなさい。

例 私の応援している選手が（ 勝つ ）、髪を切らないつもりです。
→私の応援している選手が（ 勝たない限り ）、髪を切らないつもりです。

- 1.雨が（ ひどい ）、ジョギングをします。
- 2.人の本当の性格は、（ 家族だ ）、なかなかわかりません。
- 3.あなたが夢を（ 捨てる ）、私もあきらめないでがんばります。
- 4.日本語を（ 勉強している ）、漢字の練習は続けなければなりません。
- 5.私が（ 知る ）、いま日本ではスノーボードが流行しているらしいです。

練習7 次の文に、合う文を作って続けなさい。

例 感謝が相手に伝わらない…
→感謝が相手に伝わらない限り、どんなに丁寧なことばを使ってもだめです。

- 1.日本へ行かない…
- 2.この町に住んでいる…
- 3.必要な単位がとれない…
- 4.大学生として大学に通う…
- 5.世の中に争いがなくならない…

練習8 「限り」を使って文を作り、() に入れなさい。

例 ()、カッコいい体は作れません。
→ (一生懸命トレーニングしない限り)、カッコいい体は作れません。

1. ()、私は幸せです。
2. ()、両親は満足しています。
3. ()、私はあの人を許しません。
4. ()、「1.0」の成績を取ることは不可能です。
5. ()、失業率は高い割合を占めるでしょう。

練習9 次の文の()に、「に限って」を使った文を作って入れなさい。

例 ()、友達が家へ来ます。
→ (私が家にいないときに限って)、友達が家へ来ます。

1. ()、バスや電車が遅れます。
2. ()、家にスパゲティがありません。
3. ()、友達のパーティーに誘われます。
4. 親は「()、悪いことは絶対にしない」と思うものです。
5. () 雨が降るし、() かさを持っています。

練習10 「に限らず」を使って、次の文を書き直しなさい。

例 マリオンさんは小説だけではなく、いろいろな分野の本を読みます。
→マリオンさんは小説に限らず、いろいろな分野の本を読みます。

1. 大学の食堂は、学生だけではなく、一般の人でも利用できます。
2. 勉強は大学や学校でだけではなく、どこでもできるものです。

3. 私はビールやワインだけではなく、お酒は何でも好きです。
4. 彼女は現代の切手だけではなく、古い切手も集めているそうです。
5. ドイツはワインやビールやソーセージだけではなく、音楽でも有名です。

練習 11 次の文の () に単語や文を入れなさい。

1. ビールを飲むなら、() に限ります。
2. 今映画を見るなら、() に限ります。
3. 寒いときの飲み物は、() に限ります。
4. 雨の日のデートの場所は、() に限ります。
5. 日本語を勉強していて、問題があるときは、() に限ります。

練習 12 「(必ずしも) …とは限らない」を使って、文を続けなさい。

例 いい研究者が…

→いい研究者が必ずしもいい先生とは限りません。

1. 人気のある本が…
2. 成績のいい人が…
3. 大学で勉強していることが…
4. お金がたくさんかかっている映画が…
5. うそをつくことは…

練習 13 「通り」を使って文を作り、() に入れなさい。

例 (教えてもらった通りに) 歩いていたら、すぐ商店街に着きました。
→ () 歩いていたら、すぐ商店街に着きました。

1. () すれば、問題は起こりません。
2. 今日午後から雪が降りました。() です。
3. () コンピュータを使ってみたら、簡単でした。
4. 初めて見た富士山は、() とても美しかったです。
5. 日本へ行く前に ()、日本では何でも高かったです。

練習 14 「まま」を使って文を作り、() に入れてください。

例 () 忘れていた本を見つけました。
→ (一年前に買ったまま) 忘れていた本を見つけました。

1. () 眠ってはいけません。
2. 久しぶりに行った小学校は、() でした。
3. () 手紙を出してしまったので、多分着かないでしょう。
4. 部屋をかたづけたいのですが、時間がないので、() です。
5. せっかく高い辞書を買っても、() では意味がありません。

練習 15 次の文の () に「せい」か「おかげ」を入れなさい。

1. 先生 () 日本語を話せるようになりました。
2. 家にかさを忘れた ()、かぜをひいてしまいました。
3. 人間 () たくさんの植物や動物が死んでいます。
4. 病気になった ()、病院で新しい彼／彼女を見つけました。
5. クラインさんが電話してくれた ()、今日は授業がないことを知りました。

練習 16 「せい」や「おかげ」を使って文を作り、() に入れなさい。

例 ()、仕事が早く終わりました。

→ (友達が手伝ってくれたおかげで)、仕事が早く終わりました。

1. ()、コンピュータが壊れました。
2. ()、持っていたコーラを落としました。
3. ()、早く家を出たのに、授業に遅刻しました。
4. ()、アルバイトをしなくても日本へ留学できます。
5. ()、日本についていろいろと知ることができました。

第 11 課 日本におけるスポーツ

日本人に一番人気のあるスポーツと言えば、野球である。テレビの放送時間を見ても、プロ野球の中継が一番多い。したがって、まず野球に関する話題から始めよう。

野球がアメリカから日本へ伝わったのは、明治6年(1873年)。それから野球は全国に広まっていったが、これほど普及したのは、8月の甲子園球場における高校野球(全国の高校の野球部チームが日本一を争う大会)のおかげもある。

高校野球は大正4年(1915年)に始まった。甲子園に行くことは、野球ファンの小・中・高生¹⁾のあこがれで、「夢の甲子園」という言葉さえあるほどだ。都道府県における試合で優勝して、甲子園行きが決定した高校は、町や商店街、卒業生等から寄付を集める。このお金のおかげで、教師や生徒達に限らず、町の人たちも何十台ものバスに乗って、甲子園に応援に行くことができる。高校野球に対する関心は高く、プロ野球に全く興味のない人でも、自分の住んでいる地域や故郷のチームを応援することが多い。

高校野球はこのような国民的なお祭である限り、すばらしいものである。しかし、高校野球はこれほど注目されるせいで、高校の宣伝に利用されている面もある。入学希望者を多く集めたい私立高校では、野球が特別に上手な子供は、勉強ができなくても入学させる。あるいは、全国各地の中学校から選手を集めたりするほど、極端な例もある。そして、「スポーツは勝たない限りだめだ」という価値観が広まっているので、「下手でも楽しむ」というスポーツの面は忘れられたままだ。だから、いくら野球が好きな子供でも、上手でない限り、試合には一度も出られない。また、子供のときから厳しいトレーニングをさせられたせいで、肩やひじ、ひざ等に障害を起こす子供も増えている。

野球は戦後の日本において、最も愛されてきたスポーツであるが、最近ではサッカーの人气が高まっている。サッカーまんがやアニメ²⁾のおかげもあるが、何より大きかったの

は、プロのサッカーリーグ「Jリーグ」が1991年にできたことだろう。これは、マスコミの宣伝の勝利とも言える。なぜなら、Jリーグができるずっと前から雑誌や新聞、テレビ、ラジオ等がJリーグに関する情報を流しつづけ、その結果、マスコミの思った通りに、大変な数のファンが作られたからである。若い世代に、サッカーは新しくてカッコいいスポーツだというイメージを与えることができたのだ。それで、今では昔に比べて、野球をする子供の数が減り、サッカーをする子供が増えたいらしい。

最後に取り上げるのは、非常に長い歴史を持つ相撲である。相撲は日本において「国のスポーツ（^{こくぎ}国技）」であるため、特別な位置を占めている。「相手を倒すか、押ししたり持ち上げたりして、土俵の外へ出せば勝ち」というルールは、ほとんど昔のままだ。

相撲の試合は15日間行われる。これを「場所」と呼ぶ。正式の場所は、一年に6場所行われることになっている。試合は以下の通りに行われる。まず、伝統的な衣装を身につけた行司が力士の名前を呼ぶと、二人の力士が土俵にやって来る。そして、土俵をきよめるために塩をまいて、気持ちを集中していき、勝負を始めるのである。そして勝った力士は、行司から賞金を受け取って、帰っていく。

相撲はお年寄りに人気のあるスポーツだったが、「^{たかのはな}貴乃花」と「^{わかのはな}若乃花」という兄弟力士が現れたおかげで、若い世代も関心を持つようになった。また、海外にも相撲ファンが増えたので、「パリ場所」のように海外場所も行われている。そして、ハワイ出身の「^{あけぼの}曙」が横綱になり、モンゴルやペルー出身の力士も活躍する等、相撲の人気は世代や国境を越えて広まっている。いつか、ドイツ出身の力士が横綱になる日が来るかもしれない。

マイヤーさん：「ずいぶん日に焼けましたね。またスキーに行ったんですか。」

友子さん：「今回はスキーじゃなくて、スノーボードをやったんです。」

マイヤー：「スノーボードですか。今スノーボードの人気はすごいでしょう。」

友子：「ええ。去年に比べても増えたので、人が多くて、スピードが出せないんです。」

マイヤー：「友子さんは本当にスポーツが得意なんですね。いろいろな種類のスポーツをやるみたいですが、どんなスポーツが好きなんですか。」

友子：「みんなと同じですよ。夏はテニス、冬はスキーやスノーボード。それから特に忙しくない限り、週2回はプールに行くようにしています。マイヤーさんは。」

マイヤー：「私はときどきジョギングしています。でも、「今日こそ走ろう」と思った日に限って、雨が降るんですよ。だから結局サボることが多いんですが。(笑)」

友子：「よくあることですよ。(笑)」

マイヤー：「ところで、日本の方は野球やサッカーはしないんですか。」

友子：「そうですね。子供はやっていますけれど、大人はめったに…。多分仕事をしている限り、大勢で集まる時間を見つけるのが難しいからでしょう。広い場所もなかなかありません。大人のスポーツと言えば、ゴルフかもしれませんね。」

マイヤー：「確かにゴルフファンは多そうですね。駅でクラブ^{xii}のかわりにかさを握って練習しているサラリーマンを見たことがあります。」

友子：「仕事で使うことが多いせいでしょうが、特に会社員に人気があるらしいです。」

マイヤー：「それに飛行機から下を見ると、ゴルフ場がたくさんありますよね。」

友子：「私は多すぎると思いますよ。自然は自然のままにした方がいいと思っているんです。それに、草が生えないように、薬をたくさん使うそうですし。」

マイヤー：「それは問題ですね。確かに、ドイツに比べて日本では草がとてもたくさん生えますから、使う薬も多くなるでしょうね。でも、ゴルフが好きな人は、やはりゴルフ場が少ないと困るでしょう。料金も高くなってしまいますから。」

友子：「今のままでも恐ろしく高いですからね。」

マイヤー：「私にはできそうにありません^{xiii}。」

i	甲子園 <small>こうしえん</small> 球場 <small>きゅうじょう</small>	甲子園 = Ortsname; Stadtteil von Nishinomiya, Präfektur Hyōgo 球場 = Baseballstadion
ii	小・中・高生	小学生・中学生・高校生
iii	アニメ (ーション)	“animation (animated cartoon)” Zeichentrickfilm
iv	Jリーグ	Japan Professional Football League の略
v	土俵 <small>どひょう</small>	Ring, Kampfarena: Der Kampf wird innerhalb eines Kreises von 4,55m Durchmesser, der sich auf einem erhöhten Quadrat ca. 30m ² befindet, ausgefochten.
vi	ほとんど昔のままだ	Da der Kampf früher nicht in einem Ring ausgefochten wurde, konnte man damals nur durch Umstoßen des Gegners den Sieg erringen.
vii	行司 <small>ぎょうじ</small>	Bezeichnung des Schiedsrichters beim Sumo
viii	きよめる	zeremoniell reinigen
ix	賞金	人気のある力士の試合には、個人や企業から賞金が出ることもある。
x	横綱 <small>よこづな</small>	Bezeichnung des Ranghöchsten beim Sumo
xi	モンゴル	Mongolei
xii	クラブ	Golfschläger (engl. “club”)
xiii	できそうにありません	=できそうじゃない

LEKTION 11

増	zunehmen, vermehren	ゾウ ふ・える ふ・やす ま・す	増える znehmen ふ
	一 十 十 十 十 十 増 増 増 増 増 増		増やす vermehren ふ
	増 増		増加 Zunahme, ゾウカ Vermehrung

減	abnehmen, verringern	ゲン へ・る へ・らす	減る abnehmen へ
	一 一 一 一 一 一 減 減 減 減 減 減		減らす verringern, kürzen へ
			減少 Verminderung, ゲンショウ Abnahme

勝	gewinnen, siegen	ショウ か・つ	勝つ gewinnen, siegen か
	一 一 一 一 一 一 勝 勝 勝 勝 勝 勝		優勝 Erstplatzierung ユウショウ
			勝利 Sieg (Krieg, Wett- ショウリ kampf)

負	unterliegen, verlieren	フ ま・ける ま・かす	負ける unterliegen, ま verlieren
	一 一 一 一 一 一 負 負 負		勝負 Wettkampf ショウフ
			負担 Last フタン

置	setzen, legen, errichten	チ お・く	置く setzen, legen お
	一 一 一 一 一 一 置 置 置 置 置 置		位置 Lage, Stellung イチ

LEKTION 11

焼	braten, brennen	シヨウ や・ける や・く	焼く braten, rösten, (ver-)brennen
	火 灯 灶 灶 灶 灶 灶 焼 焼		焼ける (ab-)brennen, ge- braten werden
			日に焼ける von der Sonne braun werden

限	begrenzen	ゲン かぎ・る	限る begrenzen
	冫 彡 冫 冫 冫 冫 限 限 限		限界 äußerste Grenze ゲンカイ

面	Fläche, Seite, Gesicht, Maske	メン おもて おも つら	面 (Ober-)Fläche, Seite
	一 一 一 一 一 一 面 面 面		面接 Vorstellungsgespräch, mündl. Prüfung
			面倒を見る betreuen, s. kümmern um

県	Präfektur, Provinz	ケン	県 Präfektur, Provinz
	丨 丨 丨 丨 丨 丨 県 県 県		都道府県 die japan. Prä- fektoren inkl.
			(都) Tôkyô, (道) Hokkaidô (府) Ôsaka u. Kyôto

種	Art, Sorte	シュ たね	種類 Art, Sorte, Gattung
	禾 禾 禾 禾 禾 禾 種 種		～種 XY-Art, XY-Sorte シュ
			種 Samen, Saat たね

LEKTION 11

夢	Traum	ム ゆめ	夢	Traum	
	一 十 廿 卅 卌 卍		ゆめ	夢を見る	träumen
	卍 卌 卍 卌 夢 夢		夢		

商	handeln, Handel treiben	ショウ あきな・う	商店	Geschäft, Laden
	一 一 一 一 一		商社	Handelsfirma
	商 商 商 商 商		商売	Handel, Geschäft

各	jeder, jedes	カク おのおの	各～	jede-s/-r XY
	ノ ク 又 冬 各 各		各地	jeder Ort, jede Gegend
	各 各 各 各 各		各国	jedes Land, alle Länder

式	Feier, Zeremonie, Stil, Methode	シキ	正式	offiziell
	一 一 一 一 式 式		結婚式	Hochzeitsfeier
	式 式 式 式 式		卒業式	Schul-/Uniab- schlußfeier

局	Amt, Behörde	キョク	結局	schließlich, letztendlich
	一 一 一 一 局 局		郵便局	Postamt
	局 局 局 局 局		放送局	Rundfunkstation, Radiosender

KANJI-SCHREIBÜBUNG LEKTION 11

増	増								
減	減								
勝	勝								
負	負								
置	置								
焼	焼								
限	限								
面	面								
県	県								
種	種								
夢	夢								
商	商								
各	各								
式	式								
局	局								

練習 第12課

Übung Lektion 12

単語リスト	Vokabelliste
練習	Übungen
テキスト	Lesetext
漢字リスト	Kanji-Liste

うん	うん	INT	「はい」 ugs.: ja
ううん	ううん	INT	「いいえ」 ugs.: nein
まあね	まあね	INT	ugs.: kann man sagen, ungefähr ja, das ist teilweise richtig
やった(一)	やった(一)	INT	Bingo! Geschafft!
あきる	飽きる	弱V	s. langweilen, e. Sache überdrüssig werden
あきれる	呆れる	弱V	d. Mund bleibt einem offen, sprachlos sein
あふれる	溢れる	弱V	überquellen
まかせる	任せる	弱V	anvertrauen, überlassen, beauftragen
待ち合わせる	まちあわせる	弱V	s. verabreden
もうける	儲ける	弱V	verdienen (Geld), einkassieren
殺す	ころす	強V	töten
たまる	貯まる	強V	s. anhäufen, s. ansammeln
はまる	嵌・填まる	強V	hier: süchtig werden (sonst: hineingeraten, hineinpassen)
(暴力を)振るう	ふるう	強V	(Gewalt) anwenden
放る	ほうる	強V	ugs.: werfen, etw. so belassen
ナンパ	軟派	不V・N	ugs.: Anmache, Anbaggern, anmachen, anbaggern
一概に	いちがいに	ADV	im allgemeinen, verallgemeinernd, über einen Kamm scheren
ちよっと	ちよっと	ADV	hier: Halt, halt!, Moment mal!
ちっとも…ない	ちっとも	ADV	「少しも…ない」 kein bißchen, überhaupt nicht
なんか	何か	FP・ADV	「なにか」 ugs.: irgend etwas
なんて	何て	ADV	「なんとなく」 ugs.: irgendwie
なんだか	何だか	ADV	「なんと」 ugs.: wie (schön), ach wie...
なんとか	何とか	ADV	「なぜか」 ugs.: irgendwie
なんとか	何とか	ADV	sowieso, irgendwas, irgendwie
やっぱ(り/し)	やっぱ	ADV	「やはり」 ugs.: doch, in der Tat
いやらしい	いやらしい	VA	schleimig, schlüpfrig Ugs.: 「やらしい」
うまい	上手い・旨い	VA	「上手い・巧い」 gut, geschickt, gekonnt 「旨い・美味い」 lecker
まずい	まずい	VA	hier: gefährlich, unpassend, peinlich (sonst: nicht schmecken)
やばい	やばい	VA	ugs.: gefährlich, heiß
すごい	凄い	VA	enorm, heftig, wahnsinnig ugs.: すっごい・すげえ・すっげえ・すんげえ

ちっちゃい・ ちいちゃい	ちっちゃい・ ちいちゃい	VA	「小さい」 ugs.: klein
でかい・でっかい	でかい・でっかい	VA	「大きい」 ugs.: groß
固・堅い	かたい	VA	steif, formell
暗い	くらい	VA	hier: traurig, ernst, trübsinnig
みつともない	みつともない	VA	beschämend, ungehörig
合法的だ	ごうほうてきだ	NA	gesetzlich, legal
違法だ	いほうだ	NA	gesetzeswidrig, ungesetzlich, illegal
勝手だ	かってだ	NA	selbständig, ichorientiert
物騒だ	ぶっそうだ	NA	gefährlich, kriminell
マイナーだ	マイナーだ	NA	unpopulär
メジャーだ	メジャーだ	NA	populär
余暇	よか	N	Freizeit
ギャンブル	ギャンブル	N	Glücksspiel, Wettspiel
パチンコ	パチンコ	N	Pachinko, jp. Flipperautomat
マーじゃん	麻雀	N	Majong, urspr.chin. Gesellschaftsspiel
競馬	けいば	N	Pferderennen
気違い・気狂い	きちがい	N	hier: Fanatiker, Besessener (sonst: Irrer, Geistesgestörter)
賞品	しょうひん	N	Prämie, Preis
玉	たま	N	Kugel
穴	あな	N	Loch, Höhlung
ネオン	ネオン	N	Neonröhre, Neonlicht
カウンター	カウンター	N	Theke, Schalter
チカン	痴漢	N	“Betatscher”, Belästiger (sexuell)
暴力	ぼうりょく	N	Gewalt
水準	すいじゅん	N	Qualitätsnorm, Niveau
感じ	かんじ	N	hier: Eindruck (sonst: Empfindung)
講座	こうざ	N	Seminar, Lehrgang
さすが	さすが	N・NA	erwartungsgemäß (positiv)

年配	ねんぱい	N	betagt, alt (nur Menschen)
ところ	ところ	N	「ところ」 ugs.: Ort, Stelle
～所	しょ・じょ	Suffix	-stelle, -ort 研究～: Institut
～ら	等	Suffix	Pluralsuffix f. Menschen
…かい	かい	P	ugs.: freundl. Anfrage (männlich)
…かしら	かしら	P	ugs.: Endung “ob” (weiblich)
…さ	さ	P	ugs.: Endung d. Nachdrucks (männl.)
…ぜ	ぜ	P	ugs.: Endung d. Nachdrucks (männl.)
…ぞ	ぞ	P	ugs.: Endung d. Nachdrucks (männl.)
…だい	だい	P	ugs.: Endung f. Fragen od. d. Nachdrucks (männl.)
…の	の	P	ugs.: Endung f. Fragen od. d. Nachdrucks
…わ	わ	P	ugs.: Endung d. Nachdrucks (weibl.)
…ばっか(し)・ ばっかり	ばっか(し)・ば っかり	P	「ばかり」 ugs.: immer zu nur, ständig
～な	なさい	Gr	「なさい」 ugs.: Endung f. Aufforderung
～じゃない・ じゃん	じゃない・じゃ ん	Gr	ugs.: Endung “nicht wahr”
ちょうだい	頂戴	Gr	「ください」 ugs.: bitte
見て見ぬふり	みてみぬふり	Zus	beide Auge zudrücken, ignorieren
しかた(が)ない	仕方がない	Zus	wir können nichts machen
～か何か	かなんか	Zus	so etwas wie, z.B.
齋藤	さいとう	N	jp. Familienname
清水	しみず	N	jp. Familienname

第 12 課

練習 1 次の単語を普通の言い方に変えてください。

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|---------|
| 1. あたし | 2. ぼく | 3. やつ | 4. おまえ | 5. あいつ |
| 6. あんたたち | 7. こいつら | 8. おれら | 9. あの子 | 10. そいつ |
| 11. きみたち | 12. あたしら | 13. おまえたち | 14. あいつら | 15. どいつ |

練習 2 次の単語も普通の形に変えてください。

- | | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 1. もん | 2. こっち | 3. ほんと | 4. おれんち | 5. やっぱし |
| 6. ところ | 7. でっかい | 8. こりゃ | 9. おんなじ | 10. ちは |
| 11. おっきい | 12. なんか | 13. あんまり | 14. ここんとこ | 15. どっか |
| 16. こないだ | 17. ちっちゃい | 18. とっても | 19. やだ | 20. つまんなくって |
| 21. おまえんち | 22. すいません | 23. あったかい | 24. ありゃ | 25. すごく |
| 26. 高いけど | 27. うそばっか | 28. らっしゃい | 29. と一っても | 30. ぜーんぜん |
| 31. 超おもしろい | 32. すっげえ | 33. クソ暑い | 34. 先生んち | 35. やらしい |

練習 3 次の会話を、いい友達との会話に変えてください。

例	明日授業がありますか。	—はい、あります。
	→明日授業ある？	—うん、ある。
	→明日授業あるの？	—うん、あるよ。

- 明日映画を見に行きませんか。 —明日は少し忙しいんですよ。
- いつ私の家へ来ますか。 —明日行きたいんですが。明日は忙しいですか。
- 日本は夏が暑いんですか。 —そうですね、とても暑いですよ。むし暑いんです。
- XY先生にお会いになったことがありますか。 —はい、ございます。5年前でした。
- 今何の本を読んでいらっしゃるんですか。 —政治のですが、あまりおもしろくありません。

練習4 次の文はどっちの意味ですか？間違っているほうを消してください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ベンツは高いじゃない。 | ベンツは高い・高くない |
| 2. ベンツは高いんじゃない。 | ベンツは高い・高くない |
| 3. ベンツは高いんじゃない？ | ベンツは高い・高くない |
| 4. ベンツは高くないじゃない。 | ベンツは高い・高くない |
| 5. ベンツは高くないんじゃない？ | ベンツは高い・高くない |
| 6. ベンツは高くないんじゃない。 | ベンツは高い・高くない |
| 7. 授業があるじゃない。 | 授業がある・授業がない |
| 8. 授業がないじゃない。 | 授業がある・授業がない |
| 9. 明日は雨が降るんじゃない？ | 雨が降る・雨が降らない |
| 10. 明日は雨が降らないんじゃない？ | 雨が降る・雨が降らない |
| 11. あれはトーマス君じゃない。 | トーマス君だ・トーマス君ではない |
| 12. あれはトーマス君じゃない？ | トーマス君だ・トーマス君ではない |
| 13. 日本語の勉強は大変じゃないんじゃない。 | 日本語の勉強は大変だ・大変じゃない |
| 14. 日本語の勉強は大変じゃないんじゃない？ | 日本語の勉強は大変だ・大変じゃない |

練習5 次の会話を読んで、男が言ったのか、女が言ったのかを考えてください。

例	「明日経済の授業があるわ。」	→女性
	「俺もその授業に出てみよう。」	→男性

- 1.A: 「今度いっしょに食事でもしないかい。」
- B: 「いいね。じゃ、いつ行くかきめようぜ。」
- 2.A: 「ねえ、ちょっと聞いてちょうだい。」
- B: 「何だい？急に。」

3.A: 「新聞とってくれ。」

B: 「いやよ。自分でとってちょうだい。」

4.A: 「今度のパーティーはどこか寮ですかしら。」

B: 「そうだね。たぶんザビーネのところだろ。」

C: 「あら、トーマスの寮だって聞いたわよ。」

D: 「やらないという話もあるよ。」

E: 「困るのよね、きちんと連絡くれないと。」

練習6 練習5の男性の会話を女性の会話に、女性は男性のに変えてください。

例 「明日経済の授業があるわ。」 → 「明日経済の授業があるぜ。」
 「俺もその授業に出てみよう。」 → 「あたしもその授業に出てみるわ。」

練習7 次の「ちゃう／じゃう」の形を普通の形に変えてください。

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------------|--------------|
| 1. 飲んじゃう | 2. 読んじゃわない | 3. 買っちゃった | 4. 食べちゃわなかつた |
| 5. 行っちゃったら | 6. 来ちゃえば | 7. 乗っちゃおう | 8. 使っちゃいそう |
| 9. 捨てちゃいなさい | 10. 起きちゃうと | 11. なくしちゃわないでください | |
| 12. 死んじゃったら | 13. あげちゃってもいい | 14. 片づけちゃってあげる | |

練習8 次の「ちゃう・じゃう」の文を普通の文に変えてください。

例 風邪ひいちゃった。
 → 風邪をひいてしまいました。

- その本読んじゃったなら、私にちょうだい。
- まだお父さんが食べるから、片づけちゃわないで。

3. お金を全部使っちゃわないように、気をつけてね。
4. 私が生まれる前におじいさんは死んじゃったんだ。
5. 母に日記を読まれちゃわないように、机に鍵をつけておいたの。

練習9 次の「てしまう」の文を「ちゃう・じゃう」の文に変えてください。

例	その本を昨日読んでしまいました。
	→その本昨日読んじゃった。

1. 病気になってしまいます。
2. もうタクシーを呼んでしまいました。
3. 全部飲んでしまわないでください。
4. 宿題はもうやってしまったから、遊べます。
5. 忘れてしまわないように、書いておきます。
6. お休みの間に日本語を忘れてしまうと困りますね。
7. おさいふを盗まれてしまったから、お金がないんです。
8. パンを下に落としてしまいました。でも食べてしましましょう。
9. このことを皆に言ってしまってもいいですか。 —まだ言わないでください。
10. このかばんも古くなってしまったんじゃないですか。 —じゃ、捨ててしまえばいいですよ。

練習 10 次の会話の文を普通の文に変えてください。

例 風邪ひいちゃったから、薬飲んどくよ。
→風邪をひいてしまったから、薬を飲んでおきます。

1.A: 「今、東京では雨降ってるらしいよ。」

B: 「なんで知ってるの？」

A: 「テレビ見てるから。みんなかささしてるよ。」

2.A: 「車持ってる？」

B: 「ううん、持ってない。」

A: 「あたしもなのよ。誰かに借りられないかしらね。」

B: 「京子ちゃんに聞いてみ。貸してくれるかも。」

3.A: 「今日は遅く帰るから、待ってないで、寝てて。」

B: 「うん。でも起きてるかも。」

A: 「起きてるなら、駅までむかえに来てくれる？」

B: 「あ、あたし明日早く起きるんだっけ。早く寝とかなきゃ。」

4.A: 「日本へ行くんでしょ？」

B: 「うん。今年行っちゃおうと思うんだ。」

A: 「じゃ、あたしの友達紹介したげようか？」

B: 「ホント？そりゃ助かるよ。きれいな女性紹介してくれ。」

5.A: 「お、久しぶりじゃん。大学行ってる？」

B: 「うん、月曜から金曜まで毎日行ってるよ。」

A: 「俺かなり休んじゃってるんだ。」

B: 「サボってたの？そりゃまずいよ。」

A: 「サボってたんじゃないよ。病気になっちゃってさ。」

B: 「そうか。だったらかわいそうだね。じゃ、ノート貸したげようか。」

A: 「サンキュー！ 超ラッキー！」

練習 11 次の「です・ます」の文を、親しい会話にしてください。

例 コンピュータが壊れてしまったので、直しておいてください。 →コンピュータ壊れちゃったんで、直しといてね。
--

1.A: 「どの新聞を読んでいますか。」

B: 「新聞は読んでいないんです。でも読まなくてははいけませんね。」

2.A: 「アンヤさんは今何をしていますか。」

B: 「お風呂に入っているところです。大きい声で歌っているのが聞こえますね。」

3.A: 「今学期は一度も休んでいません。」

B: 「でも、毎日授業に出ている、そこで寝てはいけませんよ。」

4.A: 「明日はお休みですよ。だから映画を見ませんか。」

B: 「残念なんです、あさってテストなので、時間がありません。」

5.A: 「毎週木曜日にテストがありましたから、それで木曜日は絶対休めなかったんです。」

B: 「毎週ですか。それは大変ですね。いやになりませんでしたか。」

第12課 日本人の余暇

清水友子：「あら、クリス君、クリスくん、こっち、こっち。」

クリス・マイヤー：「あれ、友ちゃんそこにいたんだ。広君も。」

斎藤広：「クリス、ちょうどいいところに来たな。今、映画見に行く話してたんだよ。

いっしょに行かないかい？おまえもさ。」

ク：「映画？どの映画の話？」

友：「別にまだ決めてないの。なんかおもしろいのないかなって言ってたのよ。」

ク：「ぼくはよく知らないな。君たち映画に興味あるの？」

広：「おれはあんまり。でも、ひまだし、たまには映画もいいかなって思ったわけ。」

友：「カラオケもあきちゃったしね。」

ク：「前から不思議に思ってたんだけどさ、日本人ってひまなとき何やってんの。」

友：「やっぱ人によって違うんじゃない？スポーツとか、テレビやビデオとか。」

広：「そうだよな。ゲームにはまってるやつもいるし、ナンパばっかやってるやつもいる。それから音楽キチガイとかさ。おれはよく漫画読むけどな。」

ク：「ふーん。漫画って言えば、日本人って、よく電車で漫画読んでるじゃない。

あれ初めて見たときはちょっとびっくりしちゃったよ。」

広：「何で？普通じゃん。」

ク：「確かに日本では普通かもしれないけど、ドイツなんかじゃ漫画は子供のもんなんだよ。だから大人が電車で読むのはちょっとはずかしいんだよな。」

友：「日本でも年配の人は、嫌がる人が多いんじゃないかしら。ときどき、みっともないうって意見が新聞なんかに出てるわよ。」

広：「別にどうだっていいじゃねえか。放つといてくれ、って感じだよな。人に迷惑かけてるわけじゃねえんだからさ。」

友：「確かにそうよね。それに、日本の漫画って水準すっごく高いでしょ。世界的に有名な漫画家もいるし、アニメもたくさん輸出してるって言うじゃないの。一概に子供のものって言えないんじゃないかな。あたしだって読むことあるわよ。でも、さすがに電車の中じゃちょっとはずかしいかな。」

広：「まあね。ちっとはね。」

友：「だけど、電車の中でいやらしい雑誌や新聞記事を読んでいるおじさん達には文句言われたくないわ。あの人達こそ、あきれちゃうわよ。もう信じらんない。」

ク：「あれもドイツじゃ考えらんないことだね。」

広：「そうだよな。あれ、女の人でいやがる人多いよね。それはよくわかるな。それにさ、女の人だけじゃなくてさ、電車には子供も乗ってんだから、すっげえまずいよ。でもしかたねえよな。誰も注意できるわきゃないんだから。」

ク：「何で注意できないの？すればいいじゃん。」

広：「最近は何騒だからさ、注意したら暴力振るわれたり、ひどけりゃ殺されたりするかもしれないだろ。やばいんだよね。だから、見て見ぬふりしなきゃなんないんだよ。」

友：「やけど、その通りよ。チカンにあっても騒がない方がいいって言うわ。」

ク：「へえ。そうなの。」

広：「みんなで注意できりゃいいんだけどね。」

友：「なんだか暗くなっちゃった。なんか別の話しようよ。何話してたんだっけ。」

広：「暇なとき何やってるか、だったかな。」

友：「そうそう、そうだったわね。」

ク：「ギャンブルはどう？テレビでときどき競馬やってるけど、人気あんのかなあ。」

広：「競馬ならおれにまかせてくれ！ どの馬が勝つか研究中だから。」

友：「ちょっと、ちょっと。成人でも学生はやっちゃだめなのよ。法律で禁止されてるんだから。」

広：「まあ固いことは言わないで。おれは研究してるだけで、賭けちゃいねえよ。」

友：「信じらんないわね。何て不まじめなんでしょ！」

ク：「やっぱり競馬って人気あるんだ。」

友：「まあね。ここだけの話、競馬やってる人って、学生でも結構いるみたい。」

広：「あとメジャーなのは、パチンコ、マージャンかな。」

ク：「パチンコって、よく駅前なんかにあって、ネオンがついているうるさいお店？」

広：「うん。あれがパチンコ屋。中にピンボールを立てたような機械があってね。玉を

打って、うまく穴に入ればたくさん玉が出てくるんだ。」

友：「ピンボールの機械よりずーっとちっちゃくて、玉も1センチくらいなのよね。」

広：「ううん、11ミリだよ。」

ク：「詳しいねえ。」

広：「遊びならまかせといて。それなら、ついでに言えば、玉を打つって言っても、昔は手で打ってたけど、今は機械が勝手に打つんだよ。おれらがやるのは、玉を打つ方向のコントロール。それでうまくいけば、何千もの玉があふれてくるんだよ。そんときの嬉しさっていったら、もう言葉じゃ表せないよ。ああ、パチンコやりてえ。よし、明日はパチンコするぞ！」

友：「はいはい。わかったから、次へ行ってちょうだい。」

広：「うん。で、玉がたくさんたまったら、カウンターへ持っていくと、賞品と交換してくれるんだ。そのまま賞品を持って帰ってもいいんだけどさ、普通はパチンコ屋のすぐそばにある交換所で、賞品をお金にかえてもらうんだよ。」

ク：「なぜパチンコ屋で直接お金がもらえないの？」

友：「そうしたら、ギャンブルになっちゃうでしょ。違法ⁱⁱなのよ。だから、建て前だけは『ギャンブルじゃなくてゲームなんです』ってことにしとくのね。」

ク：「ふーん。結局同じことなのに変だね。もうひとつは何だっけ。マー何とか。」

友：「マージャンね。これは中国から来たゲームで、4人でやるのよ。ルールが結構複雑なんだけど、ゲームとしてはおもしろいわよ。クリス君にも今度教えるね。」

広：「えっ、友ちゃんマージャンできるんだ。ちっとも知らなかった。今度やろうよ。」

友：「お金賭けるのはいやよ。」

広：「わかった、わかった。じゃ、今日は映画はやめて、クリスのためのマージャン講座にしようか。誰かもう一人誘ってさ。」

友：「いいわね、そうしましょう！」

ク：「やったー!! マージャン強くなって、金もうけよう!!」

ⁱ ピンボール

Flipperautomat

ⁱⁱ 違法

In Japan sind lediglich Pferderennen, Radrennen sowie Bootsrennen legalisierte Wettspiele. Es existieren keine legalen Casinos.

LEKTION 12

有	vorhanden	ユウ ウ あ・る	有る vorhanden sein あ
	ノ ナ 才 有 有 有		有名だ berühmt ユウメイ
			有無 da oder nicht da sein ウ ム

放	loslassen	ハウ はな・す はな・つ はな・れる	放す loslassen, freilassen はな
	ノ ナ 才 方 方 方 放 放		放送 Sendung, Ausstrahlung ホウソウ
			放課後 nach dem Unterricht ホウカゴ

成	werden	セイ ジョウ な・る な・す	成る werden な
	ノ 厂 厂 成 成 成		成人 Erwachsene(r) セイジン
			成田 Narita (Ortsname) なりた internat.Flugh.Tokyo

接	berühren	セツ つ・ぐ	接する i. Berührung kommen セツ
	一 才 才 扌 扌 扌 扌 扌 接 接 接		間接 indirekt カンセツ
			応接間 Empfangszimmer, オウセツマ die gute Stube

殺	töten	サツ サイ セツ ころ・す	殺す töten ころ
	ノ × ㄥ 犴 犴 犴 犴 犴 殺 殺		殺人 Tötung, Mord サツジン
			殺害 Ermordung サツガイ

LEKTION 12

換	austauschen	カン か・える か・わる	換える austauschen か
	一 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 換 換		乗り換える umsteigen の か 交換 Austausch, Umtausch コウカン

達	Pluralsuffix (Lebewesen)	タツ タチ	達する erreichen タツ
	一 十 土 土 土 土 土 土 幸 幸 達 達		友達 Freund トモダチ ~達 Pluralsuffix (Lebew.) タチ

固	hart, fest	コ かた・める かた・まる かた・い	固い hart, fest かた
	丨 冂 冂 冂 冂 冂 冂 冂		固体 Festkörper (physikali- コタイ scher Zustand) 固形 fest (z.B. Nahrung) コケイ

直	direkt	チヨク ジキ ただ・ちに なお・す なお・る	直接 direkt チヨクセツ
	一 十 十 市 市 市 市 直		直ぐ sofort サ 真っ直ぐ geradeaus ま す

普	normal, allgemein	フ	普通 normal フツウ
	丶 丶 丶 丶 丶 丶 並 並 平 普 普 普		普及 Verbreitung フキユウ

LEKTION 12

準	Niveau, Semi-	ジュン	水準 Norm スイジュン
	、 丩 シ シ 汙 汙 汙 汙 汙 淮 淮 淮 準		準備 Vorbereitung ジュンビ
			準優勝 2. Sieg, 2. Platz ジュンユウショウ

賞	Preis, Prämie	ショウ	賞品 Siegerpreis, Preis ショウヒン
	、 丩 丩 丩 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇		賞金 Prämie, Siegerprämie ショウキン
			受賞 Preisempfang ジュショウ

暴	Gewalt	ボウ バク あば・く あば・れる	暴力 Gewalt ボウリョク
	、 口 口 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 暴 暴 暴		暴風 Sturm, gewaltiger Wind ボウフウ
			暴漢 Gewaltverbrecher ボウカン

余	Rest, übrigbleiben	ヨ あま・る あま・す	余暇 Freizeit ヨカ
	ノ 人 人 人 人 人 余		余る übrigbleiben あま
			～余り ～Rest あま

暇	Muße	カ ひま	暇だ müßig, nichts zu tun haben ひま
	丨 丨 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 暇		休暇 Urlaub キユウカ

